

令和4年度決算主要事業の概要

令和4年度決算事業等説明資料

◆地方自治法第233条第5項に規定する「主要な施策の成果を説明する資料」

令和4年度主要事業の概要・・・P 1

令和4年度決算事業等説明資料・・・P 4 2

京都府 宮津市

令和4年度決算(案) 主要事業の概要

※事業の番号に○がついているものは、別添の「令和4年度決算(案)事業等説明資料」での説明があるもの。

【重点プロジェクト】

■若者が住みたいまちづくりプロジェクト

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《関係人口創出・拡大》						
1	関係人口創出・拡大事業			35,800,000	34,179,775		
充実	市内まるごとワーケーションの推進と拠点の運営	159,563	15,000	15,000,000	14,250,000	◆前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの運営 ・都市部人材と地域住民の交流の場、ツアーの創出等 ◆宿泊施設等が行うワーケーション施設整備の支援 ・1件	企画課
充実	前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを拠点とした新たな連携の推進		R4.4補正 17,000	17,000,000	17,000,000	◆進出企業と地元事業者等との連携事業への支援 ・動画情報発信による地域ネットワークづくりへの支援	
充実	高等教育機関等との連携強化に向けた準備 (子育てにやさしいまちづくりモデル事業)		R4.9補正 3,800	3,800,000	2,929,775	◆高等教育機関等との連携強化に向けた準備 ・京都府立大学との連携事業(大学生等の滞在拠点づくり(みやづ城東タウンの改修)、連携に向けた準備等	
2	副業・兼業プロ人材活用事業	3,980	8,500	8,100,000	8,002,784	◆MIYAZU未来戦略マネージャー7人の受入 ・関係人口(企画財政部)2人、観光戦略(産業経済部)3人、DX(総務部)2人を引き続き受入	企画課
			R4.4補正 9,000	9,000,000	7,158,259	◆「MIYAZU未来デザインセンタービジネス・ラボ」による都市部企業・人材と地元企業との連携・交流事業の取組を支援	
	《移住・定住促進》						
	未来を担う若者への修学・就労支援						
3	未来を担う人財応援奨学金事業	1,200	2,400	2,400,000	2,100,000	◆未来を担う人財応援奨学金の貸与 ・大学等における修学に対する奨学金の貸与 (新規:2人、継続:3人)	企画課
4	ふるさと就労支援事業	428	361	361,000	352,678	◆京都労働局との雇用対策協定に基づく就職フェア等の開催 ◆都市部在住者等をターゲットにした北部7市町連携による合同企業説明会	商工観光課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
5	新規 「選ばれるまち」に向けた総合的な移住定住対策等の充実 (子ども若者未来応援基金積立金)	—	R5.3補正 152,779	152,779,000	151,468,762	◆若者世代をターゲットにした「選ばれるまち」の取組強化に向けた基金造成 ※未来を担う人財応援奨学金基金を統合	企画課
6	充実 移住・定住推進事業 ～地域とともに取り組む移住・定住人口の増加～ (魅力あるまち”みやづ”にU・Jターン推進事業から名称変更)	10,095	当初 28,247 R4.9補正 3,000	31,600,000	20,157,374	◆みやづU・Jターンサポートセンターの運営等 ◆空家改修補助金 改修補助(8件)、地域によるお試し住宅の整備支援(1件) ◆空家空地対策協議会の運営等	企画課
再掲	新規 みやづ城東タウンリノベーション事業 ～地域福祉を支える福祉人材確保対策の強化・選ばれるまちづくりの実現・移住促進～ (定住促進住宅整備事業)	—	当初 20,000 R4.9補正 21,000	42,857,000	42,819,380	◆みやづ城東タウンの住戸リノベーション 12戸 間取り変更(3DK→1LDK)や設備更新(ユニットバス・シャワートイレなど)を実施 ・当初予算 福祉分野(医療・介護など)の従事者向け 6戸 ・9月補正 40歳未満の若者向け 6戸	都市住宅課
《子育て支援》							
子育て世代へのきめ細かなサポート拠点 ～妊娠期から就学期まで福祉・教育総合プラザで一人ひとりに寄り添った切れ目ない支援を展開～							
7	充実 にっこりあを核とする子育ての輪づくり(地域子育て支援事業)	17,316	18,113	18,113,000	17,411,398	◆子育て支援の核となる人材育成、子育て支援の機運醸成 ・「親子で楽しむ遊びと学びラボ」の開催 ・SNS等を活用した情報発信 ・企業や事業所ぐるみでの子育て応援の推進 ・男性の家事・育児参加促進に向けた講座の開催 ◆子育て支援センター「にっこりあ」の運営 ◆子ども食堂運営支援 ほか	社会福祉課
8	充実 出産安心サポート事業 子育て保健事業	11,117	12,395	12,099,000	10,513,639	◆産婦健診：受診者延57人 396,000円 ◆妊婦健診：受診者延95名 4,869,000円 ◆乳幼児健診 4か月：65人 7か月：80人 12か月児相談：79人 1歳半：61人 2歳6か月児歯科健康教室：79人 3歳児健診：68人 (新) 新生児聴覚スクリーニング検査 受診者 49人 (新) 3歳児健診での屈折検査 R4年度受診者68名に実施 ◆未熟児医療費支援等	健康・介護課
9	こころのまど・ひろば運営事業	6,019	6,482	6,315,000	6,237,010	◆いじめ問題への迅速な対応と不登校児童生徒への支援 ・教育相談室「こころのまど」、適応指導教室「こころのひろば」の運営	学校教育課
10	子ども家庭総合支援拠点運営事業	4,447	4,569	4,659,000	4,597,205	◆要保護児童や特定妊婦等への支援を行う「子ども家庭総合支援拠点」の運営	社会福祉課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名	
11	教育・保育サービスの向上に向けて			22,128,220	21,154,904			
	充実	子ども子育て支援推進事業 (子ども子育て支援推進事業、一般職員人件費)	8,749	9,102	10,349,000	10,134,095	◆就学前施設職員等を対象とした研修の実施 ◆就学前施設の保育サービス拡充・適正化研究会の開催 ◆幼児教育・保育の質的向上や小学校への円滑な接続に向けた保育コーディネーターの配置 ほか	社会福祉課
	再掲	民間保育園運営事業 認定こども園運営事業	—	2,489	2,489,000	2,091,000	◆安心した保育サービスを提供するための保育体制の強化 ・重度障害児加配保育士の配置基準見直し(市補助率の拡充) 園児2人：保育士1人⇒拡充 園児1人：保育士1人	社会福祉課
	再掲	民間保育園等処遇改善支援 (民間保育園運営事業、認定こども園運営事業、のびのび放課後児童クラブ事業)	—	9,290	9,290,220	8,929,809	◆国基準に基づく保育士等の処遇改善を実施した保育園、子ども園、放課後児童クラブの運営法人への支援 (R5.4月～9月分)	社会福祉課 学校教育課
再掲	のびのび放課後児童クラブへのWi-Fi環境整備 (のびのび放課後児童クラブ事業)	—	2,900	2,900,000	2,492,930	◆ICT学習環境構築に向けたWi-Fi環境の整備 ・全放課後児童クラブに無線LANを整備	学校教育課	
12	子育てしやすい環境づくりの推進 (男女共同参画推進事業)	499	500	500,000	174,262	◆子育てしやすい環境づくりに向けた取組 ・ワーク・ライフ・バランス講演会	市民環境課	
13	不妊治療に対する支援の拡大 (妊活支援事業)	612	700	1,545,000	1,544,306	◆特定不妊治療通院交通費助成 ・9人17件 574,655円 ◆不妊治療費助成 ・13人18件 969,651円	健康・介護課	
14	新規	子育てにやさしいまちづくりモデル事業			14,800,000	9,283,024		
		子育て応援！パパママのゆとり時間応援事業の試行 (地域子育て支援事業)	—	R4.9補正 4,000	4,000,000	2,130,539	◆「にっこりあ」託児サービスの運営費(委託料等) ◆ // 公式ホームページの制作及び運営 ◆ // 入口ゲート新設、ガラス飛散防止	社会福祉課
		女性のライフデザイン応援講座の開催 (男女共同参画推進事業)	—	R4.9補正 1,000	1,000,000	999,460	◆女性のライフデザイン応援講座の開催 ・ライフデザイン応援講座の開催による女性活躍支援	市民環境課
		高等教育機関等との連携強化に向けた準備 (関係人口創出・拡大事業)	—	R4.9補正 3,800	3,800,000	2,929,775	◆高等教育機関等との連携強化に向けた準備 ・京都府立大学との連携事業(大学生等の滞在拠点づくり(城東タウンの改修)、滞在拠点のトライアル活用))	企画課
		高等教育機関等との連携強化に向けた準備 (美食のまちづくり推進事業)	—	R4.4補正 3,000	3,000,000	3,000,000	◆大和学園連携事業(再掲) ・美食のまちづくり推進事業キックオフシンポジウムの開催 ・「京都調理師専門学校 学生レストランin宮津」の開催 ほか	企画課

事業名		R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	「若者定住に向けた総合的な対策」の検討に向けた調査 (移住・定住推進事業、子ども子育て支援推進事業、税務事務事業)	—	R4.9補正 3,000	3,000,000	223,250	◆「若者定住に向けた総合的な対策」の検討に向けた調査等 ・住環境等の現状や条件等の調査及び有識者等による協議を実施	企画課 社会福祉課 税務・国保課
15	新規 出産・子育て応援事業	—	R4.12補正 9,500	9,500,000	7,877,211	◆経済的支援 ・出産応援給付金：83人×50,000円・人 (4,150,000円) ・子育て応援給付金：49人×50,000円・人 (2,450,000円) ◆伴奏型相談支援 ・妊娠届出後の面談：8人 ・出生届出後の面談：3人	健康・介護課
《学校教育》							
16	宮津の新たな学び創造事業 ～明日の宮津を創り上げる人間性豊かな 子どもの育成～	23,051	6,625	7,028,000	5,863,817	◆質の高い学力の充実・向上、主体的・対話的で深い 学びの授業づくりの推進 ・ICT活用による授業改善や課題解決型学習の実践 的研究 ・漢字検定・英語検定の受検料補助 ◆ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの 実現 ・算数学び定着サポーターの配置、オンラインでの 家庭学習、モバイルルーターの貸出ほか	学校教育課
17	幼稚園から中学校までの給食実施 (学校給食運営事業)	208,625	209,695	212,659,000	208,165,209	◆学校給食に係る経費 ・市立の幼稚園、小・中学校における学校給食の 実施、食育の推進	学校教育課
18	充実 地域と学校の連携・協働推進事業	108	676	676,000	258,724	◆コミュニティ・スクールと連携・協働した地域学校 協働活動を実施 ・R4～北部4小学校でも実施	社会教育課
《地域コミュニティ》							
19	充実 農山漁村コミュニティ活性化事業	3,779	2,676	2,676,000	1,683,029	◆新たな担い手の受入体制構築支援（3地区） ◆集落支援員の配置（1名） ◆人・農地プランの策定、実施等（策定9プラン、 更新1プラン）	農林水産課 農業委員会
《市民協働》							
20	まちづくり応援事業	8,584	10,600	10,308,000	7,189,436	◆地域課題解決型地域おこし協力隊の配置 (上宮津に1名) ◆地域会議の活動支援 ◆まちづくり補助金（3団体） ◆コミュニティ助成事業（1団体）	企画課
21	大学等地域活動連携推進事業	898	1,000	1,000,000	597,000	◆大学との連携による地域の課題解決に向けた取組の 推進 ・2大学3プロジェクト	企画課

■宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《人財づくり・市民協働》						
再掲	未来天橋塾の開催 (魅力ある商いづくり事業)	2,000	1,500	1,500,000	1,500,000	◆次代を担う若手経営者の育成塾「未来天橋塾」の開催	商工観光課
	《文化財保存・活用》						
22	天橋立の「国内暫定リスト」入りを目指して～天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業の実施～ (世界遺産登録推進事業)	1,414	2,914	2,914,000	2,817,368	◆(新)天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業 ◆天橋立世界遺産登録に向けた機運醸成・普及啓発活動 ・天橋立を世界遺産にする会の活動支援	社会教育課
23	文化財保存活用地域計画の策定に向けて (文化財保護・活用推進事業)	1,618	2,800	2,800,000	1,641,500	◆今後の文化財保存活用施策を総合的に進めていくためのマスタープラン策定(R2～R5)	社会教育課
	《観光振興》						
24	地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向けて			123,099,000	122,863,134		
再掲	観光戦略推進人材の配置 (持続可能な観光地域づくり事業)	5,600	6,100	5,776,000	5,624,520	◆「宮津市観光戦略」に基づく観光地の再生・高付加価値化の推進に向けた専門人材の配置	商工観光課
再掲	観光事業者と連携した観光地の高付加価値化 (持続可能な観光地域づくり事業)	—	R4.8補正 113,680	113,680,000	113,613,920	◆観光事業者と連携した観光地の高付加価値化 ・宮津観光圏の構築に向けた実証実験 5事業 ・体験型コンテンツの造成	
再掲	観光戦略推進人材の活用 (副業・兼業プロ人材活用事業)	2,917	3,643	3,643,000	3,624,694	◆「MIYAZU未来戦略マネージャー」の受入による観光地の再生・高付加価値化の取組推進	商工観光課 企画課

事業名		R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名	
25	文化×観光のまちづくり							
	歴史文化を活かした観光誘客推進事業	8,907	7,700	7,300,000	6,642,280	<ul style="list-style-type: none"> ◆最先端技術を活用した歴史文化資源による観光誘客の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高画質映像、VR映像の制作 ◆文化財等の観光コンテンツ化による賑わいづくり <ul style="list-style-type: none"> ・旧三上家住宅の観光コンテンツ化の充実 	商工観光課 社会教育課	
	文化芸術活動活性化事業	2,821	2,881	2,881,000	934,900	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化芸術等活動に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・まちかどコンサート等開催支援11件 ◆小中学生を対象とする文化芸術体験 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生各1名参加 ◆文化団体協議会に対する活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭等 	企画課	
26	もうひとつの京都「光のアトリエ」支援事業	2,000	2,000	2,000,000	2,000,000	◆京都府「京都府域展開アートプロジェクト『ALTERNATIVE KYOTO -もうひとつの京都-』in宮津天橋立」との連携による夜のライトアップ事業	商工観光課	
27	充実 持続可能な観光地域づくり事業	29,200	6,100	5,776,000	5,624,520	◆「宮津市観光戦略」に基づく観光地の再生・高付加価値化の推進に向けた専門人材の配置	商工観光課 農林水産課	
			R4.8補正	113,680	113,680,000	113,613,920		◆観光事業者と連携した観光地の高付加価値化 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津観光圏の構築に向けた実証実験 5事業 ・体験型コンテンツの造成
《商工業振興》								
28	充実 魅力ある商いづくり事業	19,176	10,000	10,000,000	2,720,000	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍から脱却するための新たな取組み支援 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者成長支援補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな販路開拓、キャッシュレス等デジタル化、副業兼業人材の活用などの経営改革等の取組支援 ・新型コロナウイルス対応事業再構築補助金 ・店舗拡充等の取組支援 	商工観光課	
			12,606	12,606,000	11,625,066	<ul style="list-style-type: none"> ◆宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・未来天橋塾の開催、チャレンジおうえん補助金(新たなものづくり等へのチャレンジを支援) ◆創業等支援補助金(創業、第二創業を支援) ◆大和学園との連携事業(アドバイザー派遣事業)ほか 		

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
29	新規 美食のまちづくり推進事業	—	R4.4補正	5,600,000	5,600,000	◆大和学園連携事業 ・美食のまちづくり推進事業キックオフシンポジウムの開催 ・「京都調理師専門学校 学生レストランin宮津」の開催 ほか ◆食の魅力向上の取組支援 ・京都府の「食の京都TABLE」整備支援事業費補助金の採択を受け、事業者の設備投資を支援。 2事業者2件	商工観光課 農林水産課
			4,000				
			R4.9補正				
			1,054				
			R4.12補正				
			546				
《農林水産業振興》							
30	新規 農産物等流通促進事業	—	3,000	3,000,000	2,980,000	◆地元農産物の販売力強化（宮津まごころ市における集荷便の試行、野菜セットの販売等） ◆地元農産物の域内流通促進に向けた調査（市内需要施設、生産者等へのヒアリング調査の実施）	農林水産課
再掲	新規 半農半Xインターンシップ （持続可能な観光地域づくり事業）	—	1,500	1,500,000	1,495,862	◆農業体験プログラムの実施による新たな担い手候補の呼び込み ・3地区で実施、参加者6名	農林水産課
《海の活用》							
31	充実 島崎ウォーターフロントエリア等の再開発に向けて （財産管理事業）	50	当初 6,000 R5.3補正 7,500	13,500,000	5,929,000	◆民間資本導入による島崎エリア等の活性化に向けた可能性調査（ヒアリング調査等）	財政課
32	充実 宮津湾にぎわいづくり促進事業	14,603	8,600	8,833,000	8,832,350	◆田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会への支援 ・にぎわいイベントの開催（2回） ・情報発信や新たな魅力づくりに向けた実行委員会・企画委員会の開催（計6回） ◆田井宮津ヨットハーバー環境整備 ◆B&G艇庫の管理	企画課
再掲	天橋立海面利用に係る安全対策 （持続可能な観光地域づくり事業）	763	600	945,000	944,627	◆天橋立海面利用の安全対策 ・水上オートバイ監視等	商工観光課

【新型コロナウイルス感染症対策】

■感染防止・健康保持対策

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
再掲	新規 医療MaaS導入に向けた実証事業 (地域医療推進事業)	—	14,000	14,000,000	12,689,310	◆医療車両を活用したオンライン診療導入に向けた実証 ・実施期間：令和4年11月21日から 令和5年2月13日まで ・実施件数：19件 ・3医療機関で実施	健康・介護課
33	福祉・教育施設等の感染防止対策の強化 (新型コロナウイルス感染拡大防止事業)	28,022	当初 21,711 R4.8補正 1,136 R4.9補正 1,450 R4.12補正 1,190 R5.3補正 11,850	44,311,000	31,959,170	◆保育所(園)、小中学校、幼稚園等における感染防止備品等の購入 ほか ◆介護施設の感染拡大防止設備(家族面会室)の整備支援 ◆市役所等公共施設の感染防止対策強化 ほか	社会福祉課 健康・介護課 学校教育課 財政課
再掲	海水浴場の感染防止対策 (海水浴場施設管理運営事業)	1,300	1,626	1,950,000	1,949,951	◆海水浴場における感染防止対策 ・連絡員(監視員)増員等	商工観光課
34	充実 新型コロナウイルスワクチン接種事業	148,234	当初 30,058 R4.6補正 35,000 R4.9補正 53,000 R4.9補正	111,084,046	83,035,387	◆新型コロナウイルスワクチン接種 ・ワクチン接種の体制確保(コールセンター設置等) ・ワクチン接種の実施(個別接種と集団接種の併用)	健康・介護課
35	新規 子ども及び妊婦に対するインフルエンザワクチン接種の臨時的支援 (予防接種事業)	—	2,900	2,900,000	777,500	◆子ども及び妊婦に対するインフルエンザワクチン接種の臨時的支援【新型コロナとの同時流行対策】 ・申請者 194名(接種回数521回) ・総支援額 777,500円	健康・介護課
■生活支援対策							
36	住居確保給付金の支給要件緩和 (生活困窮者自立支援事業)	204	705	705,000	108,000	◆住居確保給付金 ・支給要件緩和(休職等による収入減の者も対象)	社会福祉課
37	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業 (住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業)	241,700	当初 26,700 R4.6補正 5,300	34,100,000	34,040,000	◆住民税非課税世帯等への臨時特別給付金 ・給付対象 世帯全員の住民税均等割が非課税の世帯等 ・給付額 10万円/世帯×328世帯 ・事務費 1,240千円	社会福祉課
38	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業	2,030	2,790	2,790,000	810,000	◆生活困窮世帯への自立支援金 540千円 単身世帯 3世帯@6万円/月 2人世帯 1世帯@8万円/月 事務費(郵送料、事務用品他) 270千円	社会福祉課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
再掲	プレミアム付き商品券の発行支援 (地域内消費拡大事業)	65,593	70,000	70,000,000	64,685,000	◆プレミアム付き商品券の発行支援 ・商品券13,000円分を10,000円で販売 (プレミアム率30%) 20,000セット発行	商工観光課
39	コロナ感染自宅療養者支援事業	610	R4.6補正 2,000 R4.9補正 4,300	6,300,000	4,255,000	◆コロナ感染自宅療養者に食品等を支給 ・397世帯、851パック	健康・介護課

■経営支援対策

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
40	公共交通事業者への支援 (公共交通事業者支援事業)	52,797	R4.6補正 6,911	6,911,000	5,899,000	◆公共交通事業者への事業継続支援 ・鉄道事業者支援(WILLER TRAINS社) (対象期間) R4.1.27~R4.3.21	企画課
41	介護従事者の負担軽減対策 (介護従事者負担軽減支援事業)	2,316	4,800	4,800,000	2,534,000	◆介護サービス事業所が行う従事者の負担軽減対策 (介護ロボット、ICT導入)への支援 ・4法人(7事業所)	健康・介護課
再掲 新規	農産物等流通促進事業	—	3,000	3,000,000	2,980,000	◆地元農産物の販売力強化(宮津まごころ市における 集荷便の試行、野菜セットの販売等) ◆地元農産物の域内流通促進に向けた調査(市内需要 施設、生産者等へのヒアリング調査の実施)	農林水産課
42	新型コロナウイルス対応資金特別支援事業	1,966	1,600	1,600,000	1,423,891	◆新型コロナウイルス対応融資に係る利子補給 ・14件 1,421千円 ・事務費 3千円	商工観光課

■経済回復対策

43	充実 プレミアム付き商品券の発行支援 (地域内消費拡大事業)	65,593	70,000	70,000,000	64,685,000	◆プレミアム付き商品券の発行支援 ・商品券13,000円分を10,000円で販売 (プレミアム率30%) 20,000セット発行	商工観光課
再掲	充実 コロナ禍から脱却するための事業者の新たな取組支援 (魅力ある商いづくり事業)	5,791	10,000	10,000,000	2,720,000	◆コロナ禍から脱却するための新たな取組み支援 ・事業者成長支援補助金 新たな販路開拓、キャッシュレス等デジタル 化、副業兼業人材活用などの経営改革等の取組 支援 ・新型コロナウイルス対応事業再構築補助金 店舗拡充等の取組支援	商工観光課
44	充実 宮津天橋立観光V字回復に向けた誘客推進 (宮津天橋立観光V字回復推進事業)	38,431	当初 40,000 R4.9補正 24,000	63,926,000	63,858,304	◆宮津天橋立観光V字回復に向けたキャンペーン ・天橋立名勝100年、特別名勝70年記念と合わせ た観光誘客キャンペーン等の実施 ・宮津天橋立エール花火の打ち上げ ほか	商工観光課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
45	新規 天橋立名勝100年、特別名勝70年記念イベントの開催 (宮津天橋立観光V字回復推進事業)	—	R4.8補正 2,000	2,074,000	2,072,416	◆田中彩子モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の実施支援 ・観客数：374名 (第1部：224名、第2部：150名) ◆「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」委嘱式及び中学生との交流会開催 ・参加者：98名(宮津中：81名、栗田中：17名)	企画課
	再掲 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向けて						
	観光戦略推進人材の配置 (持続可能な観光地域づくり事業)	5,600	6,100	5,776,000	5,624,520	◆「宮津市観光戦略」に基づく観光地の再生・高付加価値化の推進に向けた専門人材の配置	商工観光課
	観光事業者と連携した観光地の高付加価値化 (持続可能な観光地域づくり事業)	0	R4.8補正 113,680	113,680,000	113,613,920	◆観光事業者と連携した観光地の高付加価値化 ・宮津観光圏の構築に向けた実証実験 5事業 ・体験型コンテンツの造成	
	観光戦略推進人材の活用 (副業・兼業プロ人材活用事業)	2,917	3,643	3,643,000	3,624,694	◆「MIYAZU未来戦略マネージャー」の受入による観光地の再生・高付加価値化の取組推進	商工観光課 企画課
46	新規 夜間の公共交通の利便性向上による夜のにぎわい回復 (夜のにぎわい回復推進事業)	—	R4.8補正 2,200	2,200,000	1,504,000	◆夜間の公共交通の利便性向上に向けた支援 ・実施内容 夜間(金・土・祝全日の20時～24時)のタクシー増車支援 ・実施期間 R4.8～R5.3 ・増車台数 80台	企画課

■子育て支援・教育環境充実対策

47	新規 子育て世帯等への応援商品券の配布 (子育て世帯等支援商品券事業)	—	9,500	9,500,000	8,765,710	◆子育て世帯等応援商品券(換金資金)7,328千円 ・中学3年生までの児童及び出産を迎える方配布1,590人(1人5千円)計7,950千円(換金率92%) ◆事務費(業務委託料、郵送料)1,438千円	社会福祉課
48	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業 (子育て世帯生活支援特別給付金事業)	21,066	R4.6補正 22,000	22,000,000	20,059,883	◆低所得の子育て世帯への生活支援特別給付18,700千円 ・R4.4月分の児童扶養手当受給者等(ひとり親)児童237人 ・R4年度分の住民税非課税世帯等(ふたり親)児童137人 ・給付額 児童1人当たり5万円 ◆事務費(報酬、郵送料、事務用品他)1,360千円	社会福祉課
49	子育て世帯への臨時特別給付金事業	205,245	632	632,000	627,380	◆子育て世帯への臨時特別給付金 500千円 先行給付+追加給付(対象児童5人×10万円) ◆事務費(振込手数料)127千円	社会福祉課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
再掲	充実 のびのび放課後児童クラブ環境整備 (のびのび放課後児童クラブ事業)	—	950	950,000	542,300	◆府中のびのび放課後児童クラブ環境整備 ・3密防止のための小学校特別教室へのエアコン 設置	学校教育課
再掲	充実 ICTを活用した学習環境の構築 (宮津の新たな学び創造事業)	18,344	3,630	3,630,000	3,331,232	◆ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの 実現 ・算数学び定着サポーターの配置等	学校教育課

■新しい生活様式への対応

再掲	新しい生活様式を踏まえた都市部からの 副業・兼業人材の受入推進 (副業・兼業プロ人材活用事業)	3,980	8,500	8,100,000	8,002,784	◆MIYAZU未来戦略マネージャー7名の受入 ・関係人口(企画財政部)2人、観光戦略(産業経 済部)3人、DX(総務部)2人を引き続き受入	企画課
再掲	新規 行政DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション推進事 業、戸籍住民基本台帳管理運営事業)	—	23,277	27,422,000	26,640,361	◆国の経済対策を活用した行政DXの推進 ・転出・転入手続きのワンストップ化等行政手続の オンライン化	総務課 市民環境課
再掲	地域の魅力発信力の強化 (シティプロモーション事業)	4,330	3,000	2,420,000	2,420,000	◆地域の魅力発信に向けたデジタルコンテンツの 制作等 ・宮津の魅力を市公式ホームページ「note」で 情報発信	企画課

【原油・物価高騰対策】

■子育て支援対策

	事業名	令和3年度 決算額 (千円)	R4年度 補正額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
50	新規 給食費高騰への支援 (保育所運営事業、学校給食運営事業、給食費高騰対策支援事業)	—	R4.8補正 5,300	5,300,000	2,448,388	◆物価高騰による給食費高騰への支援 ・給食費値上必要分を全額支援し、保護者負担額を据置きとした (対象期間：R4.9月～R5.3月分)	社会福祉課 学校教育課
51	新規 子育て世帯生活応援給付金事業	—	R4.8補正 21,000	21,000,000	20,441,292	◆子育て世帯生活応援給付金の支給 20,190千円 ・1,153世帯 高校3年生までの児童2,019人×1万円 ◆事務費(郵送料、事務用品他)251千円	社会福祉課
52	新規 出産応援給付金事業	—	R4.8補正 6,500	6,500,000	5,600,000	◆出産応援給付金の支給 5,600千円 ・R4年度中に生まれ、本市に住民登録した児童56人×10万円	社会福祉課

■経営支援対策

53	新規 事業者等原油・物価高騰対策支援事業	—	R4.8補正 70,000	70,000,000	44,645,000	◆原油価格等の高騰に対する事業者等への支援金の支給 農業者 101件 4,246千円 農業者以外 353件 40,399千円	商工観光課 農林水産課
54	新規 公共交通事業者への支援 (公共交通事業者支援事業)	—	R5.3補正 4,139	4,139,000	4,161,000	◆公共交通事業者への燃油・電力費高騰支援 ・鉄道事業者支援(WILLER TRAINS社) (対象期間)R4.4.1～R5.3.31	企画課

■生活支援対策

55	新規 物価高騰対策給付金事業						
		電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業	—	R4.9補正 142,000	139,900,000	123,550,000	◆電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 ・給付対象 世帯全員の住民税均等割が非課税の世帯等 ・給付額 5万円/世帯×2,431世帯 ・事務費 2,000千円 (会計年度任用職員報酬、郵送料、事務用品ほか)
56	新規 物価高騰対策及びマイナンバーカード普及促進に向けたプレミアム付き商品券の発行 (プレミアム付き商品券発行事業)	—	R4.12補正 70,000	70,000,000	97,020	◆令和5年度へ繰越を行い事業を実施	商工観光課 市民環境課

【その他重点事項】

■環境対策

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《脱炭素社会の構築》						
57	充実 持続可能な環境づくり推進事業	19,516	10,000	10,000,000	0	◆再生可能エネルギーの活用及び電気自動車の導入と普及・啓発 ※財源活用の見込みがなくなったため未執行	市民環境課 財政課
			70,380	69,756,000	53,155,152	◆脱炭素社会の構築に向けた取組 ・再生可能エネルギーの普及・活用に向けた調査・設計 ・住宅用太陽光発電システム及び蓄電池の導入支援	市民環境課 企画課 商工観光課
	《自然環境の保全》						
58	美しく豊かな阿蘇海推進事業	0	300	300,000	299,200	◆美しく豊かな阿蘇海をつくり未来につなぐ条例に基づく取組 ・阿蘇海海岸清掃	市民環境課
再掲	新規 強い農業づくり支援事業	—	192	192,000	80,300	◆有機農業など環境にやさしい農業の普及に向けた取組 ・先進地視察	農林水産課
	《ごみの減量・資源化》						
59	新規 ごみの減量・資源化促進事業 ～資源循環型社会への転換～	—	3,738	3,771,000	3,660,701	◆ごみの減量化・資源化に向けた取組 ・可燃ごみ（生ごみ）の現状調査及び資源化の研究 ・宮津市廃棄物減量等推進審議会の運営	市民環境課
	《生活環境の保全》						
60	新規 天橋立エコ・スポーツフェスティバル事業	—	550	550,000	403,940	◆天橋立ビーチバレーボール大会との同日開催による ・「スポGOMI in 天橋立」大会、天橋立名勝100年・特別名勝70年記念イベント「天橋立エコ・スポーツフェスティバル」の実施	企画課
	《環境の担い手育成》						
61	SDGsによる持続可能な地域づくりに向けて (SDGs推進事業)	462	500	812,000	337,120	◆SDGsの推進 ・SDGsセミナーの開催 ・2023年度SDGs未来都市等提案書の提出	市民環境課

■行政DX

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名	
62 再掲	新規 行政DXの推進 ～デジタル技術活用による新たな 価値の創造～ (デジタルトランスフォーメーション推進事 業、戸籍住民基本台帳管理運営事業)	—	23,277	27,422,000	26,640,361	◆国の経済対策を活用した行政DXの推進 ・転出・転入手続きのワンストップ化等行政手続の オンライン化	総務課 市民環境課	
			5,963	5,963,000	4,941,750	◆DX推進計画策定 ◆基幹業務システム改修（地方税共通納税システム 対応に係る改修）	総務課	
再掲	DX人材の活用 (副業・兼業プロ人材活用事業)	1,828	2,429	2,429,000	2,171,900	◆DX推進に向けた都市部等からの副業・兼業人材 「MIYAZU未来戦略マネージャー」の受入	総務課 企画課	
再掲	新規 医療MaaS導入に向けた実証事業 (地域医療推進事業)	—	14,000	14,000,000	12,689,310	◆医療車両を活用したオンライン診療導入に向けた 実証 ・実施期間：令和4年11月21日から 令和5年2月13日まで ・実施件数：19件 ・3医療機関で実施	健康・介護課	
63 再掲	マイナンバーカードの普及・促進							
	新規	マイナンバーカード普及・促進事業	—	当初 7,356 R5.12補正 2,220	9,966,000	9,077,783	◆マイナンバーカードの普及・促進に向けた交付体制 の強化	市民環境課
	新規	マイナンバーカード普及促進に向けた プレミアム付き商品券の発行 (プレミアム付き商品券発行事業)	—	R5.12補正 70,000	70,000,000	97,020	◆令和5年度へ繰越を行い事業を実施	商工観光課 市民環境課
再掲	その他行政DX関連							
	新規	税申告データ送信システム導入 (賦課徴収事業)	—	699	699,000	486,750	◆国税庁への確定申告書データ送信システム導入	税務・国保課
	新規	軽自動車税に係る納付確認電子化サー ビス導入 (賦課徴収事業)	—	463	463,000	463,000	◆軽自動車税に係る納付確認電子化サービス導入	税務・国保課
	新規	経営所得安定対策等の電子申請対応 (経営所得安定対策推進事業)	—	1,650	1,294,000	0	◆経営所得安定対策等の電子申請対応に向けたデータ 移行 ※国対応によりゼロ予算で実施	農林水産課
再掲	新規 農地情報GISの有効活用 (農業委員会運営事業)	—	1,946	1,946,000	1,123,059	◆農地情報GIS化の運用開始に合わせ、農地の利用状 況調査等におけるタブレット端末の導入（24台）	農業委員会	

■公共施設マネジメント（施設長寿命化等）

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
64	新規 未来の庁舎について考える市民会議 (庁舎等管理事業)	—	500	377,000	96,400	◆未来の庁舎について考える市民会議の開催、市民アンケートの実施	総務課
再掲	充実 島崎ウォーターフロントエリア等の再開 発に向けて（財産管理事業）	50	当初 6,000 R5.3補正 7,500	13,500,000	5,929,000	◆民間資本導入による島崎エリア等の活性化に向けた可能性調査（ヒアリング調査等）	財政課
再掲	新規 ターミナルセンター長寿命化対策 (宮津市ターミナルセンター整備事業)	—	7,600	7,600,000	2,178,000	◆宮津ターミナルセンター劣化度調査及び改修・中長期修繕計画策定 ※長寿命化に係る実施設計は、待合環境改善に向けた実施設計と一体的に実施	企画課
65	新規 地域ささえあいセンター長寿命化対策 (地域ささえあいセンター整備事業)	—	3,450	3,450,000	3,444,100	◆地域ささえあいセンター長寿命化工事（防水改修）	社会福祉課
66	新規 立体駐車場長寿命化対策 (まちなか地域振興拠点施設管理運営事業)	—	26,000	26,000,000	10,992,300	◆立体駐車場（まちなか地域振興拠点施設）の劣化度等調査及び改修工事実施設計	商工観光課
67	新規 公園施設長寿命化計画の策定 (都市公園等整備事業)	—	18,000	17,847,000	8,294,000	◆都市公園（14箇所）の公園施設長寿命化計画策定	都市住宅課
68	新規 栗田地区公民館長寿命化対策 (公民館整備事業)	—	11,000	9,245,000	8,932,000	◆栗田地区公民館長寿命化工事（屋上防水）	社会教育課
再掲	新規 養老地区公民館長寿命化対策 (防災施設整備事業)	—	14,520	14,520,000	13,079,000	◆養老地区公民館の放射線防護施設整備に向けた実施設計	消防防災課
69	新規 公衆便所の除却 (清掃事務事業)	—	1,100	1,232,000	1,232,000	◆用途廃止した公衆便所の除却 (桜山公園、宝山)	市民環境課
70	新規 庁舎整備基金積立金	—	R5.3補正 70,000	70,000,000	70,000,000	◆庁舎整備に向けた基金造成 70,000千円	総務課

【テーマ別戦略】

1 地域経済力が高まるまちづくり

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
《観光振興》							
71	世界で最も美しい湾連携事業 (インバウンド推進事業から名称変更)	159	600	600,000	176,194	◆世界で最も美しい湾クラブ活動に係る経費	商工観光課
72	海水浴場施設管理運営事業	4,250	1,626	1,950,000	1,949,951	◆海水浴場における感染防止対策 ・連絡員(監視員)増員等	商工観光課
			3,894	3,744,000	3,394,697	◆天橋立、府中、丹後由良海水浴場の安全管理	
73	魅力ある観光地づくり支援事業	42,751	35,291	35,291,000	35,095,420	◆海の京都DMO天橋立地域本部への支援 ・観光振興交付金、観光案内所開設等への支援 ◆海の京都DMOに係る負担金	商工観光課
74	宮津燈籠流し花火大会補助事業	0	6,000	6,000,000	6,000,000	◆宮津燈籠流し花火大会の開催支援	商工観光課
75	郷土芸能保存伝承補助事業	300	300	300,000	300,000	◆郷土芸能の保存伝承支援	商工観光課
76	市営駐車場管理運営事業	6,665	6,650	6,835,000	6,421,230	◆宮津駅前・天橋立駐車場の管理	商工観光課
《商工業振興》							
77	まちなか地域振興拠点施設管理運営事業	30,609	当初 54,838	55,251,000	39,731,680	◆宮津まちなか地域振興拠点施設(道の駅「海の京都宮津」ほか)の運営 ※ハマカゼプロジェクト(株)への指定管理 ◆立体駐車場の管理等 ◆長寿命化工事に伴う劣化度等調査、改修工事実施設計	商工観光課
			R4.12補正 500				
78	宮津与謝広域シルバー人材センター運営補助事業	3,125	3,125	3,125,000	3,125,000	◆シルバー人材センターへの運営支援	商工観光課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
79	放置竹林対策事業	2,008	2,100	2,100,000	2,042,180	◆放置竹林対策（伐採等） ・獅子崎、国分地区 1.20ha	商工観光課
80	商工会議所経営改善普及活動等支援事業	12,100	12,600	12,600,000	12,600,000	◆中小企業者支援や経営指導等を行う商工会議所経営改善普及活動等への支援	商工観光課
81	中小企業等制度融資事業	138	109	109,000	72,933	◆中小企業等の制度融資に係る利子補給 16件 72,933円	商工観光課
82	企業誘致推進事業	2,961	3,229	3,229,000	2,985,885	◆企業誘致活動に係る経費	商工観光課
《農林水産業振興》							
83	農業委員会運営事業	5,332	1,946	1,946,000	1,123,059	◆農地情報GIS化の運用開始に合わせ、農地の利用状況調査等におけるタブレット端末の導入（24台）	農業委員会
			6,110	6,085,000	5,912,404	◆農業委員会運営に係る経費	
84	機構集積支援事業	1,665	2,463	2,488,000	2,424,659	◆農地利用状況調査（耕作放棄地調査）ほか	農業委員会
85	充実 強い農業づくり支援事業	20,213	当初 692 R4.9補正 5,064	5,756,000	5,444,300	◆オリーブ栽培技術及び品質の向上やブランド化等に対する支援 ◆有機農業など環境にやさしい農業の普及に向けた取組 ・先進地視察 ◆実需者ニーズに対応した米の生産機械導入支援等 ・3件	農林水産課
86	農業経営安定化対策事業	33	31	31,000	30,348	◆農業経営基盤強化資金に係る利子補給 ・1経営体、2件	農林水産課
87	中山間地域等直接支払交付金事業	37,311	39,462	39,462,000	37,963,509	◆中山間地域の農業生産活動への支援 ・31組織	農林水産課
88	多面的機能支払交付金等事業	26,386	27,889	27,816,000	25,495,251	◆農道・水路等の維持・資源向上活動への支援 ・23組織 ◆環境保全型農業への支援 ・3団体 ほか	農林水産課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
89	新規就農者育成支援事業	11,576	18,678	18,678,000	17,043,961	◆人・農地プラン策定地域等における農業次世代人材投資資金等の支給 ・12名 ◆就農研修資金償還助成 ・1名	農林水産課
90	農地中間管理事業	7,898	当初 8,980 R5.3補正 5,576	14,556,000	14,349,676	◆農地中間管理事業による農地集積の推進 ・機構集積協力金を2地区で交付	農林水産課
91	ふるさと産品等価格安定事業	24	50	50,000	23,500	◆地域特産品(小豆)生産農家の経営安定と産地育成を図るための価格安定制度の運用	農林水産課
92	経営所得安定対策推進事業	2,896	4,634	4,634,000	2,829,000	◆農業者の経営所得安定対策の推進 ・交付金交付対象者70名	農林水産課
93	畜産業経営安定化対策事業	44	18	18,000	18,000	◆飼料作物生産への支援 ・1名	農林水産課
94	農業基盤整備事業	13,011	5,625	5,625,000	2,153,199	◆農業用排水路等生産基盤の改修 ほか ・用排水路改良1件 ・農道等修繕3件 ・原材料支給8件 等	農林水産課
95	緑の担い手等支援事業	238	271	271,000	236,915	◆新規就労者や林業労働者の共済事業に対する助成 ・延べ7件	農林水産課
96	充実 有害鳥獣対策事業	26,567	41,010	41,010,000	32,050,902	◆有害鳥獣の駆除委託 ・捕獲数684頭 ◆二ホンシカ捕獲強化奨励金 ・捕獲頭数173頭 ◆有害鳥獣処理施設等の運営 ・処理量19.5t、処理回数181回 ・減容化処理の適正化に向けた大型冷凍庫の増設 ◆シビエ利用の推進 ・シビエ活用研修会の実施	農林水産課
97	強い水産業づくり支援事業	1,100	1,100	1,100,000	1,100,000	◆原木魚礁の設置などに対する支援 ・原木漁礁534セット設置 ・漁場整備 ・アカモク販売促進支援	農林水産課
98	新規就漁者育成支援事業	495	1,430	1,430,000	430,000	◆新規漁業就業者の育成及び若手・中堅漁業者の経営力向上を図る実践型研修機関「海の民学舎」の運営 ・第7期生7名、第8期生2名	農林水産課
99	水産業経営安定化対策事業	379	421	421,000	404,469	◆漁業近代化資金に係る利子補給 ・3経営体、7件	農林水産課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
100	水産業施設指定管理料	1,094	当初 500 R5.3補正 653	1,153,000	1,150,709	◆海洋つり場の管理に係る経費（利用者数 3,997名） ※小田宿野自治会への指定管理料	農林水産課
《海の活用》							
101	宮津市B & G海洋センター指定管理料	7,000	7,600	7,600,000	7,600,000	◆宮津市B & G海洋センターの管理運営に係る経費 ※(公社)京都府青少年育成協会への指定管理料	企画課
《都市景観・景観まちづくり》							
102	景観まちづくり推進事業	4,566	6,601	6,601,000	3,117,297	◆海の京都の重点整備地区である文珠・府中地区の界隈景観まちづくり助成 ほか	都市住宅課
103	都市計画事務事業	212	186	186,000	61,548	◆都市計画協会会費 ほか	都市住宅課
《社会基盤施設活用》							
104	都市公園等管理運営事業	17,103	18,945	18,659,000	18,545,243	◆都市公園等の管理運営経費	都市住宅課
105	充実 都市公園等整備事業	1,585	18,800	18,800,000	9,246,600	◆都市公園施設長寿命化計画策定（再掲） ◆宮津運動公園第2高圧機器取替 ◆西宮津公園汚水用水中ポンプ取替	都市住宅課
106	自然公園施設管理事業	1,837	1,583	1,684,000	1,683,261	◆自然公園施設の管理経費	都市住宅課

2 住みたい、住み続けたいまちづくり

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《子育て支援》						
107	入院助産実施事業	0	450	450,000	0	◆経済的な理由で病院等での出産が困難な妊婦に対する出産経費助成 ・0件	社会福祉課
108	子育て支援医療費助成事業	30,829	31,761	31,882,000	31,655,579	◆中学校卒業までの乳幼児・児童・生徒の健康保持・増進を図るため、医療費を助成	社会福祉課
109	子ども・子育て会議運営事業	96	224	224,000	164,953	◆子ども・子育て会議の開催 ・2回	社会福祉課
110	児童手当支給事業	183,810	190,025	174,059,000	172,325,735	◆児童手当の支給	社会福祉課
111	児童扶養手当支給事業	70,069	69,714	69,543,000	67,573,530	◆母子・父子家庭への児童扶養手当の支給	社会福祉課
112	保育所運営事業	77,889	76,568	78,979,000	78,722,920	◆公立保育所の運営(日置、養老)	社会福祉課
113	民間保育園運営事業	256,013	263,644	273,721,940	273,247,299	◆国基準に基づく保育士等の処遇改善を実施した保育園への支援 ◆民間保育園への保育の実施委託 ほか	社会福祉課
114	認定こども園運営事業	202,186	191,632	194,089,280	192,079,670	◆国基準に基づく保育士等の処遇改善を実施した認定こども園への支援 ◆認定こども園に対する施設型給付 ほか	社会福祉課
115	子育てのための施設等利用給付事業	4,692	3,996	3,941,000	2,640,000	◆認可外保育施設(キッズスクール等)への利用給付	社会福祉課
116	病児・病後児保育施設運営事業	521	606	606,000	507,934	◆宮津市、伊根町、与謝野町の共同実施による病児・病後児保育施設「りりふる」の運営	社会福祉課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
117	充実 のびのび放課後児童クラブ事業	36,813	45,571	45,571,000	43,910,546	◆のびのび放課後児童クラブの運営 ・宮津のびのび放課後児童クラブの法人委託化 ・全放課後児童クラブにWi-Fi環境を整備 ・府中のびのび放課後児童クラブ環境整備 (小学校特別教室へのエアコン設置) ・支援員等の処遇改善に対する支援	学校教育課
118	児童遊園管理事業	993	1,331	1,386,000	1,378,825	◆児童遊園の維持管理経費	社会福祉課
119	ひとり親家庭等支援事業	1,232	1,473	1,924,000	1,882,500	◆高等職業訓練促進給付金の支給 12カ月×1人 1カ月×2人 ◆母子寡婦福祉会への運営費補助	社会福祉課
120	ひとり親家庭医療費支給事業	13,513	11,293	14,323,000	14,306,327	◆ひとり親家庭の医療費助成	社会福祉課
《関係人口創出・拡大》							
121	次世代人材育成事業	15	150	150,000	20,000	◆市内高校と市内事業者等が参加する産学官意見交流会を実施し、課題解決型の人材育成を実施	企画課
122	充実 ふるさと納税事業	71,841	99,563	94,814,000	87,811,053	◆ふるさと宮津応援寄附に係る経費 ・新規ポータルサイトの追加、魅力アップキャンペーン等の実施	企画課
《移住・定住促進》							
123	新規 みやづ城東タウンリノベーション事業 ～地域福祉を支える福祉人材確保対策の 強化・選ばれるまちづくりの実現・移住 促進～ (定住促進住宅整備事業)	—	当初 20,000 R4.9補正 21,000	42,857,000	42,819,380	◆みやづ城東タウンの住戸リノベーション 12戸 間取り変更(3DK→1LDK)や設備更新(ユニット バス・シャワートイレなど)を実施 ・当初予算 福祉分野(医療・介護など)の従事者 向け 6戸 ・9月補正 40歳未満の若者向け 6戸	都市住宅課
124	定住促進住宅管理事業	8,445	5,590	5,153,000	4,330,438	◆みやづ城東タウンの維持管理経費	都市住宅課
《男女共同参画・女性活躍》							
125	男女共同参画推進事業	761	当初 1,352 R4.9補正 1,000	2,350,000	1,694,365	◆「宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン 2017～」の推進 ・男女共同参画等に係る市民意識調査 ほか ・子育てしやすい環境づくりに向けた取組(再掲) ・女性のライフデザイン応援講座の開催(再掲)	市民環境課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
《シティプロモーション》							
	シティプロモーションの強化						
126	シティプロモーション事業	6,390	3,000	2,420,000	2,420,000	◆地域の魅力発信に向けたデジタルコンテンツの制作等 ・宮津の魅力を市公式ホームページのnoteで情報発信	企画課
			2,292	1,998,000	1,572,823	◆「橋をつなごう」を合言葉にしたプロモーション事業の展開 ・フォトコンテスト、Instagramフォトコンテスト等の開催	
127	広報活動事業	4,703	4,852	4,852,000	4,148,013	◆広報誌の発行 ◆ホームページの保守管理	企画課
《地域コミュニティ》							
128	新規 持続可能な地域を目指したエリア連携構想の推進と地域コミュニティのあり方検討			841,000	498,025		
再掲	エリア連携構想の推進 (「橋をつなごう」総合計画等推進事業)	—	391	391,000	48,025	◆エリア連携構想策定に向けた取組み ・エリア連携構想の推進に向けた地域懇談会(2回)を開催	企画課
再掲	持続可能な地域を目指して (自治会活動支援事業)	—	450	450,000	450,000	◆宮津市自治連合協議会が行う持続可能な地域コミュニティのあり方検討、取りまとめへの支援	総務課
129	自治会活動支援事業	16,349	19,824	19,824,000	18,724,226	◆自治会活動への支援 ◆自治会集会施設等の整備への補助 ◆地域コミュニティのあり方検討(再掲)	総務課
130	充実 国際交流推進事業	94	254	113,000	112,173	◆(新)外国人技能実習生向けの日本語教室運営支援 ◆姉妹都市との交流 高校生同士のオンライン交流 ほか	総務課

3 安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《社会基盤・防災減災》						
131	農地農業用施設災害復旧事業	4,257	6,200	6,200,000	5,201,900	◆令和3年豪雨により被災した農地 ・ R3発生小田地区岩戸農地災害復旧工事 ・ R3発生小田地区竹ノ本農地災害復旧工事 ・ R3発生奥波見地区タチ農地災害復旧工事	農林水産課
132	林道等整備事業	2,007	1,800	1,901,000	1,900,800	◆林道杉山線の改修 ・ 延長182m	農林水産課
133	森林整備事業	351	5,754	5,086,000	249,441	◆市有林における造林・保育施業の実施 ・ 奥波見地区	農林水産課
134	林道等維持管理事業	2,079	2,100	2,100,000	1,980,000	◆丹後縦貫林道等の維持管理 ・ 除草、側溝清掃	農林水産課
135	漁港管理事業	1,982	2,000	2,664,000	2,203,800	◆漁港維持のための修繕・改修 ・ 修繕5件、ごみ処理2件等	農林水産課
136	海岸保全施設整備事業	80,001	80,000	80,001,000	28,100,000	◆海岸保全に係る整備 ・ 栗田漁港海岸の離岸堤整備(H30～R8予定、 R4整備延長50m)	農林水産課
137	道路新設改良事業	95,612	156,604	151,705,700	128,149,197	◆通学路の緊急安全対策 ・ 役場西山線ほか路肩拡幅等 ◆安全で快適な生活環境づくりのための道路の整備 ・ 通学路安全対策、橋梁長寿命化対策、危険法面 対策など	土木管理課
138	交通安全施設整備事業	3,043	3,214	3,214,000	3,029,916	◆交通安全施設の整備	土木管理課
139	道路維持修繕事業	34,884	30,058	30,070,000	28,736,979	◆道路パトロールの実施 ◆道路等の維持修繕	土木管理課
140	除雪事業	171,048	当初 59,032 R5.3補正 5,500	69,439,000	69,438,066	◆除雪の実施	土木管理課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	総合的な浸水対策の推進						
141	河川整備事業	60,727	230,000	230,000,000	187,150,109	◆滝馬川河川整備工事	土木管理課
142	都市下水路管理事業	9,438	9,650	9,650,000	9,329,401	◆都市下水路の維持管理 ◆雨水タンクの設置助成	土木管理課
143	排水機場整備事業	19,660	11,000	11,000,000	10,879,000	◆浜町排水機場の排水能力確保に向けた改修 ・小口径ポンプ更新 ほか	土木管理課
144	河川管理事業	6,697	11,390	11,390,000	9,637,877	◆河川施設の維持管理	土木管理課
145	急傾斜地崩壊対策事業	8,000	10,000	10,000,000	8,000,000	◆急傾斜地崩壊対策事業負担金（小田宿野）	土木管理課
146	公共土木施設災害復旧事業	14,841	4,700	4,700,000	3,781,600	◆令和3年発生災害の復旧 ・竹の本川河川災害復旧工事	土木管理課
147	排水機場維持管理事業	6,459	6,557	6,557,000	6,147,779	◆浜町排水機場の維持管理	土木管理課
148	地籍調査事業	5,603	5,445	5,481,000	5,032,204	◆地籍調査の実施 ・府中・城南地区0.47㎢	土木管理課
149	住宅耐震化促進事業	4,565	5,450	2,950,000	2,895,000	◆木造住宅の耐震診断及び耐震改修助成	都市住宅課
150	市営住宅管理事業	10,601	8,869	9,949,000	9,915,196	◆市営住宅の維持管理経費	都市住宅課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
151	市営住宅環境整備事業	119,433	30,000	30,000,000	23,848,000	◆市営住宅タケ丘団地建替関連事業 ・旧市営住宅の除却	都市住宅課
152	宮津与謝消防組合分担金	339,476	336,402	336,402,000	336,402,000	◆宮津与謝消防組合への分担金	消防防災課
153	充実 消防団運営事業	24,221	当初 50,441 R4.9補正 2,775	52,426,000	45,891,018	◆団員報酬等、出動手当、退職報奨金 ◆消防団活動・運営に係る経費 ◆消防団員等公務災害補償等共済基金掛金、災害補償費	消防防災課
154	消防施設整備事業	5,291	5,500	5,535,000	5,534,170	◆消防団車両（日置1部）の更新 ・小型動力ポンプ付き軽四積載車	消防防災課
155	消防施設管理事業	8,080	6,138	6,893,000	6,859,817	◆消防施設の維持管理経費	消防防災課
156	水防事業	600	600	602,000	600,943	◆水防活動に係る経費	消防防災課
157	充実 原子力災害住民避難体制の構築 （防災施設整備事業）	—	14,520	14,520,000	13,079,000	◆養老地区公民館の放射線防護施設整備に向けた 実施設計	消防防災課
158	防災活動事業	3,160	4,054	4,052,000	3,121,199	◆防災活動に係る経費 ◆地域防災力強化に向けた災害情報伝達手段の研究	消防防災課
159	防災施設管理事業	6,264	6,799	6,799,000	6,789,092	◆防災行政無線の維持管理経費 ◆防災拠点施設の維持管理経費	消防防災課
《防犯・交通安全》							
160	消費者行政活性化事業	3,186	3,519	3,516,000	3,472,852	◆宮津与謝消費生活センターの運営	商工観光課
161	交通安全対策事業	2,325	1,868	1,868,000	1,549,370	◆交通安全に関する普及・啓発活動の実施 ◆高齢者運転免許証自主返納支援 75人	市民環境課
162	公共交通利用促進事業	4,913	5,335	6,216,000	6,192,483	◆高齢者片道200円レール事業の実施 ほか ・宮津市内延べ利用者数 15,280人 (R3:12,881人) ・2市2町延べ利用者数 30,185人 (R3:25,585人)	企画課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《環境》						
163	環境保全推進事業	7,708	6,938	7,283,000	7,150,904	◆環境保全活動に係る経費 ◆資源ごみ回収活動報奨金 ◆環境美化事業補助金 など	市民環境課
164	騒音等対策事業	528	700	700,000	660,000	◆騒音規制法に基づく自動車騒音等監視 ・府道綾部大江宮津線 評価区間3区間	市民環境課
165	街路灯等LED化事業	9,827	9,890	9,890,000	9,876,718	◆25年度実施の市内全域LED化(リプレイス等 :3,906基)に係るリース料 ◆新設要望等への対応(3地区7基分)	市民環境課
166	浄化槽補助事業	25,393	24,728	24,728,000	21,740,600	◆浄化槽の設置補助 26件 13,791千円 ◆高齢者世帯の排水設備補助 1件 100千円 ◆浄化槽の維持管理補助 389件 7,780千円	市民環境課
167	清掃工場廃止準備事業	394	6,000	6,000,000	4,257,000	◆清掃工場廃止手続きに向けた水質・土壌汚染調査	市民環境課
168	不燃物処理場管理運営事業	40,633	当初 51,189 R4.12補正 900	51,631,000	40,550,276	◆不燃物処理場の管理運営等経費	市民環境課
169	ごみ等収集運搬処分事業	158,490	159,535	165,629,000	165,196,628	◆ごみ等の収集運搬処分に係る経費	市民環境課
170	宮津与謝環境組合分担金等	158,125	当初 225,158 R5.3補正 △16,000	203,064,000	202,412,300	◆宮津与謝クリーンセンターの運営を行う宮津与謝 環境組合への分担金 197,713千円 ◆焼却灰運搬経費 ほか	市民環境課
171	し尿処理施設管理運営事業	70,473	当初 69,116 R4.12補正 1,400	70,974,000	69,213,921	◆し尿処理施設の管理運営等に係る経費	市民環境課
172	し尿収集運搬事業	72,888	71,488	71,488,000	70,199,060	◆し尿の収集運搬に係る経費	市民環境課
173	海岸漂着物回収・処理事業	1,014	1,639	1,639,000	1,019,615	◆宮津市管理海岸等における海岸漂着物の回収・ 処理経費	市民環境課 農林水産課
174	森林管理事業	231	2,100	2,100,000	1,985,093	◆森林環境譲与税基金を活用した適切な森林管理 ・森林所有者への意向調査の実施 ほか	農林水産課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
《公共交通》							
	地域生活を支える交通対策						
175	公共交通空白地有償運送支援事業	7,754	7,959	9,737,000	7,327,407	◆公共交通空白地有償運送（上宮津有償運送運営協議会・橋北移送サービス運営協議会・由良有償運送運営協議会）への支援 ◆200円タクシー事業（栗田地区）の実施	企画課
176	地方バス路線運行維持対策事業	50,818	47,364	54,988,000	54,924,525	◆地方バス路線（幹線、枝線）維持のための支援 ・幹線 4路線 ・枝線 1路線	企画課
177	KTR支援事業	156,641	172,930	162,302,000	146,162,530	◆鉄道軌道安全設備等整備や鉄道施設等の維持管理・整備を沿線自治体で支援	企画課
178	充実 地域交通政策事業 ～過度に自家用車に頼らない ための公共交通の魅力創出～	505	540	540,000	175,054	◆宮津市地域公共交通会議の運営 ・地域公共交通会議3回 ・先進モビリティサービス検討部会1回 ◆過度な自家用車依存からシフトする利用機会の創出 ・親子連れを対象とした路線バスお試し乗車会の実施	企画課
179	宮津市ターミナルセンター管理事業	17,166	当初 16,828 R4.12補正 2,900	20,024,000	20,006,725	◆ターミナルセンターの管理運営経費	企画課
180	充実 宮津市ターミナルセンター整備事業 ～宮津ターミナルセンターの長寿命化対策と待合室の利用環境改善～	4,520	当初 7,600 R4.9補正 2,000	9,600,000	8,341,724	◆宮津ターミナルセンター劣化度調査及び改修・中長期修繕計画作成(再掲) ◆宮津ターミナルセンターの長寿命化と待合環境改善に向けた実施設計等 ◆その他修繕 ・岩滝口駅前広場、宮津ターミナルセンター	企画課

4 健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《地域福祉》						
181	新規 成年後見制度の利用促進体制の構築 (成年後見支援センター運営事業、地域生活支援事業)	—	554	542,000	144,040	◆成年後見支援センターの運営に係る経費 ・成年後見制度の利用促進、制度周知等	社会福祉課 健康・介護課
182	新規 福祉施設運営支援事業	—	1,469	1,469,000	1,468,500	◆元水産事務所（京都府施設）を活用した社会福祉法人の事業展開に対する支援（土地建物転貸）	社会福祉課
183	地域ささえあいセンター指定管理料	2,376	2,376	2,376,000	2,376,000	◆地域ささえあいセンターの管理運営に係る経費 ※宮津市社会福祉協議会への指定管理料	社会福祉課
184	民生委員推薦会運営事業	—	364	364,000	348,362	◆一斉改選に伴う推薦会開催経費等	社会福祉課
185	民生児童委員協議会補助事業 児童委員活動費補助事業	6,690	6,620	6,620,000	6,618,720	◆民生児童委員による地域での助け合い活動の支援	社会福祉課
186	社会福祉協議会活動推進事業 (社会福祉協議会運営補助事業から名称変更)	17,712	16,088	16,088,000	16,087,000	◆社会福祉協議会が行う社会福祉活動の支援	社会福祉課
187	くらしの資金貸付事業	895	2,500	1,295,000	810,000	◆生活の不安定な世帯への生活資金の貸付	社会福祉課
188	生活困窮者自立支援事業	2,971	5,757	5,757,000	5,038,000	◆生活困窮者の自立に向けた支援（就労支援等）	社会福祉課
189	生活保護費給付事業	193,343	当初 200,000 R5.3補正 5,600 R5.3専決 10,080	215,680,000	215,674,284	◆生活困窮者の必要最低限の生活保障 ◆自立に向けたサポートの実施	社会福祉課
190	就労自立給付金支給事業	57	100	100,000	0	◆就労による自立を促進させるための給付金	社会福祉課
191	災害救助事業	200	100	100,000	0	◆災害見舞金の支給	社会福祉課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
	《障害福祉》						
192	障害支援区分認定事業	1,931	1,996	1,956,000	1,776,492	◆障害支援区分認定審査会の設置・運営 ・1市2町による共同設置 ◆障害支援区分認定のための調査等	社会福祉課
193	障害福祉サービス事業	594,754	587,886	587,777,000	585,566,708	◆障害福祉サービス費等の支給	社会福祉課
194	自立支援医療給付事業	21,294	20,567	23,275,000	23,273,959	◆身体の機能障害の除去・軽減を行い、日常生活に 適応することを目的とした医療を指定医療機関で 受けた場合の医療費の一部を助成	社会福祉課
195	補装具給付事業 日常生活用具給付事業	9,532	12,025	11,329,000	8,905,106	◆障害者の日常生活を容易にするための補装具費等 の給付	社会福祉課
196	地域生活支援事業	18,487	18,812	18,963,000	17,754,423	◆障害者の地域社会での自立した生活をサポート ・相談支援、地域活動支援、移動支援等 ◆コミュニケーション支援、生活訓練等の実施 ◆障害者に対する交通費の助成等 ◆成年後見制度の周知に係る経費（再掲）	社会福祉課
197	特別障害者手当等給付事業	10,241	10,792	8,792,000	7,918,760	◆特別の介護を必要とする在宅重度障害者等に 対する手当の支給	社会福祉課
198	障害者福祉施設運営補助事業	40	90	90,000	55,556	◆北部障害者歯科診療所の運営補助	社会福祉課
199	重度心身障害児者医療費支給事業	30,486	31,278	28,696,000	28,089,748	◆75歳未満の重度心身障害児者医療費助成	社会福祉課
200	重度心身障害老人健康管理費支給事業	27,601	26,695	25,687,000	24,982,994	◆後期高齢者医療制度対象の重度心身障害者医療 費助成	社会福祉課

事業名		R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
《高齢者福祉》							
201	高齢者が安心して暮らせる環境の整備						
再掲	新規 持続可能な地域医療・健康づくり推進事業 (地域医療推進事業)	—	17,000	17,000,000	13,090,702	◆医療車両を活用したオンライン診療導入に向けた実証 ◆健康寿命の延伸について北部医療センター等との共同研究 ・活き生き健診の実施 ・透析患者の現状分析	健康・介護課
再掲	新規 エッセンシャルワーカー（介護・医療職員等）の確保対策強化に向けた住宅整備 (みやづ城東タウンリノベーション事業)	—	20,000	21,316,000	21,315,480	◆みやづ城東タウンの住戸リノベーション 6戸(再掲) ・間取り変更（3DK→1LDK）や設備更新を実施 ・入居対象は福祉分野（医療・介護など）の従事者	都市住宅課 社会福祉課 健康・介護課
再掲	充実 介護従事者の負担軽減対策 (介護従事者負担軽減支援事業)	2,316	4,800	4,800,000	2,534,000	◆介護サービス事業所が行う従事者の負担軽減対策（介護ロボット、ICT導入）への支援 ・4法人（7事業所）	健康・介護課
再掲	充実 福祉施設の感染防止対策の強化 (新型コロナウイルス感染拡大防止事業)	7,288	当初 5,261 R4.8補正 1,136	6,397,000	6,397,000	◆福祉施設の感染防止対策の強化 ・介護施設の感染拡大防止設備（家族面会室）の整備支援	社会福祉課
202	老人ホーム入所措置事業	60,282	62,074	64,764,000	64,750,628	◆養護老人ホームへの入所措置	社会福祉課
203	敬老事業	2,420	2,703	2,703,000	2,413,155	◆地域ぐるみでの敬老活動支援	社会福祉課
204	老人クラブ等助成事業	1,845	1,965	1,965,000	1,828,824	◆老人クラブの活動支援	社会福祉課
205	特別養護老人ホーム整備費等補助事業	8,806	8,694	8,694,000	8,693,750	◆特養等福祉施設整備に係る償還金への助成 ◆雇用機会拡大補助金の交付	社会福祉課
206	介護保険低所得者対策事業	943	1,000	1,043,000	1,041,646	◆社会福祉法人が行う生計が困難な介護保険サービス利用者に対する負担軽減(減免)への支援 ・軽減人数100人 軽減総額6,221,135円	健康・介護課
207	介護予防安心住まい推進事業	0	160	117,000	0	◆要介護状態になるおそれの高い高齢者に対する住宅改修費の助成 ・実施件数0件	健康・介護課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
208	老人医療費支給事業	8,015	9,291	9,291,000	7,369,658	◆老人医療費の助成（65歳以上70歳未満）	税務・国保課
209	国民年金事業	1,568	1,809	1,809,000	1,567,728	◆国民年金制度窓口業務に係る経費	税務・国保課
《健康・医療》							
210	持続可能な地域医療・健康づくり推進事業			17,000,000	13,090,702		
新規	医療MaaS導入に向けた実証事業 (地域医療推進事業)	—	14,000	14,000,000	12,689,310	◆医療車両を活用したオンライン診療導入に向けた実証 ・実施期間：令和4年11月21日から令和5年2月13日まで ・実施件数：19件 ・3医療機関で実施	健康・介護課
	医療確保・健康づくりに向けた協働研究 (地域医療推進事業)	—	3,000	3,000,000	401,392	◆健康寿命の延伸について北部医療センター等との協働研究 ・生き生き健診の実施 ・透析患者の現状分析	健康・介護課
211	健康づくり推進事業	32,206	29,643	29,652,000	28,809,269	◆健康診査・がん検診等に係る経費（総合健診16日とがん検追加実施1日、婦人科検診個別） ◆食生活改善推進員の活動支援 ◆保健指導に係る経費（健康相談、訪問、教室の実施等）	健康・介護課
212	天橋立健康ウォーク開催補助事業	0	1,600	1,600,000	1,040,000	◆天橋立ツーデーウォークの開催支援 令和4年9月24日、25日開催 ・参加人数：936人（延べ） 24日：434人、25日：502人	健康・介護課
213	人間ドック助成事業 〈国民健康保険事業特別会計〉 〈後期高齢者医療特別会計〉	15,739	15,410	18,834,000	18,484,140	◆人間ドック受診助成	税務・国保課
214	地域医療推進事業	11,758	12,272	12,272,000	9,513,054	◆医療確保・健康づくりに向けた共同研究（再掲） ◆公共施設へのAED(自動体外除細動器)の配備 ◆日曜・祝日・年末年始における外科救急診療体制の確保 ・診療日数：71日 患者数：1,094人 ◆#7119（救急安心センター事業）負担金	健康・介護課
215	診療所管理事業	7,845	8,236	8,236,000	7,886,000	◆養老診療所・養老歯科診療所、日置診療所、由良診療所に対するへき地診療委託 ◆養老歯科診療所：デジタルレントゲンサーバ更新	健康・介護課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
216	新規 府中診療所の受診環境整備 (診療所整備事業)	—	R4.12補正 5,000	債務負担行為 9,300千円 5,000,000	3,688,300	◆府中診療所の受診環境整備 3,689千円 ・整備内容 発熱患者受入対応スペースの整備	健康・介護課
217	休日応急診療所の運営 <休日応急診療所事業特別会計>	18,817	21,885	21,885,000	19,124,336	◆日曜・祝日・年末年始における内科・小児科救急診療体制の確保 ・診療日数：71日 患者数：346人	健康・介護課
218	骨髄ドナー助成事業	0	140	140,000	140,000	◆日本骨髄バンクが実施する骨髄等提供斡旋事業の骨髄等提供者への支援 ・該当者：1名	健康・介護課
219	予防接種事業	44,245	当初 57,813 R4.9補正 2,900	60,245,000	45,024,789	◆予防接種（医療機関等への委託経費等） ◆子ども及び妊婦に対するインフルエンザワクチン接種の臨時的支援【新型コロナとの同時流行対策】 (再掲)	健康・介護課
《福祉医療人材育成》							
220	介護人材確保推進事業	2,249	2,550	3,450,000	3,334,000	◆福祉職場に従事する人材の育成 介護福祉士奨学金制度、民間が行う講座や介護福祉士等受験対策講座受講者への支援	社会福祉課
221	医師確保対策事業 看護師等確保対策事業	10,400	13,800	13,800,000	12,400,000	◆医師確保対策事業 ・新規：0人 継続：0人 ◆看護師等確保対策事業 ・新規：7人・6,200千円 ・継続：7人・6,200千円	健康・介護課

5 ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
《社会教育》							
222	社会教育推進事業	5,327	8,089	8,165,000	7,889,920	◆中学生の主張大会、二十歳のつどい ◆視覚聴覚障害者成人講座、障害者青年学級 ◆人権教育講座、企業人権教育推進協議会への支援 ◆すこやか大学 ◆社会教育委員会の開催 など	社会教育課
223	社会教育活用施設管理運営事業	2,656	3,079	3,079,000	2,804,463	◆社会教育活用施設の管理運営に係る経費 (由良地区、日ヶ谷地区、上宮津地区、養老地区)	社会教育課
224	公民館管理運営事業	19,210	19,644	19,644,000	19,518,619	◆地区公民館の管理運営・活動や中央公民館事業に係る経費	社会教育課
225	新規 上宮津地区公民館の移転整備 (公民館整備事業)	—	R4.9補正 8,000	8,000,000	6,578,000	◆上宮津地区公民館の移転整備に向けた実施設計 ・移転先 旧上宮津小学校	社会教育課
226	図書館管理運営事業	24,620	23,307	23,070,000	22,652,568	◆図書館の管理運営経費 ◆「はまなす文庫」(移動図書館車)の運行に係る経費	社会教育課
227	みやづ歴史の館整備事業	517	190	190,000	0	◆執行なし	社会教育課
228	みやづ歴史の館管理運営事業	508	510	2,265,000	2,161,546	◆テレビ共聴システム保守業務に係る経費 ◆非常用発電機燃料タンク更新	社会教育課
《学校教育》							
229	教育委員会活動事業	3,462	3,526	3,526,000	3,466,698	◆教育委員会の活動経費	学校教育課
230	いじめ防止対策推進事業	0	297	263,000	49,784	◆宮津市いじめ問題対策連絡会議、宮津市いじめ防止対策推進委員会、宮津市いじめ調査委員会の運営に係る経費 ・連絡会議開催1回	市民環境課 学校教育課
231	英語指導事業	8,050	8,343	8,343,000	8,201,730	◆英語教育の充実を図るため、小・中学校に英語指導助手(AET)を2名配置	学校教育課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
232	スクールバス運行事業	52,783	当初 53,538 R5.3補正 △ 13,500	39,257,000	39,255,458	◆専用スクールバスの運行	学校教育課
233	与謝野町宮津市中学校組合分担金	49,129	26,153	26,153,000	26,153,000	◆与謝野町宮津市中学校組合分担金	学校教育課
234	私立幼稚園振興助成事業	9,508	10,413	10,413,000	9,989,166	◆私立幼稚園に対する施設型給付	学校教育課
235	教育委員会事務局経費	10,940	9,376	9,664,000	9,325,264	◆教育委員会事務局運営に係る経費 ・学校施設等のあり方検討委員会の開催	学校教育課
236	小学校管理・教育振興事業	97,621	当初 100,985 R4.12補正 898	102,950,000	95,268,074	◆小学校の管理運営、保健管理、教育振興	学校教育課
237	中学校管理・教育振興事業	46,555	当初 43,986 R4.12補正 600	44,807,000	43,336,554	◆中学校の管理運営、保健管理、教育振興	学校教育課
238	幼稚園管理・教育振興事業	26,119	当初 28,587 R4.12補正 1,157	30,161,000	29,674,274	◆幼稚園の管理運営、保健管理、教育振興	学校教育課
239	小学校施設整備事業	—	R4.9補正 8,000	8,000,000	7,808,240	◆教育環境に配慮が必要な児童の就学に伴う施設改修 (府中小学校) ・トイレ改修、昇降口スロープ設置等のバリアフ リー工事の実施 ・階段昇降車の購入 ほか	学校教育課
240	就学児童援助事業 就学生徒援助事業	27,194	31,918	30,574,000	26,493,692	◆就学困難な児童・生徒や特別支援教育を受ける 児童・生徒の保護者の経費負担の軽減 ・学用品費、修学旅行費等の支給	学校教育課
241	遠距離通学児童援助事業 遠距離通学生徒援助事業	1,162	1,208	1,264,000	1,174,214	◆遠距離通学児童・生徒通学費に係る保護者の経済的 負担の軽減 ・定期代等の補助	学校教育課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
《文化・スポーツ振興》							
242	スポーツ×観光（交流）のまちづくり						
	新規 ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業 ～世界へと夢をつなぐ～	—	3,500	3,500,000	1,202,200	<ul style="list-style-type: none"> ◆ジュニアスポーツ育成チャレンジ補助金制度の創設 ◆京都サンガF.Cのホームタウン活動による子どもたちの競技力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー教室、市民限定観戦ツアーの実施 ◆ヨットハーバーを拠点とした海のスポーツ活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・OP級の新艇導入によるヨット競技環境の強化支援 	企画課
	243 スポーツ振興事業	3,775	5,832	5,832,000	5,483,729	<ul style="list-style-type: none"> ◆第2期宮津市スポーツ推進計画に基づく「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツDAY ・SOMPOボールゲームフェスタ ・全国規模大会等開催に対する支援 ほか ◆（新）第3期宮津市スポーツ推進計画の策定 	企画課
	再掲 新規 天橋立エコ・スポーツフェスティバル事業	—	550	550,000	403,940	<ul style="list-style-type: none"> ◆天橋立ビーチバレーボール大会との同日開催による「スポGOMI in 天橋立」大会、天橋立名勝100年・特別名勝70年記念イベント「天橋立エコ・スポーツフェスティバル」の実施 	企画課
	再掲 天橋立健康ウォーク開催補助事業	0	1,600	1,600,000	1,040,000	<ul style="list-style-type: none"> ◆天橋立ツデーウオークの開催支援 令和4年9月24日、25日開催 <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数：936人（延べ24日：434人、25日：502人） 	健康・介護課
244 文化芸術活動活性化事業	2,821	2,881	2,881,000	934,900	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化芸術等活動に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・まちかどコンサート等開催支援11件 ◆小中学生を対象とする文化芸術体験 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生各1名参加 ◆文化団体協議会に対する活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭等 	企画課	
245 市民実践活動施設指定管理料	88,802	87,243	87,243,000	86,108,198	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民実践活動施設（宮津市民体育館等）の管理運営に係る経費 ※（公財）市民実践活動センターへの指定管理料 	総務課	
《文化財保存・活用》							
246 重要文化的景観保護推進事業	1,940	当初 10,700 R5.3補正 △ 9,330	1,370,000	1,370,000	<ul style="list-style-type: none"> ◆重要文化的景観保護推進 <ul style="list-style-type: none"> ・重要構成要素の保護整備支援 ほか 	社会教育課	
247 文化財保護・活用推進事業 (歴史資料館管理運営事業を統合)	388	412	412,000	348,143	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財保護審議会の開催・市指定文化財の指定 ◆文化財説明板の更新 ◆歴史資料館維持管理経費 ほか 	社会教育課	

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
248	市内遺跡発掘調査事業	2,000	2,000	2,000,000	2,000,000	◆安国寺遺跡の発掘調査の実施	社会教育課
249	重要文化財旧三上家住宅指定管理料	4,500	4,000	4,000,000	4,000,000	◆重要文化財旧三上家住宅の管理運営に係る経費 ※(特非)天橋作事組への指定管理料	社会教育課
《人権教育・啓発》							
250	市民相談事業	434	513	513,000	402,480	◆法律相談など市民からの相談業務に係る経費	市民環境課
251	人権啓発事業	1,066	1,272	1,272,000	969,464	◆人権に関する啓発事業に係る経費 ・人権市民のつどいの実施など	市民環境課
252	杉末会館等管理運営事業 (隣保館等管理運営事業から名称変更)	8,026	6,137	6,151,000	5,949,238	◆杉末会館等の管理運営に係る経費	市民環境課

その他

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
253	議会運営事業	4,159	7,280	7,280,000	5,466,488	◆議会基本条例に基づく議会活性化の取組の推進 ・YouTubelによるインターネット録画配信、会議録検索システム、議会だより掲載ページの充実、市民と議会の懇談会、議員研修会、先進地視察研修等	議事調査課
254	職員研修事業	387	3,955	3,834,000	3,145,447	◆職員研修等に係る経費 ◆地域創生実現に向けたリーダー職員の育成	総務課
255	人事管理事業	7,286	20,880	30,748,000	29,274,592	◆人事管理に係る経費	総務課
256	自治功労者等表彰事業	195	270	219,000	218,592	◆自治功労者等表彰に係る経費	総務課
257	新規 個人情報保護法改正対応 (行政事務事業)	—	7,500	7,500,000	7,055,000	◆個人情報保護法改正に伴う個人情報ファイル簿作成、例規整備 ほか	総務課
258	電算管理事業	126,719	116,401	115,841,000	108,066,756	◆電算システムに係る維持管理等経費	総務課
259	財産管理事業	14,708	当初 33,953 R4.12補正 3,100 R5.3補正 7,500	38,868,000	25,563,536	◆島崎エリア等の再開発に向けた調査等(再掲) ◆市有財産に係る維持管理経費 ◆公用車の管理に係る経費 ほか ◆公共施設マネジメント推進会議開催 ◆市有林法面復旧工事	財政課
260	財産管理事業 (宮津市福祉・教育総合プラザ関連)	48,971	当初 49,705 R4.12補正 2,300 R5.3補正 4,494	56,520,000	55,873,864	◆宮津市福祉・教育総合プラザに係る維持管理経費 ◆宮津阪急ビルの施設共用部修繕に係る負担金 ・5階デッキ改修工事(人工芝張替)	財政課
261	庁舎等管理事業	26,913	当初 25,257 R4.12補正 2,500	30,720,000	28,238,360	◆市役所庁舎に係る維持管理経費	総務課 財政課
262	新規 「橋をつなごう」総合計画等推進事業	—	732	692,000	291,587	◆エリア連携構想策定に向けた取組み ・エリア連携構想の推進に向けた地域懇談会(2回)を開催 ◆宮津市総合計画等有識者会議(2回)の運営経費	企画課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
263	公平委員会運営事業	266	265	265,000	239,224	◆公平委員会の運営及び委員研修等に係る経費	監査事務局
264	丹後地区土地開発公社負担金	100	100	100,000	100,000	◆丹後地区土地開発公社への運営費負担金	財政課
265	ふるさと宮津を守り育てる条例審議会運営事業	0	75	75,000	0	◆ふるさと宮津を守り育てる条例審議会の運営経費 ・開催実績なし	消防防災課
266	自治振興交付金事業	2,009	9,935	9,935,000	9,583,824	◆財産区の収入の一部を地域振興に係る経費として自治会に交付（上宮津財産区、栗田財産区、世屋財産区関係）	農林水産課
267	新規 持続可能な行財政運営有識者会議（税務事務事業）	—	500	514,000	191,600	◆持続可能な行財政運営に向けた有識者会議の運営経費	税務・国保課 財政課
268	税収入等過誤納還付金 税収入等還付加算金	6,612	5,100	7,503,000	7,324,984	◆市税の過年度税額更正等による過誤納金の還付 ◆過年度還付金に係る還付加算金	税務・国保課
269	固定資産評価審査委員会運営事業	32	71	57,000	30,776	◆固定資産評価審査委員会の運営経費	税務・国保課
270	税務共同化事業	21,740	当初 18,829 R5.3補正 △ 1,311	17,518,000	17,129,797	◆京都地方税機構の運営経費負担金	税務・国保課
271	固定資産評価替事業	3,080	13,015	13,015,000	13,006,400	◆固定資産の適正な評価に要する経費	税務・国保課
272	戸籍住民基本台帳管理運営事業	28,184	当初 21,011 R4.9補正 7,980	28,991,000	20,442,669	◆戸籍・住民基本台帳等の窓口サービスに係る経費	市民環境課
273	選挙管理委員会運営事業	718	741	741,000	718,892	◆選挙管理委員会の運営経費	総務課
274	京都府知事選挙執行事業	5,168	8,300	8,300,000	8,297,961	◆京都府知事選挙の執行経費	総務課

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
275	新規 市長・市議会議員選挙執行业業	—	当初 32,000 R4.12補正 △ 2,530	29,470,000	29,464,443	◆市長・市議会議員選挙の執行経費	総務課
276	新規 参議院議員通常選挙執行业業	—	14,000	14,000,000	13,997,452	◆参議院議員通常選挙の執行経費	総務課
277	新規 京都府議会議員一般選挙執行业業	—	R4.12補正 5,200	5,200,000	4,193,839	◆京都府議会議員一般選挙（令和5年4月予定）執行経費	総務課
278	統計調査事業	1,386	821	821,000	802,436	◆統計調査に係る経費	総務課
279	監査委員運営事業	3,534	3,777	3,850,000	3,598,633	◆監査の実施及び監査委員の研修に係る経費	監査事務局
280	火葬場管理運営事業	11,170	11,812	13,322,000	11,818,565	◆火葬場の管理運営経費	市民環境課
281	公衆衛生対策事業	210	417	417,000	305,122	◆犬の登録事務、狂犬病予防注射に係る経費 ほか	市民環境課
282	市債償還元金 市債利子 一時借入金利子	1,420,379	当初 1,572,842 R4.12補正 11	1,572,853,000	1,568,913,560	◆市債の償還金（元金・利子） ◆一時借入金利子	財政課

特別会計・公営企業会計

	事業名	R3年度 決算額 (千円)	R4年度 当初予算額 (千円)	R4年度 最終予算額 (円)	R4年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
特1	土地建物造成事業特別会計	142,506	当初 9,232 R4.6補正 133,835	143,067,000	137,954,350	移住・定住促進のため、つつじが丘団地の販売を進める。 ◆令和4年度収支に赤字が見込まれるため、令和5年度歳入を令和4年度の歳入不足に充当 ※繰上充用額137,953千円	企画課
特2	国民健康保険事業特別会計	2,086,757	当初 2,013,324 R4.9補正 2,011 R4.12補正 △5,801 R5.3補正 120,559	2,130,093,000	2,105,466,932	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。	税務・国保課
特3	後期高齢者医療特別会計	355,148	当初 375,168 R4.12補正 1,175	376,343,000	373,541,697	原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等「生活を支える医療」を提供するため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。	税務・国保課
特4	介護保険事業特別会計	2,908,795	当初 2,887,439 R4.9補正 107,074 R4.12補正 7,317	3,001,830,000	2,874,811,442	介護保険事業の運営を行う。	健康・介護課
特5	介護予防支援事業特別会計	12,466	13,767	13,767,000	11,168,029	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。	健康・介護課
特6	休日応急診療所事業特別会計	18,817	21,885	21,885,000	19,124,336	休日応急診療所事業の運営を行う。 診療日数：71日 患者数：346人	健康・介護課
特7	財産区特別会計	4,583	30,714	30,714,000	20,800,402	各財産区の円滑な運営	農林水産課
特8 特8-1	水道事業会計	1,166,788	当初 1,575,618 R4.12補正 △285	1,575,333,000	1,342,589,201	◆安全でおいしい水を供給する。 ・水道事業の管理・運営 ・IoTを活用した水道施設の整備	上下水道課
特9	下水道事業会計	1,759,885	当初 1,785,222 R4.9補正 16,400 R4.12補正 △617	1,801,005,000	1,658,295,855	◆公共水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。 ・下水道事業の管理・運営 ・宮津市公共下水道使用料金等審議会の開催(全4回)	上下水道課

人件費の推移(全会計ベース)

(単位:円)

区分	職員数 (4/1)	ラスパイルズ 指数	議員		委員等非常勤職員				市長等特別職職員 (H29～教育長含む)		一般職職員 (H29～教育長除く)			退職手当組合 負担金 (特別職・一般職)	臨時職員 賃金	これらに係る 共済費	計
			報酬	手当	各種委員会等 報酬	会計年度任用職員 (～R元 嘱託職員)			給料	手当	給料	手当 (時間外勤務手当除く)	時間外勤務手当				
						報酬	報酬	期末手当									
平成30年度	233	96.8	59,037,627	18,197,874	124,993,868	167,942,977	0	0	27,479,999	8,655,299	894,617,499	461,550,277	119,650,000	195,710,636	45,133,150	368,512,706	2,491,481,912
令和元年度	223	96.9	55,800,000	18,181,487	116,535,258	169,778,935	0	0	21,984,000	9,161,499	866,829,523	441,009,585	73,545,000	164,511,947	48,373,997	352,495,762	2,338,206,993
令和2年度	218	96.8	55,803,223	17,914,125	66,023,331	217,345,500	30,844,617	7,917,773	21,984,000	9,026,825	843,225,744	422,895,078	62,751,585	151,463,852	0	336,505,004	2,243,700,657
令和3年度	213	97.0	55,800,000	17,914,112	61,340,217	212,444,575	32,282,989	8,177,655	21,984,000	9,029,824	816,451,512	396,516,454	62,059,302	154,690,705	0	325,448,016	2,174,139,361
令和4年度	205	96.9	58,481,178	16,707,487	68,772,441	217,767,104	30,272,244	8,348,327	21,984,000	8,634,800	794,864,965	371,029,073	71,953,735	149,791,955	0	316,006,723	2,134,614,032
前年度比	△ 8	△ 0.1	2,681,178	△ 1,206,625	7,432,224	5,322,529	△ 2,010,745	170,672	0	△ 395,024	△ 21,586,547	△ 25,487,381	9,894,433	△ 4,898,750	0	△ 9,441,293	△ 39,525,329

(単位:円)

事業名	関係人口創出・拡大事業			充実	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり		
					施策分野	関係人口創出・拡大				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円		159,563 千円	15,000 千円		35,800,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化から生じた担い手不足で集落機能維持が困難となっている。 新型コロナウイルス禍を契機に、新しい働き方として関心が高まるテレワークやワーケーション等は、都市部から地方への新たな人の流れになるとともに、働き方の新しいスタイルが定着し、空いた時間を活用した副業・兼業の動きの広がりが見られる。 こうした中、本市ではR3.1に中間支援組織「MIYAZU未来デザインセンター」を設立するとともに、前尾記念クロスワークセンターや民間事業者整備施設などテレワーク等に取り組むことができる環境づくりを進めている。 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの管理運営 14,000,000円 <ul style="list-style-type: none"> 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの運営(指定管理者:株式会社 FoundingBase) 都市部人材と地域住民の交流の場、ツアー事業等の創出 ■ワーケーション受入環境整備支援 250,000円 <ul style="list-style-type: none"> 店舗をワーケーションスペースとして活用する整備を支援 支援施設: 1施設(つるや食堂) ■進出企業(スターマーク株)と地元事業等との連携事業への支援 17,000,000円 <ul style="list-style-type: none"> 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUに進出した企業と地元事業者が連携して行う取組を支援 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUに動画スタジオ機能、研修機能の整備 地域コンテンツの情報発信、動画マーケティングセミナーの実施等 ■高等教育機関等との連携強化に向けた準備 2,929,775円 <ul style="list-style-type: none"> 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUにサテライトオフィスを開設した京都府立大学との連携強化に向けた準備等を実施 大学生等の滞在拠点(みやづ城東タウンC棟)づくり(改修、備品整備等) 京都府立大学との連携に向けた準備(予約システムの構築等) 					
	目的・目標	「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」を核として、市内のワーケーション施設や関係団体と連携し「市内まるごとワーケーション」を推進するとともに、拠点に集まる都市部企業等の人材と地域事業者及び住民が交流できる場を創出することで、様々な化学反応を起こし、共創による地域活性化を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ■前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを拠点に都市部人材等と地域との交流イベント、ツアー事業等の開催により関係人口の創出・拡大を図った。 ■前尾記念クロスワークセンターMIYAZU内に動画スタジオ機能、研修機能を設置し、地域事業者や産品など、地域の魅力発信力の強化を図った。 ■京都府立大学との連携に向けた大学生等の滞在拠点づくりを図った。 [第7次宮津市総合計画 K P I]				
期待される効果等	関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人 ・ワーケーション等拠点数・利用企業数 R元 一箇所 → R7 5箇所10社			課題・検証		前尾記念クロスワークセンターMIYAZUに入居する事業者と市内事業者や地域住民等との交流を深めることで「共創」によるまちづくりを進めるとともに、地域の活性化を図る。				
担当部署					企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係	TEL	0772-45-1609	1		



(単位:円)

事業名	移住・定住推進事業 ～地域とともに取り組む移住・定住人口の増加～			充実	総計重点 プロジェクト	若者が住みたいまちづく りプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けた いまちづくり		
					施策分野	移住・定住促進				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
12,920 千円	10,095 千円	28,247 千円	31,600,000	20,157,374	5,742,592	5,562,000			8,852,782	40,952 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	H23.9:みやづUIターンサポートセンターを設置 H27.4:京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置 H29.8:宮津市空家空地対策協議会を設置 ※移住促進特別区域の指定 (H29)養老・上宮津・世屋地区、(R2)府中地区 R4.4:京都府の新移住条例により、移住促進特別区域の指定が市街地に拡大			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■UIターンサポートセンターの運営等 6,563,549円 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家等情報バンクシステムの運営 ・UIターン希望者へ情報提供、相談 ・移住、交流イベントへの出席 ・住まいの将来講座、空家活用お試し住宅ワークショップの開催 ・空き家等登録数 住宅23件 店舗1件 ・空き家等契約成立数 住宅10件・店舗0件 定住実績17世帯23人 ■定住支援空き家等改修補助等 12,924,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・市内への移住を目的に空き家等を購入又は賃借した者に対し、空家等の改修費を補助 移住特区:5件 移住特区外:2件 多子世帯:0件 ・家財撤去費への補助 移住特区:2件 移住特区外:1件 ・地域が取り組むお試し住宅整備への支援 1件(上宮津) ■総合的な空家空地対策の推進 301,506円 <ul style="list-style-type: none"> ・空家空地対策協議会の運営、空家所有者へ空き家バンク登録勧奨、管理不全状態の空家等の所有者等への情報提供等、空家総量調査、空家等管理不全状態判定調査を実施 ■京都府北部地域連携都市圏事業負担金 368,319円 北部7市町が連携し、情報発信・地域人材間の連携等を実施 					
	目的・目標	移住希望者の受入体制を強化するとともに、新たな京都府の移住に関する条例が施行されるに伴い市内全域の移住特別促進区域の指定を目指し、地域と一体となった移住・定住支援を推進する。 また、第2期空家空地対策計画(案)に掲げる「地域とともに空家空地を活かす」を基本方針に、地域や関係機関が連携し、総合的な空家等対策を推進する。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4地区(吉津・宮津・栗田・日ヶ谷)が新たに京都府移住促進特別区域の指定を受け(合計8地区)、地域主体の移住受入の取組みの推進につながった。 ・宮津地区が移住者受入・活躍応援計画の認定を受け、前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを核に、移住者や地域住民、若者等が集い、新しいコミュニティが生まれるまちづくりの推進につながった。 				
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部への情報発信強化による定住世帯の確保 ・地域(自治会、地域会議)等との連携による空家等の掘り起こしと確保 ・京都府指定の移住促進特別区域における地域主体の移住受入取組 			課題・検証	<p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■転出超過数の減少 R4目標:△36人/年 ⇒ R4実績:△43人/年 ■空き家バンク新規登録件数 R4目標:30件/年 ⇒ R4実績:14件/年 ■空き家バンク登録物件活用件数(契約成立件数) R4目標:20件/年 ⇒ R4実績:10件/年 					
	<p>【総合計画テーマ別数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口R元15,202人→R7 15,450人 ・宮津に住みたい人の割合 R元 61% → R7 80% 				担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係	TEL	0772-45-1609	6	



(単位:円)

事業名	にっこりあを核とする子育ての輪づくり (地域子育て支援事業)			充実	総計重点 プロジェクト	若者が住みたいまちづく りプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けた いまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
15,321 千円	17,316 千円	18,113 千円	18,113,000	17,411,398	8,483,613	4,387,000		3,003,300	1,537,485	17,544 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> R2.4: 「にっこりあ」において乳児向け事業「赤ちゃん広場」の開始、ファミリー・サポート・センター事業の預かり場所に活用 R2.10～: 府子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金の採択を受け、子育て親子向けの講座等を開催、宮津市すくすく子育てLINE運用開始 R3.7～: 子育てをテーマにした意見交換会(ワークショップ)の開催(内閣府「少子化対策地域評価ツール」を活用した少子化対策検討の実証) 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て親子の輪づくり事業 479,227円 ○「親子で楽しむ遊びと学びラボ」の開催 60,000円 子育て支援団体等の活動に補助金交付 30,000円×2団体 乳幼児親子の交流事業(工作、味噌作り等)参加延べ21組、親子陶芸教室 参加8組 ○SNS等を活用した情報発信 350,000円 ・「宮津市すくすく子育て」LINEの運用(宮津メディアセンター委託)配信113件 ・パパママライターによる情報発信 配信5件、「にっこりあ」facebookの運用 ○企業や事業所ぐるみでの子育て応援の推進 50,000円 ・子育て応援事業所の認定 4事業所 ・子育て応援環境整備事業費補助金 1事業所 補助金交付50,000円 ○男性の家事・育児参加促進に向けた講座の開催 19,227円 幼児・小学生の父子を対象として、パン作り、工作をテーマに2講座・計4回開催 延べ参加34組 ■子育て支援センター「にっこりあ」の運営 16,577,000円 ■子ども食堂運営支援 150,000円 「みやづ子ども食堂を支える会」に補助金交付 ■ファミリー・サポート・センターの運営、年長児交流事業 205,171円 ■「みやづすくすく応援ガイド」のリニューアル(市負担なし) 					
目的・目標	<p>子どもを育てることに楽しさを感じられる環境づくりや地域ぐるみでの子育て支援をより積極的に推進するため、子育て支援センター「にっこりあ」を中心として、保護者同士の交流を促進し、地域の子育て支援の核となる人材の育成につなげる。</p> <p>子育てに関する情報を多様な方法で、きめ細かく発信するとともに、民間企業や事業所における子育て支援の機運醸成を図る。</p>			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の方を講師に、親子や子育て家庭同士が学び、交流する機会を提供した。 ・SNSを活用して、定期的に子育てに関する情報を配信した。 ・男性の育児参加のきっかけとして、親子で気軽に参加できる講座を開催した。 ・子ども食堂の活動を通じて、経済的に困難な家庭の子どもと保護者を支援した。 <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子育てサークル・子育て支援団体等の登録団体数 R4目標: 5件 ⇒ R4実績: 10件 					
期待される効果等	<p>みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみでの子育て支援の推進 ・地域の子育て支援の核となる人材の育成 ・企業や事業所による子育て支援の機運醸成 ・男性の家事や育児参加促進による子育てと仕事の両立支援 <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサークル・子育て支援団体等の登録団体数 R元: 0件→R7: 5件 			課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・各催しや制度等の情報を対象者に分かりやすく、タイムリーに広報することで、参加者や利用者の増加を図る。 					
担当部署				健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	0772-45-1621			7	




(単位:円)

事業名	教育・保育サービスの向上に向けて (子ども・子育て支援推進事業、民間保育園運営事業、 認定こども園運営事業、のびのび放課後児童クラブ事業)			充実	総計重点 プロジェクト	若者が住みたいまちづく りプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けた いまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	8,749 千円	20,881 千円	22,128,220		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	15,125 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H30.4：保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領の改定施行 ・R元.4：保幼小接続の取組（府研究委託「未来を拓く学校づくり推進事業」(R元～R3)） ・R3.4：福祉・教育総合プラザ内に保育コーディネーターを配置 ・R3.11：国が「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として保育士、放課後児童支援員等への処遇改善を決定 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■保育・教育の質向上のための研修実施 851,880円 「子ども主体の保育・教育に向けて」をテーマに、就学前施設職員・小中学校教員等対象の講演会を2回、保育園・子ども園の施設訪問研修を3園で2回ずつ実施した。 ■就学前施設の保育サービス拡充・適正化研究会の開催 89,989円 大学教授(アドバイザー)と全就学前施設長により、保育・教育施設の現状と課題、就学前児童数の推移等を踏まえて、保育サービスの拡充内容を検討した。(計4回) ■公立保育所のデジタル化推進 208,780円 ipad(タブレット型端末)及び付属機器の購入 日置・養老保育所 各1セット ■保育士等の処遇改善 8,929,809円 国基準に基づく保育士等の処遇改善を行った運営法人に対して補助金を交付した。 ・補助金：R4.4月～9月の賃上げに要する経費に相当する額 民間保育園(3園)4,265,109円、認定こども園(2園)3,397,500円 放課後児童クラブ(R3年度は3カ所、R4年度は4カ所)1,267,200円 ■障害加配保育士(重度)の市配置基準の拡充 2,091,000円 園児3名分 4,182,000円×1/2(園児2人：保育士1人⇒拡充 園児1人：保育士1人) ■保育コーディネーターの配置(保育士1名) 8,983,446円 各就学前施設の課題対応、関係部署との連携による児童の発達相談等を行った。 					
目的 目標	<p>新しい保育指針等に即して市全体の保育・教育の質を向上するとともに、特色ある保育の実現に向け、保育サービスの拡充や適正化等について調査研究を行う。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対応の最前線で働く方の処遇改善のため、国基準に基づき保育士、放課後児童支援員等の収入の引き上げを行う。</p>				成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前施設及び小中学校の教職員が、共通した保育・教育の質向上の意義と取組を学んだほか、施設訪問研修を受けた3園において保育環境の改善を図った。 ・保育サービスの拡充等について研究協議し、次年度の新施策の実施につなげるとともに、就学前施設の利用に係る満足度調査を実施した。(全体満足度95%) ・国基準に基づき、民間施設の保育士等の処遇改善(賃金引上げ)を実施した。 <p>【第7次宮津市総合計画 K P I】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通～満足度が高いと回答した割合) H30：就学前69.1% → R5目標：74.0% 小学生61.2% 66.0% 				
期待される効果等	<p>みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の学校教育・保育サービスの充実 <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通～満足度が高いと回答した割合) H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2% 66.0% 			課題 検証		<ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育の質向上についての教職員の学びを継続し、取組を実践していく。 ・公立保育所のデジタル化を推進し、職員の業務効率化と負担軽減につなげる。 ・国基準に基づき、保育士等の処遇と配置基準の改善を進める。 				
					担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係 教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係	TEL	0772-45-1621 0772-45-1641	11	



(単位:円)

事業名	子育てにやさしいまちづくりモデル事業 ～若者が住みたい、選ばれるまちづくりに向けて～ (地域子育て支援事業、男女共同参画推進事業、関係人口創出・拡大事業、美食のまちづくり推進事業、移住・定住推進事業、税務事務事業、子ども子育て支援推進事業)			新規	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり								
	R2決算	R3決算	R4当初予算		R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳				R5予算					
— 千円		— 千円		— 千円		14,800,000		9,283,024		国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	6,500 千円	
										6,062,000		1,800,000		1,421,024		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容											
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に創設された「京都府子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金」の採択を受け、にっこりあを核とした子育ての輪づくり事業(子育てすくすくLINEの開設等)や子育てしやすい環境づくり事業(ワークライフバランス講演会)などをスタートするとともに、保幼小中高の連携や幼稚園給食の開始準備などを推進。 『第7次宮津市総合計画』に掲げる将来像「共に創るみんなが活躍する豊かなまち“みやづ”」の実現に向け、「若者が住みたいまちづくりプロジェクト」を重点的に展開中。 令和5年度予算に向け、「選ばれるまちづくりのための総合的な対策」を検討中。 				事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■「若者が住みたい、選ばれるまちづくり」に向けた「子育てにやさしいまちづくりモデル事業」の実施 9,283,024円 <ul style="list-style-type: none"> ○子育て応援！パパママのゆとり時間応援事業の試行 2,130,539円 <ul style="list-style-type: none"> ・「にっこりあ」での託児サービスの運営(委託料、備品購入費) ・「」 公式ホームページの制作及び運営 ・「」 施設入ロゲートの新設、ガラス飛散防止フィルム貼付 <ul style="list-style-type: none"> ※託児サービスの利用者数(11月～3月)延べ30人 ○女性のライフデザイン応援講座の開催 999,460円 <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 5回 ・参加者 延べ32人 ○高等教育機関等との連携強化に向けた準備 5,929,775円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府立大学との連携に向けた準備(MIYAZUKI加キャンパスプロジェクト) ・大学生等の滞在拠点づくりに向けたみやづ城東タウンC棟の改修、整備 ・大和学園による宮津市内での学生レストラン等の展開を実施 ○「若者定住に向けた総合的な対策」の検討に向けた調査等 223,250円 <ul style="list-style-type: none"> ・若者・子育て世代に居住地として選んでもらうために必要となる住環境等の現状や条件等の調査及び有識者等による協議を実施 										
目的・目標	子育て世代や若い世代を地域全体で応援し、安心して住み続けられる「子育てにやさしいまち」の実現に向けた試行的な取組みを進め、今後の総合的な対策づくりに活用することで、「若者が住みたい、選ばれるまちづくり」を目指す。				成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「にっこりあ」で託児サービスを実施することで、子育て世帯の負担を軽減し、ゆとり時間の創出につながった。 ・応援講座の参加者において参加者ネットワークを形成し、今後のコラボ活動や女性の連携につながる土台を築くことができた。 ・京都府立大学との連携強化により、本市への新たな人の流れの創出や地域の課題の解決に向けた取組を推進した。 										
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口拠点施設と子育て支援施設との連携による子育て環境の充実 ・若者・子育て世代に居住地として選ばれる施策の実施 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・市の子育て環境や支援に対する満足度 <ul style="list-style-type: none"> H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2% → 66.0% ・住み続けたい人の割合 R1 61% → R7 80% ・30歳代女性の労働力率 H27 77% → R7 80% 				課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方に「にっこりあ」での託児を利用していただくため、ニーズに応じた受入れ曜日・時間、人数等の体制を整える。 										
					担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係 市民環境部 市民環境課 人権啓発係 健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係 産業経済部 商工観光課 商工係		TEL	0772-45-1609 0772-22-4622 0772-45-1612 0772-45-1621 0772-45-1663		14					

(単位:円)

事業名	出産・子育て応援事業			新規	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	9,500,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	7,800 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.10.28 国において「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定 ・R4.12.2 出産・子育て応援交付金を含む国補正予算が可決 			事業実績	<p>■出産・子育て応援事業 7,877,211円 妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、経済的支援と伴走型相談支援を一体として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済的支援 妊婦等に対する経済的支援として、給付金を給付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・出産応援給付金：83人×50,000円(4,150,000円) ・子育て応援給付金：49人×50,000円(2,450,000円) ●伴走型相談支援 出産・育児等の見通しを立てるための面談を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出後の面談：8人 ・出生届出後の面談：3人 					
目的・目標	妊婦や子育て家庭(特に低年齢期(0歳~2歳))に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対する経済的支援を一体として実施することで、安心して出産・子育てができる環境を充実するもの。			成果	出産や子育てに対する経済的な不安の解消及び面談による出産や子育ての見通しを立てることにより、安心して出産・子育てができる環境の充実を図ることができた。					
期待される効果等	出生・子育て環境の充実			課題・検証	経済的支援：事業の実効性を高めるため、現金給付から出産・子育て応援ギフトへの移行					
				担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係		TEL	0772-45-1624		15



(単位:円)

事業名	宮津の新たな学び創造事業 ～明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成～			継続	総計重点 プロジェクト	若者が住みたいまちづく りプロジェクト	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを 深めるまちづくり			
					施策分野	学校教育					
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
— 千円		23,051 千円	6,625 千円		7,028,000	5,863,817	国庫支出金	府支出金	市 債		その他
						3,331,232	372,520		2,035,755	124,310	6,433 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.4: 小中一貫教育の全面実施、コミュニティ・スクールの本格導入 ・R3.3: 宮津市教育大綱・教育振興基本計画(R3～R7)策定 宮津市学力向上プラン(R3～R7)策定 宮津市立小中学校において1人1台ICT端末環境整備が完了 ・R3.9: AIドリル、プログラミング教材等の導入 ・R4.2: 家庭学習用通信機器(貸出用モバイルルーター)整備 			事業実績	<p>小中一貫教育の推進やコミュニティ・スクールの取組に加え、ICTを積極的に活用し、保幼小中高連携や学力向上対策を推進した。</p> <p>■「非認知能力の育成」や「夢・志・豊かな感性を持った人づくり」につなげる「保幼小中高連携」の推進 372,520円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう力をはぐくむICT利活用の実践的研究 吉津小: 府教委「学びの深化プロジェクト」(R3～R4)の研究指定 ・課題解決型学習の実践的研究 府中小: 府教委「絆の作り手育成プログラム」(R3～R5)の研究指定 <p>■質の高い学力の充実・向上につなげる「学力向上対策」の推進 5,491,297円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本漢字能力検定」の活用(小4・小6での全員受検に係る検定料全額補助) ・「英語検定」の活用(中1・中3での全員受検に係る検定料全額補助) ・ICT環境構築(タブレット端末保守、インターネット回線使用料) ・算数学び定着サポーターの配置(AIドリル活用時を中心とした個別支援等) ・家庭学習用モバイルルーターの貸出、プログラミングソフト購入ほか 						
目的・目標	「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、「質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実」「夢や志、豊かな感性を持った人づくり」「地域と一体となった学校づくり」を推進する。			成果	<p>小中一貫教育を踏まえ、系統性を重視し、認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ教育課程を実施するとともに、ICTを活用した学習意欲の喚起や個別最適な学びと協動的な学びを推進した。</p> <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <p>■全国学力・学習状況調査における教科に関する調査(算数・数学)の平均正答率 R4目標: 全国平均・京都府平均以上⇒R4実績: 小6…59.0(全国63.2、京都府65.0) 中3…51.0(全国51.4、京都府52.0)</p>						
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・10年間を見通した連続性・一貫性がある教育課程の展開と保幼小中高の連携強化 ・質の高い学力の充実・向上(基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現) <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査における教科に関する調査(算数・数学)の平均正答率 R元: 小6 62.0、中3 62.0 →R7: 全国平均・京都府平均以上 			課題・検証	<p>府教委の研究指定を受けた学校の取組成果を学校間で共有し横展開を図るとともに、ICTを活用した新たな学びの構築や活用について、引き続き研究実践に取り組み、児童生徒の学力向上につなげる。</p>						
				担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係	TEL	0772-45-1641	16			

(単位:円)

事業名	農山漁村コミュニティ活性化事業			充実	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり			
					施策分野	農林水産業振興					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
4,358 千円	3,779 千円	2,676 千円	2,676,000	1,683,029		874,897			808,132	2,705 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背 景 経 緯	<p>就農者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの地域課題に直面</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の話し合いに基づく地域農業の将来指針「人・農地プラン」の策定を開始 (H29には農地利用最適化推進委員が配置され、プラン策定を推進) R3から集落支援員を配置し、「人・農地プラン」の策定を後押し 			事業実績	<p>■地域の課題解決に向けた集落支援員の配置 1,533,084円 地域(集落)の課題解決に向けて、人・農地プラン(京力農場プラン)の策定等を推進するため、集落支援員1名を配置した。 [新規策定] 9プラン(中村、小寺、中津、滝馬、山中、中ノ茶屋・辛皮・岩戸・平石・関ヶ淵・竹の本、喜多・今福、府中東部、日ヶ谷) [更新] 1プラン(矢原・脇の浜) 〈参考〉市全体のプラン策定状況(R5.3月末) 27地域(59集落/75集落) 78.7%</p> <p>■新たな担い手受入体制構築支援 149,945円 農山漁村の新たな担い手の確保に向け、市内3地区の集落紹介パンフレット作成等の新たな担い手の受入体制構築を支援した。 [実施地区] 畑、日ヶ谷、矢原・脇の浜 [補助金額] 149,945円</p> <p>■半農半Xインターンシップの実施 (1,495,862円※)【再掲】 新たな担い手受入体制構築に取り組む地域で農業体験・地域交流プログラム「宮津・農旅インターンシップ」を実施した。 [実施地区] 畑、日ヶ谷、矢原・脇の浜 [実施期間] 計18日 [参加人数] 6人 ※「持続可能な観光地域づくり事業」(商工観光課)の一環で実施</p>						
	目 的 目 標	<p>農山漁村が抱える課題を解決するため、地域農業を支える担い手等への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消を目指す「人・農地プラン」の策定・実施を進める。</p>			成 果	<p>地域での農業体験の受け入れや集落紹介パンフレット作成により、新たな担い手の受入体制構築が図られた。また、事業実施にあたり地域における話し合い活動等を通じて、地域コミュニティの交流や活性化が図れた。</p> <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <p>■耕作放棄地の面積 R4目標: 426ha⇒R4実績: 463ha ■新規就業者数(農業・漁業) R4目標: 3人/年⇒R4実績: 3人/年</p>					
期 待 される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地の集積・集約化 遊休農地の発生防止・解消 農村集落の活性化 <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の面積 R元: 426ha → R7: 426ha 新規就業者数(農業・漁業) R元: 2人/年 → R7: 3人/年 			課 題 検 証		<ul style="list-style-type: none"> 未策定地域における人・農地プラン策定及び取組の具体化と地域計画への移行 担い手確保に向けた支援を継続するとともに、半農半Xインターンシップ参加者と地域とのつながり維持に向けた取組が課題。 					
					担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係 農業委員会事務局	TEL	0772-45-1626 0772-45-1645	19		



(単位:円)

事業名	天橋立の「国内暫定リスト」入りを目指して (世界遺産登録推進事業) ～天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業の実施～			充実	総計重点 プロジェクト	宮津の宝を育むチャレン ジプロジェクト	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを 深めるまちづくり		
					施策分野	文化財保存・活用				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
1,152 千円	1,414 千円	2,914 千円	2,914,000	2,817,368		1,408,500		1,400,000	8,868	1,414 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	H19. 9 世界遺産暫定一覧表候補提案書を文化庁に提出 (京都府・1市2町) H19.12 天橋立を世界遺産にする会 設立 H26. 3 「宮津天橋立の文化的景観(府中・文珠)」が、 国重要文化的景観に選定 (※H27.1に文珠地区が追加選定) H28.10 「成相寺旧境内」が国史跡に指定 R4. 3 天橋立が国の名勝指定から100周年 R4.11 天橋立が国の特別名勝指定から70周年			事業実績	■天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業 933,368円 天橋立の保全活動の原点となった名勝及び特別名勝指定を振り返り、未来への継承を考える機会として、シンポジウムや講座の開催、記念グッズ作成を行った。 (1)天橋立名勝100年・特別名勝70年記念シンポジウムの開催 (2)ウォークイベント「特別名勝・天橋立を歩く」の開催 (3)歴史講座「映像でみる天橋立の歴史と魅力」の開催【全3回】 (4)天橋立世界遺産講座(録画上映)【全4回】 (5)記念グッズの作成 ■天橋立世界遺産登録に向けた機運醸成、普及啓発活動 1,884,000円 天橋立世界遺産登録推進のため、民間で構成される「天橋立を世界遺産にする会」に対し、補助金を交付するとともに、京都府や地元自治体、関係機関などと連携の上、その活動を支援した。 ・普及啓発事業 (1)天橋立国際オンラインカンファレンスの開催 (モン・サン・ミシェル関係者と連携) (2)天橋立の魅力・価値に係る市民講座の開催 (3)パネル展示「天橋立と世界遺産」の開催 (4)パネル展示「天橋立パネル展 ～名勝100年から次の100年へ～」の開催 ・情報発信・PR事業 (1)関連団体・イベントとの連携及びPR活動等 (2)メディア等を通じたPR活動、各種メディアによる取材 (3)普及啓発グッズの作成					
	目 的 ・ 目 標	令和4年、宮津市の象徴でもある天橋立が国の名勝指定を受けてから100周年(3月8日)、特別名勝指定から70周年(11月22日)を迎えるにあたり各種の周年記念事業を実施し、天橋立の持つ価値や魅力の再認識、保全意識の高揚、天橋立を愛する心の涵養を図り、天橋立世界遺産登録に向けての機運醸成につなげる。			成果	名勝指定100年の記念の年にあたり記念事業を展開することにより、天橋立の価値や保全についてメディアで大きく扱われ、地域における保全意識の向上、世界遺産登録に向けた機運醸成を図ることができた。 [第7次宮津市総合計画 KPI] ■R7年度までの国内暫定リスト入り ※国文化審議会にて、新たな国内暫定リストの追加の方法等について審議中				
期 待 される 効果等	①天橋立の新たな価値の発見や魅力の掘り下げ ②天橋立の価値の再評価と再認識 ③天橋立の魅力の広域的な情報発信 ④市民の天橋立に対する誇りと愛着心の涵養 ⑤天橋立を未来に伝える仕組みの構築 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・世界遺産暫定リスト入り R元：— → R7：リスト入り			課 題 ・ 検 証	・世界に通じる天橋立の「顕著な普遍的価値」(OUV)の精査 ・天橋立とその価値の保全のための仕組みの構築 ・国内外での知名度向上と登録に向けた機運の更なる醸成					
				担当部署	教育委員会 社会教育課 社会教育係		TEL	0772-45-1642		22



(単位:円)

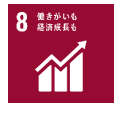
事業名	地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向けて(持続可能な観光地域づくり事業、副業・兼業プロ人材活用事業)			充実	総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり		
					施策分野	観光振興				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財源内訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
— 千円	8,517 千円	9,743 千円	123,099,000	122,863,134	75,880,674	17,448,500		29,498,600	35,360	9,198 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	R3.5:「宮津市観光戦略」の策定に向けた地域観光経済循環分析事業の実施 R4.3:「宮津市観光戦略」の策定 R4.6:「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」採択 R4.7:「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」採択			事業実績	<p>■ 宿泊施設・観光施設の高付加価値化改修(事業者の直接実施のため市の予算計上なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修施設:28施設(宿泊施設:18施設、観光施設:10施設) 投資総額:1,082,041,482円(内、国庫補助:522,985,404円) <p>■ 観光誘客に向けた実証事業「つながる!宮津観光圏実証事業」 98,933,920円</p> <p>上記、民間事業者が実施する改修事業の効果を最大化するため、地域が一体となって観光誘客を図ることを目的とした実証事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津市が事業主体となって実施した事業 <ul style="list-style-type: none"> 1) 誘客推進強化「天橋立とサウナ」 参加者 2,310人(満足度:97.3%) 2) 滞在時間延長「宮津市ナイトウォーク」 参加者 1,758人(満足度:82.6%) 3) DX観光推進「宮津デジタルタイムカプセル」 参加者 308人(満足度:56.6%) 4) 市内周遊促進「4大温泉周遊パスポート発行」 参加者 1,085人(満足度:85.9%) 交通事業者が事業主体となって実施した事業(事業費の一部を支援) <ul style="list-style-type: none"> 5) 市内周遊促進実証事業「4エリアをつなぐ周遊交通(バス×船)」 <p>■ 体験型コンテンツの造成(金引の滝「滝行」×「テントサウナ」) 14,680,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間:令和5年10月22日～令和5年10月30日(1日あたり4回の実施) 事業費:9,180,000円(内、国庫補助:7,090,000円、販売額:2,090,000円) ※同時期に金引の滝周辺エリアを整備。その整備費用の一部(5,500,000円)を支援。 <p>■ 観光戦略推進人材の配置及び副業人材の活用 9,249,214円</p>					
	目的・目標	宮津市観光戦略に基づき、「満足度の向上」「観光消費額の拡大」に向けた観光地域づくりを進めるため、誘客力の強い観光コンテンツの造成を行うとともに、観光事業者と連携した観光地の高付加価値に向けた取り組みを行う。			成果	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設等の積極的な事業への参画により、各施設における高付加価値化改修を実現することができた。(市内宿泊施設の約2割の施設が本事業に参画) 満足度の高い新規コンテンツを造成することができた。 上記事業の実現にあたり、外部人材及び副業人材の知見を活かすことができた。 <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 観光交流人口 R4目標:335万人 ⇒ R4実績:232万人 ■ 観光宿泊客数 R4目標:70万人 ⇒ R4実績:46万人 ■ 外国人観光宿泊客数 R4目標:5.5万人 ⇒ R4実績:0.4万人 ■ 観光消費額 R4目標:112億円 ⇒ R4実績:84億円 				
期待される効果等	<p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光交流人口 R1:321万人⇒R7:350万人 外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人⇒R7:10.0万人 観光消費額 R1:109億円⇒R7:125億円 観光宿泊客数 R1:64.9万人⇒R7:80.0万人 			課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値化改修に参画する事業者の拡充。 施設の高付加価値化に伴う顧客満足度の向上と収益力の向上 造成した新規コンテンツの継続実施 					
					担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係 企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係	TEL	0772-45-1625 0772-45-1609	24	

(単位:円)

事業名	歴史文化を活かした観光誘客推進事業			継続	総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり			
					施策分野	観光振興、文化財保存・活用					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
— 千円		8,907 千円	7,700 千円		7,300,000	6,642,280	国庫支出金	府支出金	市 債		その他
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	H19.12:「天橋立を世界遺産にする会」設立 H29.4:丹後ちりめん構成文化財が日本遺産認定 H30.5:北前船構成文化財が日本遺産認定 R元.5:西国三十三所札所(成相寺)が日本遺産認定			事業実績	<p>■最先端技術を活用した歴史文化資源の発信 4,465,000円</p> 歴史文化を活かした観光まちづくりの実現に向け、文化財等の歴史文化資源を観光活用するため、歴史文化資源及び体験コンテンツを紹介する高画質映像及びVR映像等を制作した。 ○宮津市の歴史文化の魅力を紹介する高精細アーカイブ映像(1本) ・「宮津市燈籠流し花火大会」紹介動画 ○自然資源を活用した体験コンテンツへの誘導を図るVR映像(2本) ・「金引の滝」を活用した滝行体験動画 ・「天橋立」を活用したシーカヤック体験動画 ○文化資源の体験及び普及を図るVR映像(1本) ・「宮津踊り」の体験及び講習動画						
目的・目標	本市が有する豊富な歴史文化資源を活かした観光誘客を図るとともに、交流拠点の整備による文化交流を振興し、地域経済の活性化に資する観光まちづくりを進めるもの。			成果	・昨年度の課題であったVRゴーグルを活用できる動画及び体験コンテンツへの誘導を目的とした動画の充実を図ることができた。 ・旧三上家住宅については、コンテンツ開発により、重要文化財建造物の価値を活かした持続可能な保全と活用を図る上での示唆を得ることができた。						
期待される効果等	【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・観光交流人口 R1:321万人⇒R7:350万人 ・外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人⇒R7:10.0万人 ・旧三上家住宅観光客数 R1:3,963人⇒R7:6,000人			課題・検証	[第7次宮津市総合計画 KPI] ■観光交流人口 R4目標:335万人 ⇒ R4実績:232万人 ■外国人観光宿泊客数 R4目標:5.5万人 ⇒ R4実績:0.4万人 ■旧三上家住宅観光客数 R4目標:4,500人 ⇒ R4実績:2,373人						
					担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係 教育委員会 社会教育課 社会教育係	TEL	0772-45-1625 0772-45-1642	25		

(単位:円)

事業名	持続可能な観光地域づくり事業			充実	総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり		
					施策分野	観光振興				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
-		千円	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円
	29,200	30,850	142,106,000	141,339,380	79,208,285	17,448,500		34,498,600	10,183,995	34,718
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	(日本政府の取組) H28.5:SDGs推進本部設置(本部長 総理大臣)、SDGs実施指針策定(12月) H30.6:「持続可能な観光推進本部」を設置(観光庁) R2.6:「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」策定(観光庁) R3.5:「宮津市観光戦略」の策定に向けた地域観光経済循環分析事業の実施 R4.3:「宮津市観光戦略」の策定			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市観光戦略に基づくブランディング 5,624,520円 外部人材(JTB社員)を商工観光課 担当課長として配置し、観光戦略に基づく観光地の再生・観光サービスの高付加価値化を推進。 ■地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化 113,613,920円 ※詳細は事業等説明資料「24」に記載 ■持続可能な観光地域づくり事業 11,511,082円 ・日本「持続可能な観光」地域協議会への参画 ・観光地域プログラムの開発 ・半農半Xインターンシップ(農業体験プログラム) ・e-Bike購入(10台 天橋立観光協会に配備) ■天橋立周辺渋滞対策及び水上バイク対策 2,843,627円 交通事業者と連携した渋滞緩和策や天橋立海面利用安全対策協議会への支援を行った。 ・パーク&クルーズの実施:4/29~5/1、5/3~5、8/13~15、9/17~19、9/23~25、1/1~3 ・府中地区渋滞対策の実施:5/3~5、1/1~3 ・天橋立海面利用安全対策協議会:海面利用自主ルールの啓発、航行調査など ■天橋立アクティビティセンターへの地域おこし協力隊員の配置 7,746,231円 天橋立アクティビティセンターに2名の地域おこし協力隊員を配置。 					
目的・目標	観光戦略に基づき、「満足度の向上」「観光消費額の拡大」に向けた観光地域づくりを進めるとともに、広域自治体連携による持続可能な観光モデル市町村の形成を図り、世界から選ばれる観光地を目指す。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「股のぞき☆一龍万倍体験」をはじめとする新規体験コンテンツの造成 ・農業体験等により新たな担い手候補の呼び込みを達成(参加者6名) ・GW等の観光客が増加する期間における渋滞の緩和 ・水上オートバイによる迷惑行為の減少(継続) 					
期待される効果等	【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・観光交流人口 R1:321万人⇒R7:350万人 ・外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人⇒R7:10.0万人 ・観光消費額 R1:109億円⇒R7:125億円 ・観光宿泊客数 R1:64.9万人⇒R7:80.0万人			課題・検証	[第7次宮津市総合計画 KPI] ■観光交流人口 R4目標:335万人 ⇒ R4実績:232万人 ■外国人観光宿泊客数 R4目標:5.5万人 ⇒ R4実績:0.4万人 ■観光宿泊客数 R4目標:70万人 ⇒ R4実績:46万人 ■観光消費額 R4目標:112億円 ⇒ R4実績:84億円					
				担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係 産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	0772-45-1625 0772-45-1626	27		



(単位:円)

事業名	魅力ある商いづくり事業			充実	総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり		
					施策分野	商工業振興				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
6,274 千円	19,176 千円	22,606 千円	22,606,000	14,345,066	8,216,515	96,000		3,250,000	2,782,551	13,963 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> H25. 2: 学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結 R2. 12: 信金中央金庫創立70周年記念事業『地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」』の寄付対象事業として選定 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト事業 6,500,000円 <ul style="list-style-type: none"> ①チャレンジおうえん補助金 5件 5,000,000円 新たなものづくり等へのチャレンジを支援(補助率1/2 上限250万円) ②未来天橋塾の開催 全6回開催 1,500,000円 次代を担う若手経営者を支援するセミナー、ワークショップを実施 ■創業等支援事業補助金 6件 4,700,000円 創業、第二創業を行う者に対し、準備経費(施設等整備費、広告費等)を支援(補助率1/2 上限50万円(空き家等活用の場合150万円)) ■事業者成長支援補助金 18件 1,720,000円(繰越事業) コロナ禍対応として販路開拓やデジタル化などによる経営改革等の取組を支援(補助率1/2 上限15万円) ■新型コロナウイルス対応事業再構築補助金 2件 1,000,000円(繰越事業) コロナ禍において経営環境改善を図るための店舗拡充等の取組を支援(補助率1/2 上限額50万円(空き家等活用の場合150万円)) ■大和学園との連携事業(丹後地域特産品等開発アドバイザー事業) 3事業者 193,140円 大和学園から市内事業者へアドバイザーを派遣し、新メニュー開発等の指導を実施 ■その他 231,926円 北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金231,926円ほか事務費 					
目的・目標	新規起業や事業承継などの創業等の取組みや、市内事業者の新たな技術導入、事業継続等について、関係機関と連携を図りながら支援することで、地域経済の活性化を進める。			成果	創業等の新たなチャレンジを支援するとともに、コロナ禍における厳しい経営環境への対応に取り組む市内事業者の支援を行うことで、地域経済力・雇用の維持に努めた。 [第7次宮津市総合計画 KPI] ■創業・第二創業件数 R4目標: 10件 ⇒ R4実績: 18件 ■製造品出荷額等 R4目標: 97億円 ⇒ R3実績: 196.2億円 ※R3経済センサスから					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・創業、第二創業等の新たな取組みを行う事業者の推進による地域経済の活性化 ・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額の拡大 ・地元製品のブランド化、高付加価値化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・創業・第二創業件数 50件/5年 ・製造品出荷額等 R1: 95.5億円→R6: 100億円 ・小売業販売額 H28: 185.4億円→R8: 190億円 			課題・検証	引き続き新たな創業や第二創業、経営改善等を行う者の支援を行い、市内の地域経済活動の活性化を図る必要がある。					
				担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	0772-45-1663	28		



(単位:円)

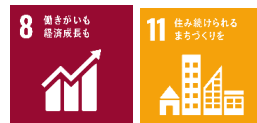
事業名	美食のまちづくり推進事業			新規	総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり		
					施策分野	観光振興 商工業振興 農林水産業振興				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	5,600,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	— 千円	5,600,000	5,600,000		4,100,000		1,500,000	0	4,500 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H25.2:学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結(連携事項:人材育成 観光振興 料理、土産物開発 食育の推進等) ・R 4.3:学校法人大和学園が前尾記念クロスワークセンターMIYAZUへの入居決定(市民、市内企業及びクロスワークセンター入居企業等との連携促進) ・H30.11:宮津漁師町観光商業施設(ととまーと)指定管理者制度による運営開始 ・R02.08:宮津まちなか地域振興拠点施設(道の駅)指定管理者制度による運営開始 ・R04.08:京都府「食の京都TABLE」整備支援事業実施計画の承認 対象施設:漁師町観光商業施設(ととまーと) ・R04.12:京都府「食の京都TABLE」整備支援事業実施計画の承認 対象施設:道の駅(海の京都宮津) 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■大和学園連携事業 4,000,000円 <ul style="list-style-type: none"> ○食を中心とした誘客推進事業 3,000,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・美食のまちづくり推進事業キックオフシンポジウムの開催 開催日:令和4年7月22日 参加者:76名 ・「京都調理師専門学校 学生レストランin宮津」の開催 開催日:令和4年9月1日~3日 参加者:74名 ほか看板メニュー開発等 ○宮津の食・食文化の普及啓発事業 1,000,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・市民等を対象とした料理教室の開催 開催日:令和5年1月25、26日(各午前午後) 参加者:延べ44名 ※その他、「魅力ある商いづくり事業」において、大和学園と連携した取組として「丹後地域特産品等開発アドバイザー事業」を実施。 ■食の魅力向上の取組支援 1,600,000円 京都府の「食の京都TABLE」整備支援事業費補助金の採択を受け、以下の取組を支援。 <ul style="list-style-type: none"> ○対象施設 道の駅「海の京都宮津」(ハマカゼプロジェクト株式会社) <ul style="list-style-type: none"> ・取組 食肉保存用平型冷凍ショーケースの導入等 ・補助金額 546,000円 ○対象施設 宮津天橋立漁師町ととまーと(宮津フードファクトリー合同会社) <ul style="list-style-type: none"> ・取組 スチームコンベクションオープンの導入等 ・補助金額 1,054,000円 					
	目的・目標	宮津市観光戦略に基づき、食(食材or料理)の質向上と高付加価値化による飲食率・宿泊率の向上を図り、食を目的に訪れる“美食のまちづくり”に向けた取組みを進めるとともに、食の魅力観光業のみならず農林水産業、製造業等の幅広い分野を支える大きな産業につなげていくもの。			成果	[観光戦略KPI] ■顧客満足度(大変満足) R3実績:33% ⇒ R4実績:39%				
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・一人あたり観光消費額の向上 ・地元農林水産物消費量の増 【第7次総合計画数値目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流人口 R1:321万人→R7:350万人 ・観光宿泊者数 R1:64.9万人→R7:80.0万人 ・外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人→R7:10.0万人 ・観光消費額 R1:109億円→R7:125億円 【観光戦略KPI】 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度(大変満足) R3:33%→R7:40% 			課題・検証		[第7次宮津市総合計画 KPI] ■観光交流人口 R4目標:335万人 ⇒ R4実績:232万人 ■外国人観光宿泊客数 R4目標:5.5万人 ⇒ R4実績:0.4万人 ■観光宿泊客数 R4目標:70万人 ⇒ R4実績:46万人 ■観光消費額 R4目標:112億円 ⇒ R4実績:84億円				
担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係・観光係 農林水産課 農林水産係				TEL	0772-45-1663・1625 0772-45-1626		29		

(単位:円)

事業名	農産物等流通促進事業			新規	総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり		
					施策分野	農林水産業振興				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	3,000 千円	3,000,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円
— 千円	— 千円	3,000 千円	3,000,000	2,980,000	2,980,000				0	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、都市部における農産物の需要が減少 令和3年度に地元農産物の域内流通に関する農業者アンケートを実施し、需給量のミスマッチ、出荷機会がない、配送手間等の労力面の課題を把握 ポストコロナを見据え、域内外の需要に対する農産物の流通体制の構築が必要 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■地元農産物の販売力強化 1,000,000円 宮津まごころ市を中心として、地元農産物の集荷や販売機会などの強化につながる取組を道の駅指定管理者への委託により実施した。 ○農産物集荷便の試行 ・10/17~29 車両による野菜等の集荷 ・12/5~17 車両及び丹後海陸交通(株)の観光船を使った野菜等の集荷を実施 ○野菜セットの販売 専用ダンボールの作成、ふるさと納税返礼品への登録 ○出張まごころ市 市内で開催されたイベントに軽トラ市として出店(浜町地区3回、文珠地区1回) ○宮津まごころ市の魅力向上 農産物の魅力発信動画及び宮津まごころ市のPR冊子の作成 ■地元農産物の域内流通促進に向けた調査 1,980,000円 地元農産物の域内での流通促進の仕組みを構築するため、地元農産物の流通実態や需要量、供給可能量等の調査を一般社団法人農業開発研修センターへの委託により実施した。 ○調査対象…需要施設 15箇所(宿泊施設、飲食店、福祉施設、学校給食)、生産者 11名、流通事業者 卸売5社にリアリング調査を実施 					
	目 的 目 標	<p>農業所得の向上のため、宮津まごころ市を中心とした地元農産物の販売力強化や市内の旅館・ホテル、飲食店等への供給など、地元農産物の集荷・供給の仕組みづくりを行い、ポストコロナを見据えた都市部等への販路拡大の基盤づくりを進める。</p>			成果	<p>地元農産物の販売力強化については、商品の充実や販売機会の増加、地元農産物及び直売所の魅力発信を図ることができた。 地元農産物の域内流通促進に向けた調査については、ヒアリング調査により地元農産物の流通実態を把握することができた。</p>				
期 待 さ れ る 効果等	<ul style="list-style-type: none"> 農業所得の向上 地産地消の推進 			課 題 検 証	<p>集荷便の本格実施や野菜セット販売、出張まごころ市の継続実施及びPR動画等の積極的活用により継続した販売力の強化が必要。 地元農産物の域内流通については、調査結果をもとに既存流通(市内卸売事業者)を活用し、生産者の組織化を図るなど、流通促進の仕組みづくりに取り組む。</p>					
					担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	0772-45-1626	30	

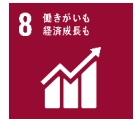
(単位:円)

事業名	島崎ウォーターフロントエリア等の再開発に向けて (財産管理事業)			充実	総計重点 プロジェクト	宮津の宝を育むチャレン ジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづく り			
					施策分野	海の活用					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算 ※前年度繰越含む	
— 千円		50 千円	6,000 千円		13,500,000	5,929,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> R02.9: 宮津市公共施設再編方針の策定 ⇒島崎エリアの民間活用による活性化計画のためのサウン ディング調査の実施 対象: みやづ歴史の館(建物活用を含む)及び宮津会 館、旧図書館、旧労働会館、旧ふれあい交流館 を含む市有地 条件: 上記の市有財産を活用した地域活性化施設(音楽 ホールを含む)の設置 R03.1~R03.11: サウンディング調査4回実施 延べ16社と 対話 R03.12: 議会全員協議会へ報告(サウンディング結果と今 後の対応) ⇒これまでのサウンディング調査で民間活用につ いて一定の可能性のあることを把握。 			事業実績	<p>■民間開発事業可能性調査業務 5,929,000円</p> <p>島崎ウォーターフロントエリアの民間資本導入による再開発に向けて、民間事業者の投資意欲や具体的な事業提案、課題・条件等を把握し、事業化(公募)に向けた構想計画の立案を進めるため、ヒアリング調査等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヒアリング先企業 63社(ホテル、飲食、不動産等のデベロッパー等) うち関心表明企業 9社 ⇒そのうち現地視察 4社(延べ5回) ○調査結果の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・今回調査した島崎エリアでは、奥まった立地や賑わい不足などから具体的な事業提案には至らなかった。 ・一方、周辺の道の駅や島崎公園を含む浜町エリアでは、天橋立へアクセスする国道に面し、通行量も多いことから、活用意向を示す事業者が複数あった。 <p>※令和5年3月 議会全員協議会で同調査結果等を報告</p>						
目 的 目 標	日本三景天橋立を臨む眺望に優れ、アクセスも良い「島崎ウォーターフロントエリア」をはじめとする市有財産について、民間資本導入による再開発を進め、地域経済の活性化を図る。			成果	○民間資本導入の可能性 ヒアリング調査結果から、「従来の民間資金等の活用を検討するエリアを、立地条件の良い道の駅を中心に島崎公園を含むエリアまで拡大することで、広範囲のエリアで一体的な事業検討が可能となり、投資先としての魅力度の向上が期待できる。」との評価を得られた。						
期 待 さ れ る 効 果 等	民間資本導入による当該エリアと地域経済の活性化			課 題 検 証	調査エリアを拡大した上で、再度、幅広くアプローチし、ヒアリング調査等を行うとともに、事業化(公募)に向けた構想計画の立案を進める必要がある。 ※内閣府の民間資金等活用事業調査費補助金(全額国費)の採択を受け、同調査費として令和4年度3月補正予算(繰越明許費)7,500千円を計上。						
					担当部署	企画財政部 財政課 資産活用係	TEL	0772-45-1611	31		




(単位:円)

事業名	宮津湾にぎわいづくり促進事業			充実	総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり			
					施策分野	海の活用					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
329 千円	14,603 千円	8,600 千円	8,833,000	8,832,350	276,000		7,600,000	500,000	456,350	5,600 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ H19.4 京都府から田井宮津ヨットハーバーの無償譲渡を受ける 田井自治会に無償貸付(運営:田井宮津ヨットハーバー管理運営組合) ・ H20.3 「海の駅」登録 ・ H22.9 「みなとオアシスたいみやづ」登録 ・ R2.9~ 「田井臨海エリア賑わいづくりWG」を開催。施設等の在り方を検討 ・ R3.7 新たな運営事業者を株式会社にしがきに決定 ・ R3.10~株式会社にしがきによる田井宮津ヨットハーバーの運営スタート ・ R3.11.30 第1回 田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会を開催 ・ R4.2.16 第2回 田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会を開催 			事業実績	<p>■田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会への支援 1,000,000円</p> <p>「住民や観光客、家族や若者、誰もが気軽に訪れるにぎわい創出エリア」となるよう、官民連携プラットフォーム「田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会」において、にぎわいづくりイベント「宮津田井海まちフェスタ」を年2回開催したほか、エリアのにぎわい創出を共創するための具体化に向けた企画・実施等について検討・意見交換等を行った。</p> <p>【実行委員会】2回(6/27、11/8) 【企画委員会】4回(8/26、9/15、10/13、12/19)</p> <p>【宮津田井海まちフェスタ】</p> <p>[開催日]第1回:4/23 第2回:12/10</p> <p>[会 場]田井宮津ヨットハーバー・京都府立青少年海洋センター マリーンピア</p> <p>[来場者数]第1回:約1,000名 第2回:約600名</p> <p>[主な内容]レンタルボート・セーリング体験、モーターボートクルーズ、コンサート、キッチンカー、フィールドアスレチックコース・ボルダリング場等無料開放、地元海産物を使用したスープ等の振る舞い など</p> <p>■「田井宮津ヨットハーバー」の環境整備 7,632,350円</p> <p>令和3年10月から財産(施設一式)を有償貸付している中、老朽化が著しく、機能復旧が必要な桟橋設備に係る復旧工事を実施し、施設保有者(賃貸者)として工事費用を負担した。</p> <p>・改修内容:浮き桟橋架替、フロート・アンカーブロック制作・据付、緩衝材取替</p> <p>■B&G艇庫の管理 200,000円</p>						
	目的・目標	「田井臨海エリア」の海を活用した新たな賑わい創出に向け、地元地域や民間事業者と連携した魅力づくりを推進する。			成果	<p>にぎわいづくりイベント「宮津田井海まちフェスタ」を開催し、市内外への地域のPRや地域活性化に寄与するとともに、関係者の連携に向けた基盤を整え、今後のにぎわいづくりに繋げた。</p> <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <p>■栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R4目標:47.8万人 ⇒ R4実績:27.8万人</p>					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなにぎわいの創出による地域の活性化 ・ 「スポーツ×観光」のまちづくり ・ 観光入込客数の増加 <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <p>○栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R1:46.2万人 ⇒ R7:50.8万人</p>			課題・検証		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業者の「本来事業」への誘導や認知度向上、連携創出が必須。 ・ 整備した基盤を活かし、エリアの魅力づくり、「行く目的」を作るためのコンテンツづくりなど、にぎわいづくり策の具体化。 					
					担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係	TEL	0772-45-1718	32		



(単位:円)

事業名	子ども及び妊婦に対するインフルエンザワクチン接種の臨時的支援 (予防接種事業)			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり		
					施策分野	健康・医療				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	2,900,000	777,500	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円
					777,500				0	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> R2~3年度 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底等により、季節性インフルエンザの感染者が例年に比べて大幅に減少 R4夏頃 南半球において、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行が確認される R4.9月 厚生労働省の新型コロナウイルス対策に係る専門家組織において、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されるとの見解が示される 			事業実績	<p>■子ども及び妊婦のインフルエンザ予防接種費用に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対 象 者 高校生以下及び妊婦の宮津市民 約2,000人 ※12歳以下は2回接種 ○助成内容 インフルエンザ予防接種1回あたりの費用に対して上限1,500円助成 ○事業期間 令和4年10月17日から令和4年12月31日 ○接種者実人数 高校生以下:344人、妊婦:3人 ○助 成 額 777,500円(521回分) ・1,500円×513回 ・1,000円×8回 					
	目的・目標	<p>新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行が懸念される中、感染による重症化リスクの高い子ども及び妊婦に対して予防接種に係る支援を臨時的に実施し、感染防止を図るとともに、学級閉鎖や受験などの教育に及ぼす影響を最小限に抑えるもの。</p>			成果	<p>インフルエンザの感染拡大防止へつながった。また、子育て世代への負担を回避することができた。</p>				
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ感染拡大防止 健全な医療体制の確保 小中学校教育の維持 子育て世代への負担回避 			課題・検証	<p>全国的に当初見込まれていたほどの大流行は起きず、当初設計に対する利用者数は少なかった。</p>					
				担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係	TEL	0772-45-1624		35	

(単位:円)

事業名	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業 (住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業、 子育て世帯生活支援特別給付金事業)			継続	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	—			
					施策分野	—					
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
— 千円	262,766 千円	26,700 千円	56,100,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円	
					54,099,883	54,099,883			0		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.3.4 : 国が「原油価格高騰に対する緊急対策」を取りまとめ ・R4.4.26 : 国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金の給付 ●ひとり親世帯生活支援特別給付金 12,843,027円 <ul style="list-style-type: none"> ○給付額 11,850,000円 (児童扶養手当受給世帯等で高校生までの児童1人あたり5万円×237人) ○事務費 993,027円(会計年度任用職員報酬、郵送料、事務用品他) 【給付概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当受給世帯 130世帯・児童223人 ・公的年金受給世帯 1世帯・児童 2人 ・家計急変世帯 6世帯・児童 12人 ●ふたり親世帯生活支援特別給付金 7,216,856円 <ul style="list-style-type: none"> ○給付金6,850,000円(住民税非課税世帯等で高校生までの児童1人あたり5万円×137人) ○事務額 366,856円(会計年度任用職員報酬、郵送料、事務用品他) 【給付概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・住民税均等割非課税世帯 79世帯・児童135人 ・家計急変世帯 1世帯・児童 2人 ■住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付 34,040,000円(R3年度からの繰越含む) <ul style="list-style-type: none"> ○給付額 32,800,000円(住民税非課税世帯等328世帯×10万円) ○事務額 1,240,000円(会計年度任用職員報酬、郵送料、事務用品他) 【給付概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・住民税均等割非課税世帯 322世帯(令和3年度給付実績 2,393世帯) ・家計急変世帯 6世帯(令和3年度給付実績 4世帯) 						
	目 的 目 標	コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰等に直面する生活困窮者等への支援として、真に生活に困っている方への支援措置を強化するため、低所得の子育て世帯や住民税非課税世帯等に対して特別給付金を支給する。			成果	低所得の子育て世帯や住民税非課税世帯等に特別給付金を支給することで、各家庭の経済的負担を軽減した。					
期 待 さ れる 効 果 等	家計への支援を行うことにより、コロナ禍において物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯や住民税非課税世帯等の経済的負担を軽減する。			課 題 検 証							
				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係/生活支援係	TEL	0772-45-1621 45-1623	37・48			



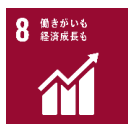
(単位:円)

事業名	プレミアム商品券の発行支援 (地域内消費拡大事業)			充実	総計重点 プロジェクト	—		テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり																																																								
					施策分野	商工業振興																																																											
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算																																																							
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																								
2,850 千円	65,593 千円	70,000 千円	70,000,000	64,685,000	64,685,000				0	— 千円																																																							
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																																													
背景・経緯	新型コロナウイルス感染症の影響により幅広い業種において売上が減少するとともに、市民生活に大きな影響が生じている。			事業実績	■プレミアム付き商品券の発行支援 64,685,000円 ○プレミアム付き商品券の概要																																																												
					<table border="1"> <tr> <td>発行内容</td> <td colspan="6">商品券13,000円分を10,000円で販売(プレミアム率30%) 発行総額2億6,000万円(2万セット)</td> </tr> <tr> <td>商品券の内容</td> <td colspan="6">2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ・個店限定券(5,000円):店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用 ・全店共通券(8,000円):全ての店舗で使用</td> </tr> <tr> <td>購入制限等</td> <td colspan="6">一人あたり5セット(5万円)まで購入可能 ※市民に限り同居家族及び同居以外の市民1人分の代理購入可能</td> </tr> <tr> <td>販売方法</td> <td colspan="6">特設会場販売:6月4日(土)、6月5日(日)宮津市民体育館、日置小学校体育館 市内販売:6月6日(月)市内12箇所(宮津商工会議所ほか)</td> </tr> <tr> <td>有効期間</td> <td colspan="6">令和4年6月4日(土)~9月5日(月)</td> </tr> <tr> <td>取扱店舗</td> <td colspan="6">本事業の趣旨に賛同した288事業所(市内330店舗)</td> </tr> <tr> <td>回収額</td> <td colspan="6">259,685千円(回収率:99.88%)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="6">お楽しみ抽選会の実施(地元産品など54品) 商品券利用者に対する店舗独自の特典、サービスの実施(77事業所)</td> </tr> </table>							発行内容	商品券13,000円分を10,000円で販売(プレミアム率30%) 発行総額2億6,000万円(2万セット)						商品券の内容	2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ・個店限定券(5,000円):店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用 ・全店共通券(8,000円):全ての店舗で使用						購入制限等	一人あたり5セット(5万円)まで購入可能 ※市民に限り同居家族及び同居以外の市民1人分の代理購入可能						販売方法	特設会場販売:6月4日(土)、6月5日(日)宮津市民体育館、日置小学校体育館 市内販売:6月6日(月)市内12箇所(宮津商工会議所ほか)						有効期間	令和4年6月4日(土)~9月5日(月)						取扱店舗	本事業の趣旨に賛同した288事業所(市内330店舗)						回収額	259,685千円(回収率:99.88%)						その他	お楽しみ抽選会の実施(地元産品など54品) 商品券利用者に対する店舗独自の特典、サービスの実施(77事業所)			
発行内容	商品券13,000円分を10,000円で販売(プレミアム率30%) 発行総額2億6,000万円(2万セット)																																																																
商品券の内容	2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ・個店限定券(5,000円):店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用 ・全店共通券(8,000円):全ての店舗で使用																																																																
購入制限等	一人あたり5セット(5万円)まで購入可能 ※市民に限り同居家族及び同居以外の市民1人分の代理購入可能																																																																
販売方法	特設会場販売:6月4日(土)、6月5日(日)宮津市民体育館、日置小学校体育館 市内販売:6月6日(月)市内12箇所(宮津商工会議所ほか)																																																																
有効期間	令和4年6月4日(土)~9月5日(月)																																																																
取扱店舗	本事業の趣旨に賛同した288事業所(市内330店舗)																																																																
回収額	259,685千円(回収率:99.88%)																																																																
その他	お楽しみ抽選会の実施(地元産品など54品) 商品券利用者に対する店舗独自の特典、サービスの実施(77事業所)																																																																
目的・目標	低調基調が続く市内消費の喚起・拡大及び市民生活支援を行うため、プレミアム付き商品券を発行する宮津商工会議所に支援を行う。			成果	商品券を契機とした地域内の消費喚起・拡大による市内事業所の経営支援を行うとともに、プレミアム率の付与による市民の家計負担の軽減を図ることができた。																																																												
期待される効果等	地域内の消費喚起及び家計への支援に資する。				課題・検証																																																												
				長引くコロナ禍に加え原油価格・物価高騰など、先の見えない経営環境下で、引き続きの市内事業所支援・市民の生活支援を行う必要がある。																																																													
				担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	0772-45-1663	43																																																									

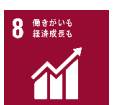




(単位:円)



事業名	天橋立名勝100年・特別名勝70年記念誘客イベントの開催 (宮津天橋立観光V字回復推進事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり		
					施策分野	観光振興				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	2,074,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
				2,072,416	2,072,416					
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、本市の観光需要は落ち込み、飲食や宿泊等の観光業の売上げが著しく減少。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4.3 天橋立の国の名勝指定から100周年 ・R4.5 田中彩子モノオペラ「細川ガラシャ」天橋立公演実行委員会設立 ・R4.11 天橋立の国の特別名勝指定から70周年 			事業実績	<p>■天橋立名勝100年・特別名勝70年記念誘客イベント 田中彩子モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の実施支援 2,072,416円 モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の実施、及び中学生との交流会の実施を支援した。</p> <p>【事業実績】</p> <p>①田中彩子モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の実施 ○日時：令和4年9月21日(水) 第一部：17:30～/第二部：20:00～ ○場所：天橋立公園内特設会場 ○観客数：374名(第一部：224名/第二部：150名)</p> <p>②「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」委嘱式及び中学生との交流会の実施 ○日時：令和4年9月22日(木) 13:00～16:00 ○場所：宮津中学校体育館 ○内容：「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」委嘱式、田中彩子氏ミニコンサート、中学生の合唱披露と田中彩子氏によるアドバイス、田中彩子氏との交流 ○参加者：98名(宮津中学校81名、栗田中学校17名)</p> <p>③実行委員会の開催(全3回) 実行委員会の設立、事業計画・予算、事業報告・決算報告、実行委員会の解散</p>					
目的 目標	<p>コロナ禍において本市の落ち込んだ観光需要を喚起するため、天橋立名勝100年・特別名勝70年の記念事業として、世界的に活躍されているソプラノ歌手の田中彩子氏による、本市と関わりの深い「ガラシャ」を題材としたモノオペラの開催による誘客イベントを実施し、天橋立の新たな魅力創出による誘客を目指すもの。併せて、天橋立で行うことにより、歴史的・文化的な魅力を国内外に広く発信し、世界遺産登録に向けた知名度向上につなげる。</p>			成果	<p>・天橋立名勝100年、特別名勝70年の記念事業として、本市と関わりの深い「細川ガラシャ」を題材としたモノオペラを天橋立で開催することにより、市民に天橋立の魅力や本物の芸術美を体感していただくとともに、国内外に対しても広くその歴史的・文化的魅力を発信し、世界遺産登録に向けた機運醸成につなげるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中で、本市の落ち込んだ観光需要の喚起にも寄与した。</p> <p>・中学生との交流事業を行い、次代を担う子供たちが世界的な本物の芸術美に触れることで、多様な文化に対する幅広い理解を深め、育むことに寄与した。</p>					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客による地域内消費の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・観光消費額 R1：109億円 → R7：125億円 ・観光交流人口 R1：321万人 → R7：350万人 ・天橋立の新たな価値の発見や魅力の掘り下げ 			課題 検証	<p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <p>■観光交流人口 R4目標：335万人 ⇒ R4実績：232万人</p> <p>■観光消費額 R4目標：112億円 ⇒ R4実績：84億円</p> <p>・「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」を活用した「本物の芸術に触れる機会・体験する機会」の継続的な実施。</p>					
				担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係	TEL	0772-45-1718	45		





(単位:円)

事業名	夜間の公共交通の利便性向上による夜のにぎわい回復 (夜のにぎわい回復推進事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり 安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり			
					施策分野	観光振興、商工業振興 公共交通					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
— 千円	— 千円	— 千円	2,200,000		1,504,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他		一般財源
— 千円				1,504,000				0		— 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で営業縮小せざるを得ない状況にあったタクシー事業者への事業継続支援を令和2年度と3年度の9月補正予算にて実施したところ。 まん延防止等重点措置が解除され経済回復局面に入ってはきているが、市内飲食店の客足の戻りがまだまだ不十分な状況にあることなどから、タクシー需要も戻りきっておらず、夜間の運行台数が限られている(2~3台の稼働になっている)中で、市内飲食店利用者の利便性の向上などが求められているところ。 コロナ禍において落ち込んだ観光需要を喚起するために、宮津天橋立観光V字回復推進事業を展開しているところであり、加えて地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向けた取組を進めていくところ。 			事業実績	<p>■運行台数が減少している夜間のタクシー増車分への支援 1,504,000円 新型コロナウイルス感染症の影響でタクシー事業者が営業を縮小し、運行台数が減少している中、夜間の公共交通の利便性を向上して、夜のにぎわい回復につなげることを目的に、夜間のタクシー増車に係る支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援事業者 日本交通株式会社 支援期間 R4.8~R5.3 支援内容 夜間(金・土曜日と祝日の前日の20時から24時まで)におけるタクシー増車分について、4,700円/時間・台を支援 増車台数 80台 						
目的・目標	本市の落ち込んだ観光需要を喚起するなどのコロナ禍における経済回復対策を展開している中で、今後の需要回復局面において、タクシーの供給を順調に回復するための支援を実施し、夜間の公共交通の利便性を向上して、夜のにぎわい回復につなげるもの。			成果	<p>夜間に利用できるタクシーの台数を増やしたことで、市内飲食店利用者の利便性の向上が図られた。</p> <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光消費額 R4目標:112億円 ⇒ R4実績:84億円 ■観光宿泊客数 R4目標:70万人 ⇒ R4実績:46万人 ■公共交通利用者数 R4目標:174.2万人/年 ⇒ R4実績:155.6万人/年 						
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 1人あたり観光消費額の向上 安定的で持続可能な公共交通の確立 <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光消費額 R1:109億円 ⇒ R7:125億円 観光宿泊客数 R1:64.9万人 ⇒ R7:80.0万人 公共交通利用者数 R1:192万人 ⇒ R7:223.2万人 			課題・検証	<p>利用者の利便性は向上したが、利用が一定時間に集中するなど、運行の効率性に課題が残った。</p>						
  				担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		TEL	0772-45-1664		46	



(単位:円)

事業名	子育て世帯等への応援商品券の配布 (子育て世帯等支援商品券事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—		テーマ別戦略	—	
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	9,500 千円	9,500,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円
— 千円				8,765,710	8,765,710				0	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.11.19 : 国が「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定 ・R3.12.24～ : 国経済対策を受け、子育て世帯への臨時特別給付金(現金10万円)を対象者に給付 			事業実績	■子育て世帯・出産を迎える世帯への応援商品券の配布 8,765,710円 ○商品券換金額 7,328,000円 (1,000円×7,328枚) ○事務費 1,437,710円 (業務委託料、郵送料) ○換金事業所 市内122事業所 【配布概要】 ①中学校3年生までの児童 1,555人×商品券5,000円分=7,775,000円 ②母子健康手帳の交付を受けている方 35人×商品券5,000円分= 175,000円 計7,950,000円 ※換金率92.2%					
	目 的 ・ 目 標	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、その影響を受けている子育て世帯や出産を迎える世帯に対し、応援商品券を配布する。			子育て世帯等応援商品券を配布することで、子育て世帯等の経済的負担を軽減するとともに、地域内の経済循環と消費喚起を図った。					
期 待 される 効果等	家計への支援を行うことにより、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に伴う子育て世帯や出産を迎える世帯の経済的負担を軽減する。			成 果						
	 				課 題 ・ 検 証					
				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	0772-45-1621	47		

(単位:円)

事業名	給食費高騰への支援 (保育所運営事業、学校給食運営事業、給食費高騰対策支援事業)			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	住みたい、住み続けた いまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	5,300,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
				2,448,388	1,013,340	962,000	0	473,048	0	3,983 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.3: 京都府学校給食会の一般物資高騰率が8.6% ・R4.4: 国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定 ・R4.7: 令和4年6月分の消費者物価指数において、前年同月比+2.4%の上昇 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆私立幼稚園、民間保育園、認可外保育施設、自校給食実施校への支援 21,606円 <ul style="list-style-type: none"> ○対象施設: 10施設(うち実績1施設: 養老小学校) ○対象経費: 給食食材費の高騰による給食費の値上必要額(保護者負担額)の全額 ○対象期間: 令和4年9月～令和5年3月(2・3学期) ◆公立保育所、センター方式給食の公立幼稚園・小・中学校の賄材料費の追加 2,426,782円 <ul style="list-style-type: none"> ○対象施設: 10施設(うち実績10施設) <ul style="list-style-type: none"> ◆保育所分 109,013円 ◆幼小中学校分 2,317,769円 ○対象経費: 給食食材費の高騰による給食費の値上必要額(保護者負担額)の全額 ○対象期間: 令和4年9月～令和5年3月(2・3学期) 					
	目 的 目 標	急激な物価高騰により給食食材費の高騰が深刻化する中、値上げが想定される給食費相当を支援し、保護者の負担増加を抑制することにより、小中学校、就学前施設において安心して給食が提供できる環境を整える。			成 果	給食食材費の高騰による給食費の値上必要額を支援することにより、保護者の負担増加を抑制するとともに、小中学校、就学前施設において安心・安全な給食の提供を行った。				
期 待 される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰等により値上げが想定される就学前施設の給食費相当を支援することにより、保護者負担の増加を抑制し、安心して給食が提供できる環境を維持する。 ・急激な物価高騰の影響下にあっても、学校給食において現行の保護者負担額で、必要な栄養価や量などの質を保った給食を維持することができる。 			課 題 検 証	必要な栄養価や品質を保った安全・安心な給食提供					
	 				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係 教育委員会事務局 学校教育課 学校給食・施設係	TEL	0772-45-1621 0772-45-1642	50	

(単位:円)

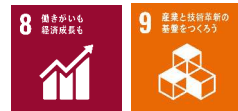
事業名	子育て世帯生活応援給付金事業			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	21,000,000		20,441,292	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.4: 国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定 ・R4.7: 令和4年6月分の消費者物価指数において、前年同月比2.4%の上昇 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て世帯生活応援給付金の支給 20,441,292円 <ul style="list-style-type: none"> ○給付額 20,190,000円 (高校生までの児童1人あたり1万円×2,019人) ○事務費 251,292円 (郵送料、事務用品他) 					
目的・目標	コロナ禍において、食料品や電気・ガス料金をはじめとする急激な物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対し、生活応援給付金を支給する。			成果	子育て世帯に児童1人あたり1万円の生活応援給付金を支給することで、物価高騰等の影響に伴う経済的負担を軽減した。					
期待される効果等	家計への支援を行うことにより、物価高騰等に直面する子育て世帯の経済的負担を軽減する。				課題・検証					
 				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	0772-45-1621	51		

(単位:円)

事業名	出産応援給付金事業			新規	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	6,500,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円
— 千円	— 千円	— 千円	6,500,000	5,600,000	5,600,000				0	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.12～：子育て世帯への臨時特別給付金(児童1人あたり10万円)の支給 ・R4.4：国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を策定 ・R4.7：令和4年6月分の消費者物価指数において、前年同月比+2.4%の上昇 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■出産応援給付金の支給 5,600,000円 ○給付額 5,600,000円 (令和4年度中に生まれ、本市に住民登録した新生児1人あたり10万円×56人) 					
目的・目標	<p>コロナ禍において、急激な物価高騰の影響により、感染防止対策や出産に伴う経済的負担が大きい出産を迎えた世帯に対して、出産応援給付金を支給する。</p> <p>また、安心して妊娠・出産・子育てができ、若者が住みやすい環境を整える。</p>			成果	<p>出産応援給付金を支給することで、新生児がいる世帯の経済的負担を軽減した。</p>					
期待される効果等	<p>家計への支援を行うことにより、コロナ禍において物価高騰等に直面する新生児がいる世帯の経済的負担を軽減する。</p> <p>また、安心して出産・子育てができる体制の一助とすることで、少子化に歯止めをかける。</p>			課題・検証						
	 			担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	0772-45-1621	52		

(単位:円)

事業名	事業者等原油・物価高騰対策支援事業			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	—												
					施策分野	—														
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算										
— 千円	— 千円	— 千円	70,000,000		44,645,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円									
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R3. 11:10月の全国消費者物価指数において、ガソリンが21.4%と大幅な上昇を記録(13年2か月ぶり) ・R4. 2:ロシアによるウクライナ侵攻により、一段と原油価格が高騰 ・R4. 4:政府コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」策定 ・R4. 7:宮津市新型コロナウイルス感染症経済対策会議開催 			事業実績	■事業者等原油・物価高騰対策支援金 44,645,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・農業者 101件 4,246,000円 ・農業者以外 353件 40,399,000円 <制度概要> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">対 象 者</td> <td>市内に事業所を有する法人及び個人事業者等 ※市税滞納者は除く ※農業者は市内に住所を有する販売農家(経営耕地面積30a以上又は年間の農産物販売金額が50万円以上)、漁業者は市内に住所を有する漁協正組員を対象</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td>事業の用に供する光熱費等(電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、混合油及び肥料代) ※ただし、水稲に係る肥料代は作付面積1a当たり2,000円とみなす。</td> </tr> <tr> <td>対象期間</td> <td>令和4年2月～令和4年12月 ※ただし、肥料代を除く光熱費は上記期間のうち任意の6月に限る。</td> </tr> <tr> <td>給 付 額</td> <td>対象期間に支払った光熱費等の10%(千円未満切捨て)</td> </tr> <tr> <td>限 度 額</td> <td>法人等20万円 個人事業者等10万円 ※市内に複数施設(支店・店舗等)を有する場合、施設ごとに上記限度額を加算</td> </tr> </table>						対 象 者	市内に事業所を有する法人及び個人事業者等 ※市税滞納者は除く ※農業者は市内に住所を有する販売農家(経営耕地面積30a以上又は年間の農産物販売金額が50万円以上)、漁業者は市内に住所を有する漁協正組員を対象	対象経費	事業の用に供する光熱費等(電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、混合油及び肥料代) ※ただし、水稲に係る肥料代は作付面積1a当たり2,000円とみなす。	対象期間	令和4年2月～令和4年12月 ※ただし、肥料代を除く光熱費は上記期間のうち任意の6月に限る。	給 付 額	対象期間に支払った光熱費等の10%(千円未満切捨て)	限 度 額	法人等20万円 個人事業者等10万円 ※市内に複数施設(支店・店舗等)を有する場合、施設ごとに上記限度額を加算
	対 象 者	市内に事業所を有する法人及び個人事業者等 ※市税滞納者は除く ※農業者は市内に住所を有する販売農家(経営耕地面積30a以上又は年間の農産物販売金額が50万円以上)、漁業者は市内に住所を有する漁協正組員を対象																		
対象経費	事業の用に供する光熱費等(電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、混合油及び肥料代) ※ただし、水稲に係る肥料代は作付面積1a当たり2,000円とみなす。																			
対象期間	令和4年2月～令和4年12月 ※ただし、肥料代を除く光熱費は上記期間のうち任意の6月に限る。																			
給 付 額	対象期間に支払った光熱費等の10%(千円未満切捨て)																			
限 度 額	法人等20万円 個人事業者等10万円 ※市内に複数施設(支店・店舗等)を有する場合、施設ごとに上記限度額を加算																			
目 的 目 標	急激な原油価格等の高騰により、経費負担の上昇及び適切な価格転嫁が困難な状況にある中、原油価格等の高騰の激変緩和措置としての支援金を支給することで、市内事業所等の負担軽減と経営の安定化を図る。			成 果	光熱水費等に対する支援を行うことにより、原油・物価高騰の影響を受けた市内事業者の事業継続に寄与した。															
期 待 される 効果等	原油価格等の高騰により厳しい経営環境にある市内事業所等の事業継続に資する。				課 題 検 証	原油価格の高騰等に対応する強い経営体制の確立に向けた事業者の意識改革が必要である。														
				担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係 農林水産課 農林水産係	TEL	0772-45-1663 0772-45-1626	53												



事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	—								
					施策分野	—										
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算						
— 千円	— 千円	— 千円	139,900,000		123,550,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他		一般財源					
— 千円				123,550,000							123,550,000				0	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容												
背 景 経 緯	R4.4.26: 国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定 R4.9.9: 「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」を閣議決定			事業実績	■電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 123,550千円【国10/10】 ○給付額 121,550,000円 (住民税非課税世帯等2431世帯×5万円) ○事務額 2,000,000円 (会計年度任用職員報酬、郵送料、事務用品他) 【給付概要】 ・住民税均等割非課税世帯 2421世帯 ・家計急変世帯 10世帯											
	目 的 目 標	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、緊急支援給付金を支給する。			成 果	低所得世帯(住民税非課税世帯等)に5万円の給付金を支給することにより、電力、ガス、食料品等の価格高騰の影響に伴う経済的負担を軽減した。										
期 待 される 効果等	家計への支援を行うことにより、電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響に伴う市民の経済的負担を軽減する。			課 題 検 証												
				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 生活支援係		TEL	0772-45-1623		55						



(単位:円)

事業名	持続可能な環境づくり推進事業			充実	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり		
					施策分野	環境				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算 ※前年度繰越含む
— 千円	19,516 千円	80,380 千円	79,756,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	62,870 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.6:「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言 ・R3.6~R4.3:脱炭素社会の構築に向けた再生可能エネルギーの普及・活用に関する調査の実施 ・R3.10:「気候非常事態宣言」(与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定 			事業実績	<p>■再生可能エネルギーの普及・活用に向けた調査等 52,875,152円</p> <p>令和3年度に実施した調査を踏まえ、再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくりや公共施設での率先活用に向けて、実証事業モデルの構築等の詳細調査・設計を実施した。</p> <p>[調査内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①再生可能エネルギーを活用した企業誘致による経済活性化【R5へ繰越】 ②再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくり ③温泉熱等を活用した観光地づくり ④公共施設への再生可能エネルギーの導入と脱炭素社会の理解促進 <p>■再生可能エネルギーの導入支援 280,000円</p> <p>住宅用太陽光発電システム及び蓄電池の導入支援を行った。(2件)</p>					
目的・目標	環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの利用促進及び発電施設の整備促進など、脱炭素社会の構築に向けた取組を進め、環境負荷の小さなまちを目指す。			成果	<ol style="list-style-type: none"> ②グリーンスローモビリティの事業化に向けて、R5年度の実証運行に係る実施計画を策定 ※グリーンスローモビリティ:時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の公共交通 ③新たな源泉の候補地の選定と温泉熱利活用の詳細検討を実施 ④浜町立体駐車場及びその周辺施設への太陽光発電設備導入に向けた調査・設計は、耐荷重等の問題から設置困難 					
期待される効果等	<p>脱炭素社会の構築に向けた市民、事業者の理解の促進</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量(年間) H25:135,000 t-co2 → R7:95,000 t-co2 ・市施設の公共調達における再生可能エネルギー電力の割合 R元:16.0% → R7:60.0% <p>[参考] 太陽光発電システム 2基(8kw)の場合:約3.4t-CO2/年の削減</p>			課題・検証	<ol style="list-style-type: none"> ②③事業化に向けた実証運行や詳細な調査などを継続して実施 ④次代を担う子どもたちへの環境学習や災害レジリエンスの観点から、小中学校等への設置に向けて検討する。 					
				担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係 企画財政部 企画課 企画政策係 産業経済部 商工観光課 観光係	TEL	0772-45-1617 0772-45-1664 0772-45-1663	57		






(単位:円)

事業名	ごみの減量・資源化促進事業 ～資源循環型社会への転換～			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環 境にやさしいまちづくり			
					施策分野	環境					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
				国庫支出金		府支出金	市 債	その他	一般財源		
— 千円	— 千円	3,738 千円	3,771,000	3,660,701				3,600,000	60,701	5,024 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背 景 経 緯	R3. 10: 宮津市環境基本計画策定 R3. 10: 気候非常事態宣言(与謝野町と共同宣言) R4. 4: 宮津与謝環境組合分担金 負担割合の変更 (人口割→ごみ量割へ)			事業実績	■ごみの減量化・資源化の取組 2,981,129円 ①ごみの減量化・資源化調査 2,497,000円 事業所が排出する生ごみの減量化を推進するため、市内事業所を対象とする事業系可燃ごみの排出量調査、食品リサイクル装置(大型コンポスト)の実証実験を実施 ②その他の取組み 484,129円 <ul style="list-style-type: none"> ・(株)JEPLANとの間で「資源循環を促進するための包括連携協定」締結(R5.3.13) ・同日、新条例施行市民講演会(～市民講演会～市民参加の循環型社会)を開催(31人参加) 講師:岩元美智彦氏(株)JEPLAN取締役執行役員会長) ■宮津市廃棄物減量等推進審議会の運営 679,572円 *諮問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の制定について ・同条例に基づく基本指針について(継続審議) ・宮津市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部改正について ごみ減量化について/大型ごみ収集運搬について/し尿くみ取り手数料について (し尿くみ取り手数料は継続審議) *開催回数 8回(全体会4回・資源循環検討部会2回・し尿手数料検討部会2回)						
	目 的 目 標	環境基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化の取組を進め、資源循環型社会への転換を図る。			成果	宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の制定等、ごみの減量化・資源化に向けた取組のスタートを切ることができた。					
期 待 さ せ ら れ る 効 果 等	○ごみの再資源化率の向上[第7次総合計画KPI] 目標:19.4% → 25.0%(R7)			課 題 検 証	[第7次宮津市総合計画 KPI] ■ごみの再資源化率の向上 R4目標:22.0% ⇒ R4実績:20.3%						
	○一人一日当たりごみ排出量[環境基本計画KPI] 目標:972g → 875g(R12)				宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例に定める基本指針を策定するとともに、引き続きごみの減量化・資源化に努める。						
				担当部署	市民環境部	市民環境課	環境衛生係	TEL	0772-45-1617	59	





(単位:円)



事業名	天橋立エコ・スポーツフェスティバル事業 (天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業)			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり	
					施策分野	文化・スポーツ振興			
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財源内訳				R5予算
— 千円	— 千円	550 千円	550,000	403,940	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
						171,500			232,440
									— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 天橋立の穏やかな自然環境と駅に近接するアクセス環境の良さから、32年の長きにわたり毎年6月にビーチバレーボール京都府大会が天橋立海岸で開催されている。 世界遺産登録を目指す「天橋立」は、従来、市民の清掃活動等により地域の宝として保全承継されており、本年名勝指定100年・特別名勝指定70年を迎える。 名勝指定周年記念を契機として、幅広い世代の市民が「天橋立」を身近に感じられる機会の創出を図り、郷土愛の醸成などSDGsを意識した持続可能な取り組みが必要となる。 			事業実績	<p>■スポGOMI in 天橋立の開催 227,940円</p> <p>天橋立で開催される「第33回ビーチバレーボール京都府大会」に合わせて、京都府ビーチバレーボール連盟及び、宮津市と包括連携協定を締結している第一生命、大塚製薬と連携し、清掃活動、ビーチバレー体験教室を開催した。 [開催日]令和4年6月26日 [会場]天橋立大天橋 [参加者]12チーム49名 [開催内容]・ビーチバレーボール体験教室エリアの清掃(ビーチクリーン) ・スポーツ要素を加えた清掃活動(スポGOMI) ・ビーチバレーボール体験教室</p> <p>■天橋立エコ・スポーツフェスティバルの開催 176,000円</p> <p>天橋立で開催される「第8回京都府ビーチバレーボール連盟杯」に合わせて、宮津市地域女性の会、Sports Club RAINBOW、京都府ビーチバレーボール連盟と連携し、スポーツやエコ活動を通じて「天橋立」を体感する賑わいイベントを開催した。 [開催日]令和4年9月18日 [会場]天橋立小天橋・大天橋 [開催内容]模擬店、ステージパフォーマンス(合唱、ダンス、バンド演奏)、ニュースポーツ体験会、フラッグフットボール教室</p>				
目的・目標	天橋立で開催されるビーチバレーボール大会を、一層地域に根付く大会とするため、清掃活動やジュニア指導などを実施し、環境啓発も意識した市民参加型の大会として活性化するように取り組むとともに、周年記念イベントとして、多くの市民に「天橋立」を体感してもらい、スポーツを通じた賑わい創出から保全承継に繋がる機会づくりに取り組む。			成果	天橋立で開催されるビーチバレーボール大会を、環境啓発も意識した市民参加型の大会として実施することで、大会の活性化に寄与するとともに、多くの市民に「天橋立」を体感してもらい、魅力の再認識、保全意識の高揚、スポーツを通じた賑わいづくりに繋がった。				
期待される効果等	エコ・スポーツを通じたスポーツ観光の推進 【第7次宮津市総合計画目標数値】 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率 H29: 32.3% → R7: 50.0%(R4)			課題・検証	エコ・スポーツを通じたスポーツ観光の持続的な実施				
	  			担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係	TEL	0772-45-1718	60	

事業名	SDGsによる持続可能な地域づくりに向けて (SDGs推進事業)			継続	総計重点 プロジェクト	—		テーマ別戦略	—	
					施策分野	—				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	462 千円	500 千円	812,000	337,120					337,120	500 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27. 9: 国連サミットでのSDGs (2030アジェンダ) の採択 ・H28. 12: 国のSDGs実施指針 (R元. 12一部改訂) ・R 3. 5: 宮津市SDGs推進本部 (庁内組織。市長が本部長) の設置 ・R 3. 9: 宮津市SDGs地域プラットフォーム (市民主体の連携組織) の設置 ・R 3. 12: 国がSDGsアクションプラン2022を公表 ・R 4. 2: 2022年度SDGs未来都市等提案書の提出 (国における選考の結果、選定には至らず) 			事業実績	<p>■SDGsの推進 337,120円</p> <p>SDGsの理解を深めるため、市民・事業者向け、市職員向けのSDGsセミナーを開催したほか、2023年度「SDGs未来都市」選定に向け、再度提案を行った。</p> <p>○SDGsセミナーの開催</p> <p>みやづSDGsプラットフォーム会員企業からの講師派遣により、SDGsセミナーを開催した。</p> <p>市民・事業者向け 1回 (R4. 11. 9、参加者40人)</p> <p>市職員向け 2回 (R4. 11. 9~10)</p> <p>○2023年度SDGs未来都市等提案書の提出</p> <p>[提案全体のタイトル]</p> <p>日本三景天橋立のあるまち宮津の未来につなぐチャレンジ ～SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進～</p>					
	目 的 ・ 目 標	本市地域の3分野(①経済②社会③環境)での課題やこれらを横断する課題の解決に向けて、庁内組織である「宮津市SDGs推進本部」と、市民主体の連携組織である「宮津市SDGs地域プラットフォーム」が連携し、SDGsの推進を図る。			成果	<p>○R5. 5. 22 SDGs未来都市に選定された。</p> <p>※2023年度の選定状況</p> <p>28自治体選定 (うち京都府内は本市のみ)</p> <p>2018年度から2023年度までに182自治体が選定 (うち京都府内は、舞鶴市、亀岡市、京都市、京丹後市、宮津市)</p>				
期 待 される 効果等	<p>○持続可能な開発目標「SDGs」の意識の醸成</p> <p>○SDGsの推進による新たな宮津ブランドの構築</p> <p>【第7次宮津市総合計画】</p> <p>将来像の実現に向けた5つの視点 (3)SDGs</p> <p>【宮津市環境基本計画】</p> <p>5 環境の担い手育成</p> 			課題 ・ 検 証		<p>○2023年度SDGs未来都市等提案書に基づくSDGs未来都市計画 (3カ年の計画) を策定し、事業を推進</p> <p>○市民・事業者等へのSDGsの理解促進と意識の浸透を図るとともに、地域課題解決に向けて、事業者間の「つながりの場」の創出など、プラットフォームの機能充実を図り、取組を進めていく必要がある。</p>				
					担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係	TEL	0772-45-1617	61	

(単位:円)

事業名	行政DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション推進事業ほか) ～デジタル技術活用による新たな価値の創造～			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	—		
					施策分野	—				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	1,828 千円	53,025 千円	59,780,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	26,075 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R02.12:デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針(閣議決定) 行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用し、業務効率化を図るとともに住民の利便性を向上させること ・R02.12:デジタル・ガバメント実行計画(閣議決定) ・R02.12:自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画(総務省) ・R03.06:宮津市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進本部設置 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■DX推進計画の策定及び専門人材の確保 2,171,900円 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市DX推進計画の策定(R4.12) ・デジタル外部人材の登用:未来戦略マネージャーの委託配置 ■デジタル技術を活用したサービス等の高度化・向上 44,271,421円 <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル技術を活用したオンライン診療(医療MaaS)の実証事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器、通信機器を搭載した医療車両に看護師が乗車、慢性期疾患の患者宅を訪問し、医療機関で待機する医師とテレビ会議システムで接続することにより自宅等にいながら診察を受けるオンライン診療の実証事業を実施した。 ②マイナンバーカードを活用した転出・転入手続きの簡素化 ぴったりサービス連携による転出・転入手続きのオンライン化 ③市役所内部の簡素化・効率化 ■マイナンバーカードの普及・促進に向けた体制強化 9,077,783円 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の行政サービス等のデジタル化を推進する鍵となる「マイナンバーカードの普及・促進に向け、申請受付及び交付体制を強化した。 ・交付率70.7%(R5.3末(交付/R4.1.1人口)) 					
	目 的 ・ 目 標	デジタル技術の活用により、市民生活の利便性の向上や地域課題解決につなげるとともに、市役所業務の効率化・高度化を図るもの			成果	DX推進計画を策定し、本市DX推進の方向性を定めた。				
期 待 さ れ る 効 果 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療の課題解決 2. 市役所サービスの高度化、向上 <ul style="list-style-type: none"> ・事務処理時間の短縮 ・転出・転入手続きのワンストップ化で効率化 ・行政手続きの非接触受付件数の増加 3. 新たな価値創造のための市役所の業務効率化・高度化 <ul style="list-style-type: none"> ・管理業務の削減による総労働時間の削減・チャレンジ時間創出 ・将来の職員数に見合う業務量の削減・業務改革の遂行 			課 題 ・ 検 証	さらなるサービスの高度化・向上、業務効率化・高度化に向け計画的に取り組を進める。					
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と情報技術の 革新を促す</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> </div>				担当部署	総務部 総務課 情報推進係 企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係 市民環境部 市民環境課 市民窓口係 健康福祉部 健康・介護課 健康増進係		TEL	0772-45-1602 0772-45-1609 0772-45-1614 0772-45-1624	62・63

(単位:円)

事業名	未来の庁舎について考える市民会議 (庁舎管理事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	住みたい、住み続けた いまちづくり		
					施策分野	—				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	500 千円	377,000		96,400	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	
									96,400	500 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 宮津市公共施設再編方針書(令和2年9月策定) 宮津市役所庁舎(本館、新館、別館)について、耐震安全性を満たしていないこと等から、おおむね5年以内の実施を目標として更新することとしている。 市庁舎については、市民サービスの極めて重要な拠点であると同時に、市政の執行機関である市長等の機関、また市政の議決機関である議会の機関が配置され、また、非常事態時の防災拠点であり、市政のシンボル、市のランドマークでもある最も重要な公共施設であることから、更新に当たっては、市民、議会をはじめ市政に関わる多くの関係者の合意形成を図りながら具体的手法を定めていく必要。 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■未来の庁舎を考える市民会議 参加者 高校生~30代市民 24名 ワークショップ形式で3回の会議を実施し、4つのグループから提案をいただいた。 ■市役所庁舎のあり方検討に関する市民アンケート 市役所庁舎のあり方検討の参考とするため、基本的事項について市民の意向を調査。 <ul style="list-style-type: none"> 調査期間:令和4年6月10日(金)~令和4年7月15日(金) 回答数:366 調査項目 本庁舎の場所について 庁舎の分散・集約について 将来の庁舎に求められる役割や機能について 庁舎のデザイン(意匠)について 					
目 的 ・ 目 標	市役所庁舎のあり方について、基礎的な研究を進める中、未来の宮津市を担う若年層から市役所庁舎についてのアイデアを募り、基本構想立案に向けた準備を行う。			成果	市民会議からの提案、市民アンケートの結果を踏まえ、庁舎の基本構想等の検討に着手する。					
期 待 さ れ る 効 果 等	市役所庁舎の基本構想立案への市民意見の反映			課 題 ・ 検 証	庁舎検討にあたっては引き続き市民の意見を把握していく必要がある					
	 			担当部署	総務部 総務課 情報推進係	TEL	0772-45-1602	64		



ワークショップの様子

(単位:円)

事業名	強い農業づくり支援事業			充実	総計重点プロジェクト	—		テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり																					
					施策分野	農林水産業振興																								
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算																				
7,687 千円	20,213 千円	692 千円	5,756,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	700 千円																				
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																									
背景・経緯	<p>農業者の高齢化や後継者不足が進行する中、豊かな自然が育んだ地場産品が「宮津の食」を支えるブランド力を持ち、農業が安定した経営と良好な労働環境の下、魅力あるビジネスとして営み続けられるまちを目指す必要がある。</p>				事業実績	<p>■農業生産機械等の導入支援 5,064,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スマート技術導入への支援</td> <td>ラジコン草刈り機の導入</td> <td>日置の蓮華米生産者の会</td> <td>3,003千円</td> <td>1,365千円</td> </tr> <tr> <td>実需者ニーズに対応した米の生産支援</td> <td>遠赤乾燥機の導入</td> <td>栗田地区営農組合</td> <td>2,000千円</td> <td>800千円</td> </tr> <tr> <td>地域特産物の生産支援</td> <td>マニアスプレッド、剪定機、株元除草機及び耕運機等の導入</td> <td>(有)たんごワイナリー</td> <td>7,074千円</td> <td>2,899千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>■オリーブの品質向上への支援 300,000円 オリーブの産業化を進めるために、「宮津オリーブ生産者の会」が実施するオリーブの栽培・加工技術及び品質の向上を図る取組や広報活動を支援した。また、生産者の栽培技術の向上を図るため他市の農業事業所の視察を実施した。</p> <p>■環境にやさしい農業の普及 80,300円 環境負荷の軽減を意識した取組を拡げるにあたり、宮津市農業委員等を対象に有機農業に取組んでいる農業法人等の先進地の視察を行った。 ○ビオ・ラビッツ(株)(京丹後市。有機野菜の魅力について) ○(株)坪口農事未来研究所(豊岡市。コウノトリ育む農法・営農型太陽光発電)</p>					支援区分	事業内容	事業主体	事業費	補助金額	スマート技術導入への支援	ラジコン草刈り機の導入	日置の蓮華米生産者の会	3,003千円	1,365千円	実需者ニーズに対応した米の生産支援	遠赤乾燥機の導入	栗田地区営農組合	2,000千円	800千円	地域特産物の生産支援	マニアスプレッド、剪定機、株元除草機及び耕運機等の導入	(有)たんごワイナリー	7,074千円	2,899千円
	支援区分	事業内容	事業主体	事業費		補助金額																								
スマート技術導入への支援	ラジコン草刈り機の導入	日置の蓮華米生産者の会	3,003千円	1,365千円																										
実需者ニーズに対応した米の生産支援	遠赤乾燥機の導入	栗田地区営農組合	2,000千円	800千円																										
地域特産物の生産支援	マニアスプレッド、剪定機、株元除草機及び耕運機等の導入	(有)たんごワイナリー	7,074千円	2,899千円																										
目的・目標	<p>農業者等が経営発展のために行うスマート技術導入等を支援する。</p>				成果	<p>・農業生産機械等の支援により品質向上、生産規模の拡大及び生産効率の向上等を図ることができた。</p> <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <p>■オリーブの販売出荷額 R4目標:1800万円⇒ R4実績:328万円</p>																								
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 作業の効率化・省力化及び品質・生産性の向上 農業所得の向上 地域農業の維持、発展 				課題・検証	<p>・農業経営の維持・発展に向け、引き続き、担い手確保対策と併せて生産設備の機能強化が必要。</p> <p>・オリーブは品質の維持・向上、ブランド力を高めるため、生産者の連携をより密にしていくことが重要。また、オリーブ栽培の取組を市民に浸透させ、市内外に特産品として発信していくことが必要。</p>																								
	 					担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	0772-45-1626	85																				

(単位:円)

事業名	有害鳥獣対策事業			充実	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり																																																									
	R2決算				R3決算				R4当初予算				R4最終予算				R4決算額				財源内訳					R5予算																																							
R2決算		R3決算		R4当初予算		R4最終予算		R4決算額		国庫支出金		府支出金		市債		その他		一般財源		R5予算																																													
20,096 千円		26,567 千円		41,010 千円		41,010,000		32,050,902		11,836,015		4,700,000						15,514,887		33,543 千円																																													
実施前の方針等(予算説明資料から転記)										実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																																							
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H25.11～ 狩猟期間中のシカ捕獲に対する捕獲奨励金の開始 ・H26.7～ 鳥獣被害対策実施隊「サル対策班」設置、追払い・捕獲活動の開始 ・H27.9～ 鳥獣被害対策実施隊「シカ対策班」設置、銃器捕獲の開始 ・R2.4～ 宮津市有害鳥獣処理施設等の稼働 									事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■有害鳥獣の捕獲 8,006,000円 イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマ、小動物等の捕獲・処分(捕獲頭数684頭) ■鳥獣処理施設等の管理運営 11,740,081円 ・減容化処理による有害鳥獣処理施設等の運営(処理量19.5t、処理回数181回) ■北部保管庫の整備 9,265,102円 ・コンテナ冷凍庫、コンテナボックスほか ■ニホンジカ対策の強化 1,632,700円 ・狩猟期間中の捕獲に対する報奨金を支給(捕獲頭数173頭) ・鳥獣被害対策実施隊による巻き狩りを実施(1回) ■ニホンザル対策 1,238,170円 ・宮津A群の個体数調整及び被害防止捕獲(捕獲頭数6頭) ・鳥獣被害対策実施隊での捕獲及び定期パトロール(98日)、追払い資材の配布 ■その他 168,849円 ・クマ出没対応、ジビエ活用推進研修会ほか 																																																						
	目的・目標	恒常的に発生している有害鳥獣被害に対応するため、駆除業務の実施、防除活動の促進を行い、農業被害や生活環境被害の軽減を図るとともに、食材等の地域資源として有効利用するため、ジビエ活用の産業化・ブランド化を進める。									成果	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣の捕獲実績(R4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>イノシシ</th> <th>シカ</th> <th>クマ</th> <th>サル</th> <th>小動物</th> <th>鳥類</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>捕獲頭数</td> <td>71</td> <td>514</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>83</td> <td>0</td> <td>684</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>△453</td> <td>33</td> <td>△4</td> <td>△3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△426</td> </tr> </tbody> </table> ・有害鳥獣被害の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被害金額(千円)</td> <td>4,900</td> <td>12,284</td> <td>5,747</td> </tr> <tr> <td>被害面積(a)</td> <td>439</td> <td>944</td> <td>568</td> </tr> </tbody> </table> ・処理施設稼働状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理量(t) / 回数</td> <td>28.0 / 178</td> <td>27.5 / 199</td> <td>19.5 / 181</td> </tr> </tbody> </table> 											種類	イノシシ	シカ	クマ	サル	小動物	鳥類	計	捕獲頭数	71	514	10	6	83	0	684	前年度比	△453	33	△4	△3	1	0	△426	項目	R2	R3	R4	被害金額(千円)	4,900	12,284	5,747	被害面積(a)	439	944	568		R2	R3	R4	処理量(t) / 回数	28.0 / 178	27.5 / 199
種類		イノシシ	シカ	クマ	サル	小動物	鳥類	計																																																									
捕獲頭数	71	514	10	6	83	0	684																																																										
前年度比	△453	33	△4	△3	1	0	△426																																																										
項目	R2	R3	R4																																																														
被害金額(千円)	4,900	12,284	5,747																																																														
被害面積(a)	439	944	568																																																														
	R2	R3	R4																																																														
処理量(t) / 回数	28.0 / 178	27.5 / 199	19.5 / 181																																																														
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による農林業及び生活環境への被害の低減 ・営農意欲の低下や荒廃農地の発生防止 									課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・急増しているニホンジカの被害及び駆除対策の強化 ・有害鳥獣の捕獲に従事する担い手の確保、捕獲鳥獣のジビエ活用 ・有害鳥獣処理施設の安定稼働 																																																						
	担当部署		産業経済部 農林水産課 農林水産係			TEL	0772-45-1626				96																																																						



(単位:円)

事業名	のびのび放課後児童クラブ事業			充実	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり																													
					施策分野	子育て支援																															
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算																											
36,022 千円	36,813 千円	45,571 千円	45,571,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	45,585 千円																											
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> S41.4: 宮津のびのび放課後児童クラブ開設、 H15.9: 吉津のびのび放課後児童クラブ開設、 H20.11: 府中放課後クラブ開設、 H21.7: 養老わいわいクラブ開設、 H22.4: 由良浜っこ児童クラブ開設 H30.1: 宮津のびのび放課後児童クラブを宮津小学校新校舎内に移設 H31.3: 栗田のびのび放課後児童クラブ、府中のびのび放課後児童クラブ施設完成 R元.11: 吉津のびのび放課後児童クラブを吉津小学校内に移転整備(地域運営の由良浜っこ児童クラブ及び府中放課後クラブはH31.4より、養老わいわいクラブはR2.2より、学校敷地内での市直営実施(法人委託)を開始する中で終了) R4.4: 宮津のびのび放課後児童クラブを法人委託 			事業実績	■のびのび放課後児童クラブの運営 38,391,516円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>開設場所</th> <th>実利用児童数</th> <th>開設時間</th> <th>運営方法</th> <th>運営経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津</td> <td>宮津小学校新校舎内1階</td> <td>119名</td> <td rowspan="4">【平日】 下校時～午後7時 【土曜・長期休業等】 午前7時30分～午後7時</td> <td>【新規】法人委託</td> <td>21,064,744円</td> </tr> <tr> <td>吉津</td> <td>吉津小学校校舎内1階</td> <td>20名</td> <td>法人委託</td> <td>5,354,175円</td> </tr> <tr> <td>栗田</td> <td>栗田小学校敷地内建物</td> <td>22名</td> <td>法人委託</td> <td>4,879,144円</td> </tr> <tr> <td>府中</td> <td>府中小学校校舎内1階</td> <td>38名</td> <td>法人委託</td> <td>7,093,453円</td> </tr> </tbody> </table> ■宮津のびのび放課後児童クラブの民間委託開始 ■全放課後児童クラブにWi-Fi環境を整備 2,492,930円 ・学習用タブレット端末の持ち帰り学習に向けた環境整備 ■府中のびのび放課後児童クラブ環境整備 542,300円 ・3密防止のため小学校特別教室へのエアコン設置 ■放課後児童支援員等処遇改善に対する支援 2,483,800円 ・対象職員数 40人(宮津19人、栗田7人、吉津6人、府中8人)						名称	開設場所	実利用児童数	開設時間	運営方法	運営経費	宮津	宮津小学校新校舎内1階	119名	【平日】 下校時～午後7時 【土曜・長期休業等】 午前7時30分～午後7時	【新規】法人委託	21,064,744円	吉津	吉津小学校校舎内1階	20名	法人委託	5,354,175円	栗田	栗田小学校敷地内建物	22名	法人委託	4,879,144円	府中	府中小学校校舎内1階	38名	法人委託	7,093,453円
	名称	開設場所	実利用児童数		開設時間	運営方法	運営経費																														
宮津	宮津小学校新校舎内1階	119名	【平日】 下校時～午後7時 【土曜・長期休業等】 午前7時30分～午後7時	【新規】法人委託	21,064,744円																																
吉津	吉津小学校校舎内1階	20名		法人委託	5,354,175円																																
栗田	栗田小学校敷地内建物	22名		法人委託	4,879,144円																																
府中	府中小学校校舎内1階	38名		法人委託	7,093,453円																																
目的・目標	「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、児童の健全な育成を図るため、保護者が就労や疾病その他の理由で放課後等の昼間に家庭にいないと認められる児童に、適切な遊びや生活の場を提供する。			成果	・更なるサービス向上に向けて、宮津のびのび放課後児童クラブの民間委託を開始した。 ・タブレット端末学習に応じたICT環境の整備、分散活動時の小学校特別教室へのエアコン設置など環境整備を行った。																																
期待される効果等	みんなで育み みんなが育まれるまち みやづの実現 ・地域子ども・子育て支援事業等の充実 ・子どもの居場所づくり 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通～満足度が高いと回答した割合) H30: 就学前 69.1% 小学生 61.2% ⇒R5: 就学前 74.0% 小学生 66.0%				[第7次宮津市総合計画 KPI] ・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通～満足度が高いと回答した割合) H30: 就学前69.1% → R5目標: 74.0% 小学生61.2% → 66.0%																																
				課題・検証	・放課後児童支援員等の処遇改善を継続実施し、職員の働きやすさの向上を図る。 ・支援を必要とする児童の受入に向けて、職員配置の充実を図る。																																
				担当部署	教育委員会事務局	学校教育課	学校教育係	TEL	0772-45-1641	117																											

(単位:円)

事業名	みやづ城東タウンリノベーション事業 ～地域福祉を支える福祉人材確保対策の強化・選ばれるまちづくりの実現・移住促進～ (定住促進住宅整備事業)			新規	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり				
					施策分野	移住・定住促進						
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算		
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
— 千円	— 千円	20,000 千円	42,857,000	42,819,380	0	0	30,700,000	10,000,000	2,119,380	26,700 千円		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容								
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・S63～H18:関西電力(宮津エネルギー研究所)社宅 ・H19.4:関電不動産(株)から建物(定住促進住宅用家屋)を寄付受納 ・H19.4:関西電力(株)と一般定期借地権設定契約を締結(借地権50年間～R39.3末) ・H19.5:市営住宅(52戸規模)として入居開始 			事業実績	<p>■みやづ城東タウンの住戸リノベーション 42,819,380円 住戸リノベーションや入居者資格の拡充を実施 (主なリノベーション内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸数 12戸(当初予算6戸、9月補正6戸) ・住戸改修 間取りの変更(3DK→1LDK)、内装(床・壁・天井)、3プランの住戸 ・設備更新 IH器具、ユニットバス、洗面化粧台、シャワートイレ、電気温水器換気扇、エアコン(1台)、モニター付きインターホン、室内物干し器具 <p>○当初予算分 21,315,480円(工事費 20,383,000円、その他経費 932,480円) ・入居者資格 福祉分野(医療、介護、障害、保育)の従事者(単身者も可能)</p> <p>○9月補正分 21,503,900円(工事費 20,581,000円、その他経費 922,900円) ・入居者資格 40歳未満の方(単身者も可能)</p> <p>○プロモーション 完成内覧会の開催(11/19、20)、住宅情報サイトへの掲載、事業所訪問入居者募集チラシののぼり旗の作成</p>							
	目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・みやづ城東タウンのリノベーションや入居要件の拡充により、移住・定住促進を目的とした住環境を整えることで、「住みやすい」まちづくりの推進を図る。 ・慢性的な福祉分野の人材不足の解消に向けて、魅力あるまち“みやづ”をPRし、働きやすい環境を整える。 ・選ばれるまちづくりを進めるため、宮津市外からの移住促進や新婚世帯向けの住環境を整える。 			成果	<p>○入居実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初分/福祉分野 6戸(7名) ※医療2戸、介護2戸、保育2戸 ・9月補正分/40歳未満 6戸(10名) ※市外からの移住者 8戸(10名) <p>○入居者アンケートを実施した結果、概ね満足との評価</p>						
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションや様々な活用方策による移住・定住の促進 ・慢性的に不足している福祉人材(医療、介護、保育等)の確保 ・入居率の向上による増収 			課題・検証	<p>成果欄に記載のとおり、ニーズ・満足度ともに良好であり、みやづ城東タウンの空き住戸の活用(住戸リノベーション、社宅利用など)をスピード感をもって推進していく必要がある。</p>					
 			担当部署	建設部 都市住宅課 建築住宅係	TEL		0772-45-1631	123				

(単位:円)

事業名	持続可能な地域を目指したエリア連携構想の推進と地域コミュニティのあり方検討 (「橋をつなごう」総合計画等推進事業、自治会活動支援事業)			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり		
	実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財源内訳					R5予算
— 千円	— 千円	841 千円	841,000		国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	841 千円	841,000	498,025	249,012				249,013	532 千円
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 地域(エリア)を維持・発展させていくためには、地域(エリア)を越えた連携を図っていくことが必要。 人口減少、新型コロナウイルスの感染拡大等、地域を取り巻く環境が大きく変化する中、自治会加入者の減少や役員のなり手不足といった課題への対応が必要。 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■エリア連携構想の推進 48,025円 <ul style="list-style-type: none"> ・エリア連携構想の推進に向けた地域懇談会を開催(全2回) <ul style="list-style-type: none"> ①北部会場(府中～日ヶ谷) R4.10.10 参加者19名 ②南部会場(由良～吉津) R4.10.14 参加者40名 内容:「なぜエリア連携が必要なのか」福知山公立大学 杉岡准教授 その他、参加者との意見交換 ■持続可能な地域コミュニティのあり方検討の支援等 450,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域コミュニティ検討部会の開催支援 全5回開催(宮津市自治連合協議会) (検討内容) 自治会の役割 自治会主体ですべきこと、市からの依頼事項 自治会の役割を果たせる組織等 ・自治連研修会の開催支援 <ul style="list-style-type: none"> ・溝尻地域づくりの取組:溝尻自治会 ・持続可能な地域づくりの処方箋:福知山公立大学 杉岡准教授 					
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域(エリア)の皆様と一緒に話し合った上で、様々な課題の把握や解決に向けた地域(エリア)のあり方・方法等を構築・実施していく(エリア連携構想を推進する)もの。 自治連合協議会が実施する持続可能な地域コミュニティのあり方検討を支援するもの。 			成果	<ul style="list-style-type: none"> ■エリア連携構想の推進 地域懇談会を開催し、エリア連携の必要性への住民意識を高めることができた。 ■持続可能な地域コミュニティのあり方検討 部会での検討や研修会を行う中で、他の自治会の取組について学び合い、課題解決に向けた意識を高めることができた。 [第7次宮津市総合計画 KPI] ■自治会加入世帯割合 R4目標:78.00% ⇒ R4実績:76.27%					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の主体的なまちづくり活動の促進 地域コミュニティの基礎となる自治会の活性化 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元:4地域・団体 ⇒ R7:8地域・団体 ・自治会加入世帯割合 R元:77.23% ⇒ R7:80.0% ・地域活動に参加した割合 R元:42% ⇒ R7:60%			課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア連携構想の推進に向けては、継続して地域と懇談を行っていくことが必要 ・持続可能なコミュニティモデルについて継続して検討していく。 ・自治会自らの課題解決の取組について、自治会全体の意識を高めていくようファシリテーターの助力を得ながら支援していく必要がある。 					
担当部署	 			TEL	0772-45-1602 0772-45-1664		128			

(単位:円)

事業名	農地農業用施設災害復旧事業			継続	総計重点プロジェクト	—		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり																			
					施策分野	社会基盤・防災減災																						
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算																		
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																			
98,659 千円	4,257 千円	6,200 千円	6,200,000	5,201,900		4,559,749		250,175	391,976	— 千円																		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																							
背景・経緯	■農地農業用施設の被災原因 ・令和3年8月の長雨				事業実績	■農地災害復旧【農地3件】 5,201,900 円																						
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名</th> <th>施行場所</th> <th>事業概要</th> <th>事業費(円)</th> <th>災害名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩戸農地災害復旧工事 農地:333-1</td> <td>小田</td> <td>農地:2工区 延長 L=14.0m 法面工 1式</td> <td>1,730,300</td> <td rowspan="2">令和3年8月3日発生 8月集中豪雨災害</td> </tr> <tr> <td>竹ノ本農地災害復旧工事 農地 333-2</td> <td>小田</td> <td>農地:1工区 延長 L=18.0m 法面工 1式</td> <td>1,980,000</td> </tr> <tr> <td>夕子農地災害復旧工事 農地 333-3</td> <td>奥波見</td> <td>農地:2工区 延長 L=20.0m 法面工 1式</td> <td>1,491,600</td> <td>令和3年8月13日から 15日発生8月前線 豪雨災害</td> </tr> </tbody> </table>						工 事 名	施行場所	事業概要	事業費(円)	災害名	岩戸農地災害復旧工事 農地:333-1	小田	農地:2工区 延長 L=14.0m 法面工 1式	1,730,300	令和3年8月3日発生 8月集中豪雨災害	竹ノ本農地災害復旧工事 農地 333-2	小田	農地:1工区 延長 L=18.0m 法面工 1式	1,980,000	夕子農地災害復旧工事 農地 333-3	奥波見	農地:2工区 延長 L=20.0m 法面工 1式
工 事 名	施行場所	事業概要	事業費(円)	災害名																								
岩戸農地災害復旧工事 農地:333-1	小田	農地:2工区 延長 L=14.0m 法面工 1式	1,730,300	令和3年8月3日発生 8月集中豪雨災害																								
竹ノ本農地災害復旧工事 農地 333-2	小田	農地:1工区 延長 L=18.0m 法面工 1式	1,980,000																									
夕子農地災害復旧工事 農地 333-3	奥波見	農地:2工区 延長 L=20.0m 法面工 1式	1,491,600	令和3年8月13日から 15日発生8月前線 豪雨災害																								
目的・目標	令和3年8月の長雨により被災した農地を早期に復旧し、生産基盤の機能回復を図る。				成果	・農地を被災前の状態へ復旧することにより生産基盤の機能回復を図ることができた。																						
期待される効果等	・被災農地の原形復旧を行い生産基盤の機能回復					課題・検証																						
					担当部署		産業経済部 農林水産課 産業基盤係	TEL	0772-45-1627	131																		



(単位:円)

事業名	地域の安全と安心を守る暮らしの基盤整備 (道路新設改良事業)			継続	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環 境にやさしいまちづくり																																																					
					施策分野	社会基盤・防災減災																																																							
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算 ※前年度繰越含む																																																			
89,225 千円	95,612 千円	156,604 千円	151,705,700		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	150,230 千円																																																			
				128,149,197	55,850,159		68,600,000		3,699,038																																																				
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																																									
背 景 経 緯	社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備を行う。 ・H24：橋梁長寿命化修繕計画策定 ・H25：道路ストック点検実施 ・H26：宮津市通学路交通安全プログラム策定 ・H26～H29：橋梁の近接目視による法令定期点検実施(1順目) ・R1.6：未就学児集団移動経路の緊急点検実施 ・R3.9：通学路における緊急点検を実施 ・R3.10：宮津市通学路等安全推進協議会開催			事業実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(単位:円)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>金額</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">子どもたちの安全・安心を確保する歩行者対策</td> </tr> <tr> <td>宮津中学校線</td> <td>57,763,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鶴賀病院線ほか2路線</td> <td>18,332,600</td> <td>舗装整備</td> </tr> <tr> <td>役場西山線</td> <td>21,709,900</td> <td>歩道拡幅</td> </tr> <tr> <td>島崎京口線ほか8路線</td> <td>6,387,700</td> <td>路肩拡幅</td> </tr> <tr> <td>髪屋敷家ノ堂立線</td> <td>6,724,300</td> <td>カラー舗装等整備</td> </tr> <tr> <td>暮らしの安全・安心を確保するインフラ整備</td> <td>4,609,000</td> <td>測量設計</td> </tr> <tr> <td>中田線(中田橋)ほか1橋</td> <td>68,774,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上司脇線(大雲橋)</td> <td>14,053,600</td> <td>旧橋撤去</td> </tr> <tr> <td>浜坂線(寺下橋)ほか3橋</td> <td>21,489,600</td> <td>橋梁詳細設計、土質調査</td> </tr> <tr> <td>田町外側線(中橋)ほか21橋</td> <td>2,295,900</td> <td>橋梁保全工事</td> </tr> <tr> <td>小田辛皮線</td> <td>6,359,100</td> <td>橋梁定期点検</td> </tr> <tr> <td></td> <td>24,576,100</td> <td>法面对策</td> </tr> <tr> <td>事務費等</td> <td>1,611,397</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>128,149,197</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						(単位:円)			名称	金額	概要	子どもたちの安全・安心を確保する歩行者対策			宮津中学校線	57,763,500		鶴賀病院線ほか2路線	18,332,600	舗装整備	役場西山線	21,709,900	歩道拡幅	島崎京口線ほか8路線	6,387,700	路肩拡幅	髪屋敷家ノ堂立線	6,724,300	カラー舗装等整備	暮らしの安全・安心を確保するインフラ整備	4,609,000	測量設計	中田線(中田橋)ほか1橋	68,774,300		上司脇線(大雲橋)	14,053,600	旧橋撤去	浜坂線(寺下橋)ほか3橋	21,489,600	橋梁詳細設計、土質調査	田町外側線(中橋)ほか21橋	2,295,900	橋梁保全工事	小田辛皮線	6,359,100	橋梁定期点検		24,576,100	法面对策	事務費等	1,611,397		合計	128,149,197	
	(単位:円)																																																												
名称	金額	概要																																																											
子どもたちの安全・安心を確保する歩行者対策																																																													
宮津中学校線	57,763,500																																																												
鶴賀病院線ほか2路線	18,332,600	舗装整備																																																											
役場西山線	21,709,900	歩道拡幅																																																											
島崎京口線ほか8路線	6,387,700	路肩拡幅																																																											
髪屋敷家ノ堂立線	6,724,300	カラー舗装等整備																																																											
暮らしの安全・安心を確保するインフラ整備	4,609,000	測量設計																																																											
中田線(中田橋)ほか1橋	68,774,300																																																												
上司脇線(大雲橋)	14,053,600	旧橋撤去																																																											
浜坂線(寺下橋)ほか3橋	21,489,600	橋梁詳細設計、土質調査																																																											
田町外側線(中橋)ほか21橋	2,295,900	橋梁保全工事																																																											
小田辛皮線	6,359,100	橋梁定期点検																																																											
	24,576,100	法面对策																																																											
事務費等	1,611,397																																																												
合計	128,149,197																																																												
目 的 目 標	道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境をつくる。			成果	道路の機能向上を図るとともに安全で安心な道路空間を確保した。 [第7次宮津市総合計画 KPI] ■橋梁長寿命化計画に基づく修繕の実施率 R4目標：17.2% ⇒ R4実績：14.1% R3年度の橋梁点検において大雲橋の下部工の沈下が確認され、橋梁更新が必要となったことから実施率目標を達成できなかったもの																																																								
期 待 される 効果等	安全・安心・快適に過ごし続けられる暮らしの基盤の向上 ○児童・生徒の安全な通学環境の確保 ○道路利用者の安全確保 [第7次宮津市総合計画目標数値目標] ○橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕実施率 R2末:7.1% ⇒ R7:31%			課 題 検 証	宮津市通学路安全推進協議会においてPDCAサイクルをまわし、宮津市通学路等交通安全プログラムを着実に実施していく必要がある。 大雲橋更新に係る工事費が多額となる中、総合計画の目標値を達成することが困難な状況																																																								
				担当部署	建設部 土木管理課 土木係	TEL	0772-45-1629	137																																																					






(単位:円)

事業名	河川整備事業			継続	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり																																										
					施策分野	社会基盤・防災減災																																												
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算 ※前年度繰越含む																																								
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																									
56,458 千円	60,727 千円	230,000 千円	230,000,000	187,150,109			180,000,000		7,150,109	115,660 千円																																								
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																													
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・滝馬川流域の浸水被害(床上・床下浸水) H16.10台風23号・H25.9台風18号・H29台風18号, 台風21号・H30.7月豪雨, 台風24号 ・R元.12:宮津市国土強靱化地域計画策定 ・R2滝馬川河川改修促進協議会と意見交換等を重ね、整備計画をまとめる。 				事業実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>金額</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工事費</td> <td>滝馬川河川整備工事</td> <td>159,271,200</td> <td>第2工区L=142m</td> </tr> <tr> <td>滝馬川関連迂回路整備工事</td> <td>14,159,700</td> <td>L=144.7m</td> </tr> <tr> <td>滝馬川関連道路改良工事</td> <td>7,100,000</td> <td>前払金</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(小計)</td> <td>180,530,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">委託費</td> <td>滝馬川整備事業に用地測量業務</td> <td>3,007,400</td> <td>用地測量 1式</td> </tr> <tr> <td>滝馬川河川整備に伴う防災行政無線拡声局移設業</td> <td>2,002,000</td> <td>防災無線移設 1式</td> </tr> <tr> <td>(小計)</td> <td>5,009,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">公有財産購入費</td> <td>379,532</td> <td>用地取得費 6筆 199.99㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>1,230,277</td> <td>用地補償費 1式</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>187,150,109</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) ■令和5年度への繰越事業 ○滝馬川関連道路改良工事 ○滝馬川用地測量業務 36,660,000円</p>					名称		金額	概要	工事費	滝馬川河川整備工事	159,271,200	第2工区L=142m	滝馬川関連迂回路整備工事	14,159,700	L=144.7m	滝馬川関連道路改良工事	7,100,000	前払金	(小計)		180,530,900		委託費	滝馬川整備事業に用地測量業務	3,007,400	用地測量 1式	滝馬川河川整備に伴う防災行政無線拡声局移設業	2,002,000	防災無線移設 1式	(小計)	5,009,400		公有財産購入費		379,532	用地取得費 6筆 199.99㎡	その他		1,230,277	用地補償費 1式	合 計		187,150,109	
	名称		金額	概要																																														
工事費	滝馬川河川整備工事	159,271,200	第2工区L=142m																																															
	滝馬川関連迂回路整備工事	14,159,700	L=144.7m																																															
	滝馬川関連道路改良工事	7,100,000	前払金																																															
(小計)		180,530,900																																																
委託費	滝馬川整備事業に用地測量業務	3,007,400	用地測量 1式																																															
	滝馬川河川整備に伴う防災行政無線拡声局移設業	2,002,000	防災無線移設 1式																																															
	(小計)	5,009,400																																																
公有財産購入費		379,532	用地取得費 6筆 199.99㎡																																															
その他		1,230,277	用地補償費 1式																																															
合 計		187,150,109																																																
目的・目標	地域住民が安全・安心に生活できるよう、頻発する滝馬川流域の浸水被害の軽減を図るため、宮津市国土強靱化地域計画に基づき、災害に強い河川の整備を進める。				成果	滝馬川整備計画に基づき、地域住民の安全・安心の確保に向けた事業の進捗を図った。第2工区まで完成したことにより、一定効果を発現した。 第1工区 L=104m R3完成 第2工区 L=142m R4完成																																												
期待される効果等	浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・災害による死亡者数 R元:0人 ⇒ R7:0人/5年 ・緊急性の高い河川の整備 R元:0河川 ⇒R7:1河川					課題・検証	「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を踏まえ、本市管理河川においても計画的に整備を進めていく必要がある。																																											
					担当部署	建設部 土木管理課 土木係	TEL	0772-45-1629	141																																									



(単位:円)

事業名	消防団運営事業			充実	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり		
					施策分野	社会基盤・防災減災				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
42,652 千円	24,221 千円	50,441 千円	52,426,000	45,891,018				15,954,556	29,936,462	35,734 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 災害に係る消防団員の出動状況(警戒含む水火災その他災害) H30:21回延べ1,518人(7月豪雨に伴う水防、巡回警備、救助補助、給水活動等) R元:14回延べ639人(台風等に伴う水防、巡回警備など) 一方で地域の少子高齢化、若年人口の減少により消防団員の確保が難しい状況 消防庁通知「地域防災力の中核となる消防団の充実強化について」(R4.1.28) 団員確保に向けた積極的な取組の要請及び団員報酬に係る交付税措置の拡充 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■団員報酬等の改定(拡充) 28,530,811円 国の示す基準額等に応じた報酬等の支給を行った。 ・団員報酬(年額) [R4]36,500円 ← [R3] 18,500円 ・災害出動手当 [R4]4,000円/回 ← [R3] 2,500円/回 ■消防団員活動・運営 17,360,207円 ・宮津市消防操法大会 R4.6.26、京都府消防操法大会 R4.8.28、出初式 R5.1.8 ・火災想定訓練・機械点検等 訓練出動 延べ7,365人 ・活動周知の強化(新規) 宮津市消防団広報紙「MATOI MIYAZU」発行 年2回(12月・3月)各戸配布 ・将来の消防団人材育成に向けた取組(新規) 亀ヶ丘保育園の夏祭りに参加 R4.7.16 出初式で消防団員の子どものパレード参加 R5.1.8 <p>※活動に係る負担軽減を図るとともに、消防署と合同の分団火災想定訓練など実践的な活動機会の充実を図った。</p>					
目的・目標	地域防災の要である消防団を適切に運営するとともに、消防団組織・団員を維持確保する。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・団員報酬等の改定により消防団員の処遇改善を図った。 ・R4の消防団の分団数は7分団26部・支援隊となった。(部の統合により1部減) 					
期待される効果等	消防団組織の維持確保による防災力、災害時対応力の維持強化			課題・検証	<p>消防団員が年々減少している。[R4]317人(前年比10人減)今後も消防団活動をPRし、入団を促進していく必要がある。</p>					
  				担当部署	総務部 消防防災課 消防防災係	TEL	0772-45-1605	153		



令和5年宮津市消防出初式開催
宮津市消防団 R5.3.20

(単位:円)

事業名	地域交通政策事業 (過度に自家用車に頼らないための公共交通の魅力創出)			充実	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、 環境にやさしいまちづくり		
					施策分野	公共交通				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
32 千円	505 千円	540 千円	540,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
				175,054		87,500			87,554	460 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H30.10：丹後海陸交通(株)から、運転手不足のため枝線6路線からの運行撤退の申し入れ。以後、路線再編に向けて協議開始。 ・R 2. 4：上宮津線、養老線、日ヶ谷線が廃止。新たに地域主体の「交通空白地有償運送」による運行が開始。 ・R 2.10：島陰新宮由良線が廃止。由良地区では新たに地域主体による運行が開始。栗田地区では、200円タクシーの取り組みがスタート。田井線を観光需要に対応した路線へ再編。 ・R 2. 6：地域公共交通活性化再生法の改正により地域公共交通計画策定が努力義務化(計画制度と補助制度が連動化) ・R 3. 4：京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会設立 ・R 4. 3：京都府北部地域連携都市圏公共交通計画及び宮津市地域公共交通計画策定 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市地域公共交通会議の運営 169,054円 宮津市全体の交通課題に係る協議を実施 ○開催回数 4回 ※地域公共交通会議3回、先進モビリティサービス検討部会1回 ○主な内容 〈地域公共交通会議〉 <ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地有償運送の利便性向上に向けたダイヤ改正や停留所設置 ・宮津市地域公共交通計画の取組状況に係る報告・意見交換 ・グリーンスローモビリティのR5実証に向けた意見交換 〈先進モビリティサービス検討部会〉 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティのR5実証に向けた意見交換 ■過度な自家用車依存からシフトする利用機会の創出 6,000円 モビリティマネジメントの一環として、交通イベントの開催に合わせて親子連れを対象とした路線バスお試し乗車会を実施 ○開催日時 令和4年10月16日 ○内 容 バスの利用方法について講話を行ったのち、実際の車両で乗車体験を行った。 ○参加者 49人(大人25人 小人24人) 					
	目 的 ・ 目 標	<p>第7次宮津市総合計画に掲げる関係人口の創出や若者が住みたいと思えるまちづくりを重点に推進していく動きとして、また、令和3年度策定の地域公共交通計画に基づく利用促進の動きとして、過度に自家用車に頼らないための公共交通の魅力創出を図る。</p>			成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地有償運送のダイヤ改正や停留所新設により利便性の向上につながった。 ・グリーンスローモビリティのR5実証実験に向けて、意見集約ができた。 ・親子連れを対象とした路線バスお試し乗車会の実施により、公共交通への理解増進が図れた。 				
期 待 される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的で持続可能な公共交通の確立 ・シームレスな(継ぎ目のない)移動しやすい交通体系の構築 <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用者数 R元：192万人 ⇒ R7：223.2万人 			課 題 ・ 検 証		<p>[第7次宮津市総合計画 K P I]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■200円バス利用者数 R4目標：290千人/年⇒ R4実績：238千人/年 ■京都丹後鉄道利用者数 R4目標：1,450千人/年⇒ R4実績：1,315千人/年 ■公共交通空白地有償運送実施地域 R4目標：5地域⇒ R4実績：5地域 ■公共交通空白地有償運送利用人数 R4目標：1,600人/年⇒ R4実績：3,444人/年 				
					担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係	TEL	0772-45-1664	178	



(単位:円)

事業名	宮津市ターミナルセンター整備事業 (宮津ターミナルセンターの長寿命化対策と待合室の利用環境改善)			充実	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、 環境にやさしいまちづくり		
					施策分野	公共交通				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
3,868 千円	4,520 千円	7,600 千円	9,600,000	8,341,724		1,000,000	4,900,000	2,087,000	354,724	69,000 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.3 『宮津市地域公共交通計画』策定 ⇒「方策3 待合施設の環境整備 (Wi-Fiや多言語表示の整備など)」 ・宮津駅は市民や高校生、観光客の利用が多いことから、京都丹後鉄道の単独駅では最も利用者が多く、本市の玄関駅となっているが、テナントスペース等の有効活用が出来ていないこともあり、待合環境の向上など利用環境改善が必要となっている。 ・R6 宮津駅開業100年 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津ターミナルセンターの劣化状況調査 2,178,000円 ○宮津ターミナルセンター劣化度調査及び改修・中長期修繕計画作成 ・老朽化した宮津ターミナルセンターの長寿命化を図るため、躯体の劣化度調査及び調査を基にした改修の中長期計画を策定した。 ■宮津ターミナルセンターの長寿命化と待合環境改善に向けた実施設計等 5,734,724円 ○宮津ターミナルセンター改修に係る計画検討及び実施設計の実施 ・老朽化した宮津ターミナルセンターの待合室の改修及び長寿命化に係る実施設計を行った。 ・京都工芸繊維大学と連携し、待合室改修に向けたワークショップ(3回)を実施し、意見を実施設計に反映 参加者：地元高校生、観光関係者、子育て世代、自治会、交通事業者等 ■その他修繕(岩滝口駅前広場、宮津ターミナルセンター) 429,000円 					
	目的・目標	宮津市地域公共交通計画に基づき、待合施設の環境整備などに取り組むこととしている中、宮津駅の利用環境改善に向けた改修を進め、駅利用者の利便性・満足度向上を図るとともに、開業100年に合わせた駅再生を進めるもの。			成果	宮津ターミナルセンターの長寿命化と待合環境改善に向けた準備を整えることができた。 [第7次宮津市総合計画 KPI] ■京都丹後鉄道利用者数 R4目標：1,450千人 ⇒ R4実績：1,315千人				
期待される効果等	待合環境改善による、利用者の満足度向上及び利用促進 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・公共交通利用者数 R元：192万人 ⇒ R7：223.2万人			課題・検証	長寿命化対策の実施により駅の耐用年数の増加及び安全性の向上、待合環境改善により、利用者の満足度向上及び利用促進を図る。					
	 				担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係	TEL	0772-45-1664	180	

(単位:円)

事業名	成年後見制度の利用促進体制整備の構築 (成年後見支援センター運営事業、地域生活支援事業ほか)			新規	総計重点プロジェクト	—		テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり																	
	R2決算				R3決算				R4当初予算				R4最終予算				R4決算額				財 源 内 訳					R5予算
R2決算		R3決算		R4当初予算		R4最終予算		R4決算額		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	R5予算											
— 千円		— 千円		554 千円		542,000		144,040		5,000	2,000			137,040	554 千円											
実施前の方針等(予算説明資料から転記)								実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																		
背 景 経 緯	<p>成年後見制度利用促進法 (H28. 5) 第14条及び国指針により、成年後見制度の利用促進に係る基本的な計画の策定及び推進体制の整備が必要とされた。</p>								事業実績	<p>■ 成年後見支援センターの開設 成年後見制度の相談・支援の総合窓口として、令和4年4月に宮津市福祉・教育総合プラザ内に開設した。また、地域や専門職との連携を図るため、協議会及び運営委員会を設置し、センターの運営体制を整えた。 ○機能 相談・利用支援/制度の普及啓発/後見人のサポート ○協議会 (1回)、運営委員会 (2回)</p> <p>■ 制度周知・広報 ・チラシ配布 (高齢者・障害者関連の53事業所に配布) ・市広報誌、ホームページでの周知 ・認知症サポーター養成講座等での周知 (4回・98人)</p> <p>■ 成年後見人等の費用助成 費用負担が困難な方の後見人への報酬を助成した。 4件 749,403円 (介護保険事業特別会計)</p>																
	目 的 目 標	<p>宮津市福祉・教育総合プラザ内に「宮津市成年後見支援センター」を設置し、成年後見制度に係る相談や利用支援、普及啓発を行うほか、支援の必要な人を早期発見し、適切な支援につなげるため関係機関相互の連携強化を図る。</p>								成 果	<p>・チラシの配布等により、市民等への成年後見制度についての周知が広まった。 ・成年後見制度を含む権利擁護に関する相談件数が増加し、必要な人への適切な支援につなげることができた。(相談者件数: R4 30件、R3 9件、R2 12件)</p>															
期 待 される 効果等	<p>権利擁護支援が必要な方への適切な支援の実施</p>								課 題 検 証	<p>市民への窓口や制度周知の促進、及び必要な人の早期発見・早期支援につなげられる取組などの強化。また、法人後見等含めた成年後見の担い手の養成</p>																
	  									担当部署	健康福祉部	健康・介護課	介護予防係	障害福祉係	TEL	0772-45-1620	0772-45-1622	181								

(単位:円)

事業名	持続可能な地域医療・健康づくり推進事業 (地域医療推進事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—			テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに 暮らせるまちづくり
					施策分野	健康・医療				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	17,000 千円	17,000,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.3 宮津市地域医療のあり方検討委員会を設置 ・R4.2 上記委員会から市長に提言(予定) 【主な提言内容】 ○実効性のある包括ケアシステムの構築、健康寿命延伸施策の推進 ○橋北地域の拠点医療施設に係る整備計画の検討 ○オンライン診療など新たな医療提供の検討 			事業実績	<p>■医療MaaS実証事業</p> <p>医療機器、通信機器を搭載した医療車両に看護師が乗車、慢性期疾患の患者宅を訪問し、医療機関で待機する医師とテレビ会議システムで接続することにより自宅等にしながら診察を受けるオンライン診療の実証事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：令和4年11月21日から令和5年2月13日まで ・診療時間：午前10時から午後3時まで ・実施医療機関：北部医療センター、味見診療所、養老診療所 ・診察人数：19人 <p>※また、当該医療車両を活用した保健指導も実施(2箇所・13人)</p> <p>■医療・健康づくり研究事業</p> <p>健康寿命延伸に向けた北部医療センター等との協働研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き生き健診の連携実施 ・透析患者の現状分析 					
目的・目標	将来に渡り安心して医療を受けられる環境の維持、健康寿命延伸のため、健康医療に係る研究・実証事業を実施し、持続可能な地域づくりを目指す。			成果	<p>医療MaaS実証事業に携わった医師、患者、看護師からアンケートや聞き取りを行い、課題等の洗い出しができた。</p> <p>(主な課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波状況の課題(天候や場所により通信環境に差があり音声途切れることがあった。看護師・車内の声が聞こえない。遠隔聴診器は雑音が多いなど) ・医師と看護師の患者情報の共有(自院の看護師以外で対応する場合に、多くの時間を要した) ・患者は、実際に体験することでオンライン診療に対する意識がポジティブに変化した。 					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機会の確保 ・健康寿命の延伸 ・持続可能な地域づくり 				課題・検証	<p>■医療MaaS実証事業</p> <p>実施医療機関の拡大、R4年度の課題を踏まえ実装に向けた熟度を高める。</p> <p>■医療・健康づくり研究事業</p> <p>研究・分析を深め、市民の健康づくり(危険因子の予防や生活習慣の改善)につなげる。</p>				
				担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係		TEL	0772-45-1624		210



(単位:円)

事業名	府中診療所の受診環境整備 (診療所整備事業)			債務負担行為の設定 9,300千円	新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せ に暮らせるまちづくり	
						施策分野	健康・医療			
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	5,000,000	3,688,300	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	8,800 千円
								3,000,000	688,300	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H10～：日置診療所・府中診療所において診療開始 (H10～17年度は市立診療所、H18年度からは民間 診療所へ移行) ・R2.9：宮津市公共施設再編方針書において日置診療所を 「老朽化のため概ね5年以内に廃止」と整理 ※今後、日置診療所廃止に向けた地元協議 				事業実績	<p>■発熱外来患者等対応スペースの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所敷地内(府中公園側)の不要建物等(物置、植栽、庭石など)の撤去 (工事請負費)3,688,300円 <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駐車場の拡張整備(令和5年度に実施) <p>【議会からの意見及び対応内容】 (令和4年12月議会 意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該診療所との2か所診療における日置診療所廃止に向けた地元協議につ いては、住民の不安や課題に対し、安心して医療が受けられるよう、より 丁寧な説明されたい。 <p>(対応内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元への説明及び丁寧な意見聴取 				
	目 的 ・ 目 標	府中診療所の患者増加に対応するため、駐車場の拡大な ど、必要な受入体制を整備し、安心して受診できる環境を確 保する。				成果	府中診療所の診療環境の向上			
期 待 される 効果等	適切な医療体制の確保				課 題 ・ 検 証					
						担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係	TEL	0772-45-1624	216

(単位:円)

事業名	ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業 ～世界へと夢をつなぐ～			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを 深めるまちづくり		
	実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	3,500 千円	3,500,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	3,500 千円	3,500,000	1,202,200	575,600			626,000	600	3,500 千円
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツの活性化により、全国・世界大会に出場する選手も出てきており、こうした選手の活躍はまちの活力となり、地域に元気を与えている。 ジュニア層の競技力向上を契機に組織体制の強化を図り、スポーツ大会誘致等のスポーツ観光を推進する取り組みが必要である。 			事業実績	<p>■ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業補助金制度の創設 競技スポーツに取り組む小・中学生の競技力向上と心身の健全な発達をより一層促し、全国大会や国際大会出場に向かってチャレンジする環境づくりのため、制度を新設した。</p> <p>■京都サガF.C.のホームタウン活動による子どもたちの競技力向上 202,200円 R4.4.26京都サガF.C.のホームタウンへの加入に伴い、サガ選手による講習会の開催や試合観戦を通じて子どもたちの競技力向上に繋げた。 ○京都サガF.C.ホームタウン事業「サッカー教室」の開催 [開催日]令和5年1月29日 [会場]宮津市民体育館 [参加対象]宮津市サッカースポーツ少年団26名(小学1年生～6年生) [内容]京都サガF.C.コーチ2名によるサッカー教室 ○京都サガF.C.市民限定観戦ツアーの実施 [開催日]令和4年10月8日 [会場]サガスタジアム(亀岡市) [参加者数]24名(小中高生10名、大人14名)</p> <p>■ヨットハーバーを拠点とした海のスポーツ活動支援 1,000,000円 田井宮津ヨットハーバーのリバイバルを契機に、(株)にしがきからいただいた企業版ふるさと納税を活用し、ジュニアスポーツの育成とスポーツ観光の推進による地域の活性化のため、設立当初から当該施設を拠点としてヨット競技の普及や活動を通じたジュニア選手の育成、地域振興に取り組む宮津市ヨット協会の活動を支援した。 [事業内容]オブティミストディンギー級(OP級)の新艇導入による競技環境の強化</p>					
目的・目標	<p>「豊かな心と体が育まれるスポーツのまち」の実現を目指し、ジュニアスポーツ団体への活動支援を通じたジュニアスポーツの育成・組織強化を図ることにより、スポーツ大会誘致等のスポーツ観光を推進する。</p> <p>※ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業は、まち・ひと・しごと創生基金(株式会社にしがきの寄附金を原資)を活用</p>			成果	<ul style="list-style-type: none"> サッカー教室をはじめとする京都サガF.C.との交流事業の推進により、子どもたちの心身の健全な育成及び競技力向上に繋げるとともに、地域の元気づくりに寄与した。 OP級の新艇導入の支援により、協議環境の充実及び、活動を地域の新たなにぎわいに繋げる基盤を整備できた。 <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人の週1回以上のスポーツ実施率 R7: 50.0%(R4) → 実績: 39.7%(R3調査結果) 					
期待される効果等	<p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人の週1回以上のスポーツ実施率 H29: 32.3% → R7: 50.0%(R4) 			課題・検証	<p>新設した補助金制度の活用による、ジュニアスポーツの更なる育成の推進。</p>					
	 			担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係	TEL	0772-45-1718	242		

事業名	持続可能な行財政運営有識者会議 (税務事務事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	—		
					施策分野	—				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	500 千円	514,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	500 千円	514,000	191,600		103,000			88,600	500 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> R元～R5 財政健全化に向けた取組み R3～R12 第7次宮津市総合計画 R3～R12 宮津市第2期行財政運営指針 			事業実績	<p>■有識者会議の開催 191,600円</p> <p>○第1回(R4.6.6開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津市の現状と課題について 今後の進め方について <p>○第2回(R4.11.8開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮津市の事業評価の方法(事業ユニット)について <p>○第3回(R5.2.8開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業ユニット「住環境の整備」での分析について 原価積み上げ方式での使用料等の見直しについて <p>※事業ユニット(事業群)の区分 第7次宮津市総合計画における「テーマ別戦略(29分野)」を基本とする。</p>					
目的・目標	宮津市第2期行財政運営指針に基づき、将来を見据えた財政基盤の構築を図る必要があることから、外部委員による「持続可能な行財政運営有識者会議」を設置し、持続可能な歳入確保や行政サービスのあり方について具体の提言・助言を受け、行財政運営の健全化を推進する。			成果	<p>○宮津市の現状分析とあわせ、第7次宮津市総合計画のテーマ別戦略に関する施策を「事業ユニット」ごとに検討する。</p> <p>○令和4年度は、優先的に取り組むべき事業(事業ユニット)「住環境の整備」に係る提案・助言を受け、総合的な移住・定住対策等の充実へ向けた取組につなげることができた。(令和5年度予算への反映)</p> <p>○主な提言・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住コンシェルジュ機能の設置や関係人口創出に向けた情報発信の強化を行うこと 結婚・子育て世帯への住宅確保に向けた支援を検討すること 					
期待される効果等	宮津市第2期行財政運営指針の収支計画に基づく財源不足(約16億円)の着実な解消			課題・検証	○引き続き、持続可能な歳入確保や行政サービスのあり方について検討を進め、行財政運営の健全化を推進し、将来を見据えた行財政基盤の強化に努める必要がある。					
				担当部署	市民環境部 税務・国保課 税務係 企画財政部 財政課 予算係	TEL	0772-45-1612 0772-45-1610	267		



令和5年9月定例会

令和4年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

会計名等	土地建物造成事業特別会計			設置目的	宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑な事業実施を行う。				
決 算	歳 入①	令和4年度	令和3年度	増 減	歳 出②	令和4年度	令和3年度	増 減	
	1 不動産売払収入	0	4,570,000	△ 4,570,000	1 宅地分譲事業費	20,000	22,095	△ 2,095	
	2 財産貸付収入	1,200	1,200	0	2 繰上充用金	137,934,350	142,483,455	△ 4,549,105	
				0				0	
				0				0	
				0				0	
				0				0	
				0				0	
				0				0	
	合 計	1,200	4,571,200	△ 4,570,000	合 計	137,954,350	142,505,550	△ 4,551,200	
		令和4年度	令和3年度	増 減					
翌年度に繰り越すべき財源③		0	0	0					
実質収支 (①-②-③)		△ 137,953,150	△ 137,934,350	△ 18,800					
決算概要	○分譲地の早期売却に向け、販売促進に向けた取組を実施したが、販売には至らず、1億3,795万円の赤字決算となったことから、令和5年度歳入から令和4年度歳入に繰上充用を行った。								
備 考	○つつじが丘団地残区画数：32区画（73区画中41区画売却済）※令和5年5月末現在								
担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係					TEL	0772-45-1609		特 1



会計名等	国民健康保険事業特別会計			設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。			
決 算	歳 入①	令和4年度	令和3年度	増 減	歳 出②	令和4年度	令和3年度	増 減
	1 国民健康保険税	386,684,892	369,551,479	17,133,413	1 総務費	32,517,923	36,233,061	△ 3,715,138
	2 使用料及び手数料	165,100	171,190	△ 6,090	2 保険給付費	1,489,285,275	1,500,373,288	△ 11,088,013
	3 国庫支出金	92,000	2,471,000	△ 2,379,000	3 国民健康保険事業費納付金	530,269,309	495,178,889	35,090,420
	4 府支出金	1,529,438,000	1,524,616,000	4,822,000	4 保健事業費	50,646,337	50,715,865	△ 69,528
	5 財産収入	1,805	1,345	460	5 基金積立金	1,805	1,345	460
	6 繰入金	181,406,862	180,992,927	413,935	6 公債費	0	0	0
	7 繰越金	5,110,873	5,617,794	△ 506,921	7 諸支出金	2,746,283	4,254,200	△ 1,507,917
	8 諸収入	5,157,860	8,445,786	△ 3,287,926	8 予備費	0	0	0
	合 計	2,108,057,392	2,091,867,521	16,189,871	合 計	2,105,466,932	2,086,756,648	18,710,284
		令和4年度	令和3年度	増 減				
	形式収支③ (①—②)	2,590,460	5,110,873	△ 2,520,413				
	単年度収支 (③—前年度③)	△ 2,520,413	△ 506,821	△ 2,013,592				
決算概要	<p>・歳出においては、団塊の世代の後期高齢者医療への移行などにより、被保険者数が大幅に減少したことから、保険給付費は11,088千円の減少(△0.74%)となった。国民健康保険事業納付金は、前年度の医療費をもとに算出されるため、35,090千円の増加(+7.1%)となった。</p> <p>・歳入においては、標準保険税率に基づく税率設定(引上げ)により、国民健康保険税は17,133千円の増加(+4.6%)、新型コロナウイルス感染症に係る減免災害臨時特例補助金の減により、国庫支出金は2,379千円の減少(△96.3%)となった。</p> <p>・この結果、前年度繰越金を含む形式収支は2,590千円の黒字であるが、単年度収支は2,520千円の赤字となった。なお、国保事業基金は、2,000千円を取り崩し、年度末残高は171,198千円である。</p>							
備 考	<p>・年度末被保険者数 4,154人(△6.6%、△292人) ・1人当たりの医療費(費用額) 400,389円(+3.2%、+12,463円)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響による減免 5件 836,458円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 1 <small>貧困をなくそう</small>  </div> <div style="background-color: green; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 3 <small>すべての人に健康と福祉を</small>  </div> </div>							
担当部署	市民環境部 税務・国保課 国保年金係					TEL	45-1616	特2

令和5年9月定例会

令和4年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

会計名等	後期高齢者医療特別会計			設置目的	原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等、医療の適切な確保を図るため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。															
決 算	歳 入①	令和4年度	令和3年度	増 減	歳 出②	令和4年度	令和3年度	増 減												
	1 保険料	270,998,318	254,224,511	16,773,807	1 総務費	4,038,770	2,397,064	1,641,706												
	2 使用料及び手数料	16,800	16,500	300	2 後期高齢者医療広域連合納付金	364,907,070	349,011,707	15,895,363												
	3 繰入金	104,212,301	99,529,765	4,682,536	3 保健事業費	4,133,677	3,175,741	957,936												
	4 繰越金	6,097,249	6,804,307	△707,058	4 諸支出金	462,180	563,803	△101,623												
	5 諸収入	543,390	670,481	△127,091	5 予備費	0	0	0												
				0			0	0												
				0			0	0												
				0		0	0	0												
	合 計	381,868,058	361,245,564	20,622,494	合 計	373,541,697	355,148,315	18,393,382												
		令和4年度	令和3年度	増 減																
形式収支③ (①—②)	8,326,361	6,097,249	2,229,112																	
単年度収支 (③—前年度③)	2,229,112	△707,058	2,936,170																	
決算概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歳出においては、保険料収入の増加による京都府後期高齢者医療広域連合への納付金の増加(+4.6%)に伴い、総額として、前年度比18,393千円の増加(+5.2%)となった。 ・歳入においては、保険料率等の増額改定及び被保険者の増加に伴い、保険料は増加(+6.6%)となった。 ・この結果、前年度繰越金を含む形式収支は8,326千円、単年度収支は2,229千円の黒字となった。 ・年度末被保険者数 4,194人(前年度比+2.0%、+83人) ・1人当たりの医療費(費用額)886,440円(対前年度比△1.8%)(府平均 1,038,701円) ・新型コロナウイルス感染症の影響による減免 0件 																			
備 考	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">保険料</th> <th style="width: 20%;">R2・R3</th> <th style="width: 20%;">R4・R5</th> <th style="width: 20%;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>均等割額</td> <td style="text-align: right;">53,110円</td> <td style="text-align: right;">53,420円</td> <td style="text-align: right;">310円</td> </tr> <tr> <td>所得割率</td> <td style="text-align: right;">9.98%</td> <td style="text-align: right;">10.46%</td> <td style="text-align: right;">0.48%</td> </tr> </tbody> </table>				保険料	R2・R3	R4・R5	増減	均等割額	53,110円	53,420円	310円	所得割率	9.98%	10.46%	0.48%	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 1 貧困をなくそう </div> <div style="background-color: green; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 3 すべての人に健康と福祉を </div> </div>			
保険料	R2・R3	R4・R5	増減																	
均等割額	53,110円	53,420円	310円																	
所得割率	9.98%	10.46%	0.48%																	
担当部署	市民環境部 税務・国保課 国保年金係					TEL	45-1616	特3												

令和5年9月定例会

令和4年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。			
決 算	歳 入①			増 減	歳 出②			増 減
	1 保険料	525,046,430	525,743,360	△ 696,930	1 総務費	64,782,645	61,976,661	2,805,984
	2 使用料及び手数料	35,100	45,200	△ 10,100	2 保険給付費	2,557,988,531	2,605,090,835	△ 47,102,304
	3 国庫支出金	756,376,406	750,787,863	5,588,543	介護サービス等諸費ほか	2,406,828,939	2,438,337,849	△ 31,508,910
	4 支払基金交付金	722,396,000	733,542,000	△ 11,146,000	高額介護サービス等費ほか	151,159,592	166,752,986	△ 15,593,394
	5 府支出金	419,518,439	423,906,147	△ 4,387,708	3 地域支援事業費	166,136,577	154,582,038	11,554,539
	6 財産収入	5	4	1	介護予防・生活支援サービス事業費ほか	106,725,731	103,923,419	2,802,312
	7 繰入金	450,042,201	450,899,868	△ 857,667	一般介護予防事業費	577,705	407,040	170,665
	8 繰越金	107,808,780	128,969,039	△ 21,160,259	包括的支援事業・任意事業費	58,833,141	50,251,579	8,581,562
	9 諸収入	18,900	2,710,315	△ 2,691,415	4 基金積立金	65,000,005	50,000,004	15,000,001
					5 公債費	0	0	0
					6 諸支出金	20,903,684	37,145,478	△ 16,241,794
					7 予備費	0	0	0
		合 計	2,981,242,261	3,016,603,796	△ 35,361,535	合 計	2,874,811,442	2,908,795,016
		令和4年度	令和3年度	増 減				
	翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0				
	実質収支 (①-②-③)	106,430,819	107,808,780	△ 1,377,961				
決算概要	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年度比で、歳入歳出ともに1.2%減となった。 ・保険料（基準月額6,672円）は、前年度比0.1%の減となった。低所得者の保険料軽減（軽減額41,023千円）や新型コロナウイルスの影響による保険料減免（130千円）については、継続して実施した。 ・保険給付費は在宅サービスの給付費や特定入所者介護サービス費の減などにより前年度比1.8%の減となったが、地域支援事業費はサービス事業費の増や包括支援センターの人員増などにより前年度比7.5%の増となった。 ・介護保険事業の安定的な財政運営ができるよう基金の積み立てを行った。（令和4年度末基金残高 277,004千円） 							
備 考		第1号被保険者	要介護等認定者数（第1号）	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率	 	
	R5.3月末	7,122人	1,819人(支援658人、介護1,161人)	25.5%	14人	43.5%		
	R4.3月末	7,228人	1,878人(支援640人、介護1,238人)	26.0%	16人	43.0%		
	増減	106人減(△1.5%)	59人減(△3.1%)	△0.5%	2人減(△12.5%)	0.5%		
担当部署	健康福祉部 健康介護課 介護給付係・介護認定係・介護予防係					TEL	45-1691	特 4

令和5年9月定例会

令和4年度決算 事業等説明資料


(単位:円)

会計名等	介護予防支援事業特別会計			設置目的					
					要支援1, 2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。				
決 算	歳 入①	令和4年度	令和3年度	増 減	歳 出②	令和4年度	令和3年度	増 減	
	1 サービス収入	10,694,280	9,810,010	884,270	1 総務費	7,402,864	6,659,398	743,466	
	2 繰越金	2,831,498	5,487,082	△ 2,655,584	2 事業費	3,765,165	4,806,196	△ 1,041,031	
	3 諸収入	0	0	0	3 諸支出金	0	1,000,000	△ 1,000,000	
					4 予備費	0	0	0	
		合 計	13,525,778	15,297,092	△ 1,771,314	合 計	11,168,029	12,465,594	△ 1,297,565
		令和4年度	令和3年度	増 減					
	翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0					
	実質収支 (①-②-③)	2,357,749	2,831,498	△ 473,749					
決算概要	<p>【ケアプラン作成・給付管理実績】 南部圏域(宮津市地域包括支援センター)令和4年度末時点199人(令和3年度末時点188人) ※北部圏域(宮津北部地域包括支援センター)令和4年度末時点72人(令和3年度末時点68人)</p> <p>【サービス計画数ほか】 南部圏域 延2,406件(令和3年:2,270件、令和2年:2,226件、令和元年:2,107件) 職員数 常勤5人+非常勤4.6人=9.6人 ※北部圏域 延796件(令和3年:846件、令和2年:811件、令和元年:720件) 職員数 常勤2人+非常勤1人=3人</p>								
備 考	<p>・要支援認定者数(第2号被保険者含む。)は令和4年度末時点で668人(対前年比103.2%)、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントのサービス件数は、南部圏域において延べ4,161件(令和3年:4,116件、令和2年:4,126件、令和元年:4,058件)、北部圏域においては延1,178件(令和3年:1,187件、令和2年:1,142件、令和元年:1,095件)となっている。 ※宮津北部地域包括支援センターの運営費は委託料として、介護保険特別会計から支出(14,081,000円)</p>								
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護予防係					TEL	0772-45-1620	特 5	



会計名等	休日応急診療所事業特別会計			設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う。					
決 算	歳 入①		令和4年度	令和3年度	増 減	歳 出②		令和4年度	令和3年度	増 減
	1 診療収入		3,359,062	1,984,935	1,374,127	1 休日応急診療所費		16,587,114	16,280,168	306,946
	2 使用料及び手数料(証明手数料)		3,600	1,200	2,400	2 公債費		2,537,222	2,537,222	0
	3 繰入金		6,037,000	6,935,000	△ 898,000	3 予備費		0	0	0
	4 繰越金		1,497,251	1,605,506	△ 108,255					
	5 諸収入(2町分担金)		8,560,000	9,788,000	△ 1,228,000					
	6 府支出金		2,052,000	0	2,052,000					
	合 計		21,508,913	20,314,641	1,194,272	合 計		19,124,336	18,817,390	306,946
翌年度に繰り越すべき財源③		0	0	0						
実質収支(①-②-③)		2,384,577	1,497,251	2,052,000						
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○診療体制 診療科目…内科、小児科 医師…一般社団法人与謝医師会に委託(15名の医師が輪番出務) 看護師…非常勤職員6名(2名ずつ出務) 医事事務…民間事業者に委託 ○R4年度の診療日数 71日(R3年度71日) ○R4年度の患者数 346人(1日平均4.9人)(R3年度 276人) ※参考 R元年度 1,089人(新型コロナウイルス感染症拡大の影響) <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休日応急診療所事業費分担金内訳 <ul style="list-style-type: none"> 宮津市 建設費分 945,000円 + 運営費分 5,092,000円 = 6,037,000円 伊根町 建設費分 203,000円 + 運営費分 942,000円 = 1,145,000円 与謝野町 建設費分 1,390,000円 + 運営費分 6,025,000円 = 7,415,000円 ○休日応急診療所整備に係る起債・償還の状況 <ul style="list-style-type: none"> 借入額 42,500,000円(平成8年5月)、利率 3.4%、償還期間2025年度(令和7年度)まで30ヶ年 ○年末年始等における発熱外来の実施 <ul style="list-style-type: none"> 実施期間: 令和4年12月30日から令和5年2月26日まで 新型コロナウイルス検査数: 113名 									
備 考	<p>休日に医療(内科及び小児科)を必要とする住民等に対して、適切な医療の提供が図られた。また、年末年始等に発熱や咳等の症状の患者に対して新型コロナウイルス検査・診察を実施することにより、外来医療ひっ迫の回避に協力した。</p>									
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係							TEL	45-1624	特6



会計名等	財産区特別会計		設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。						
決算	項目		上宮津財産区	由良財産区	栗田財産区	吉津財産区	世屋財産区	養老財産区	日ヶ谷財産区	合計
	歳入	R04決算額	6,792,806	378,622	10,051,678	10,103,603	265,090	2,828,652	366,049	30,786,500
		R03決算額	4,501,021	652,622	302,870	3,669,558	240,130	709,628	337,049	10,412,878
		増減額	2,291,785	△ 274,000	9,748,808	6,434,045	24,960	2,119,024	29,000	20,373,622
	歳出	R04決算額	4,851,142	23,000	7,687,029	6,474,707	55,400	1,688,124	21,000	20,800,402
		R03決算額	3,921,548	364,000	106,251	36,000	55,400	78,960	21,000	4,583,159
		増減額	929,594	△ 341,000	7,580,778	6,438,707	0	1,609,164	0	16,217,243
<p>○増減の主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗田： R 4年度は山土採取料による大幅増額 ・吉津、養老： R 4年度は森林整備事業間伐等実施による大幅増額。また吉津においては立木売払いによる増 										
決算概要	<p>○吉津財産区・養老財産区においては、直営林造林事業(間伐等)を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に努めた。</p> <p>○適正な財産区の管理運営が図れた。</p>									
備考										
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係						TEL	45-1627	特7	

会計名等	水道事業会計	設置目的	安全でおいしい水を供給する						
決 算	事業収益(3条)①	令和4年度	令和3年度	増 減	事業費用(3条)②	令和4年度	令和3年度	増 減	
	1 営業収益	516,971,388	515,083,660	1,887,728	1 営業費用	504,497,841	494,506,295	9,991,546	
	給水収益	514,698,978	512,978,623	1,720,355	原水及び浄水費	127,888,219	121,434,237	6,453,982	
	2 営業外収益	166,798,657	170,699,254	△ 3,900,597	配水及び給水費	49,262,584	36,361,867	12,900,717	
	他会計補助金	20,450,000	23,010,000	△ 2,560,000	総係費	70,369,970	68,698,255	1,671,715	
	長期前受金戻入	68,152,522	70,152,941	△ 2,000,419	資産減耗費	124,934	5,969,214	△ 5,844,280	
	資本費繰入収益	65,547,000	65,316,000	231,000	2 営業外費用	47,652,022	50,709,303	△ 3,057,281	
					支払利息	45,093,801	48,364,119	△ 3,270,318	
					3 特別損失	135,112	3,449,036	△ 3,313,924	
	合 計	683,770,045	685,782,914	△ 2,012,869	合 計	552,284,975	548,664,634	3,620,341	
		資本的収入(4条)③	令和4年度	令和3年度	増 減	資本的支出(4条)④	令和4年度	令和3年度	増 減
		1 企業債	411,300,000	284,200,000	127,100,000	1 建設改良費	527,374,773	348,496,678	178,878,095
	2 加入負担金	4,923,600	3,064,600	1,859,000	拡張改良費	204,306,273	199,397,619	4,908,654	
	3 出資金	1,101,000	1,094,000	7,000	浄水場整備費	316,470,000	139,780,300	176,689,700	
	4 補助金	31,868,000	0	31,868,000	2 企業債償還金	245,087,657	245,192,263	△ 104,606	
	5 その他	0	25,313,200	△ 25,313,200	3 国庫補助金返還金	198,363	0	198,363	
	合 計	449,192,600	313,671,800	135,520,800	合 計	772,660,793	593,688,941	178,971,852	
		令和4年度	令和3年度	増 減	※上段(収益的収支)は税抜き額 下段(資本的収支)は税込み額				
	収益的収支差引(純損益)①-②	131,485,070	137,118,280	△ 5,633,210					
	資本的収支差引 ③-④	△ 323,468,193	△ 280,017,141	△ 43,451,052					
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <p><収益的収支></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支差引は対前年度比5,633千円の減となったものの、131,485千円の純利益を計上することとなった。 <p><資本的収支></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮津浄水場大規模改修の継続やIoTを活用した遠隔監視・制御等に向けた実施設計及び水道施設台帳、管網解析システムの整備等により、収支差引は、対前年度比43,451千円の減となる323,468千円の不足となった。 								
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末起債残高:4,176,322,741円(対前年度比 +166,212千円) ・令和4年度の純利益の内、50,000千円については、老朽化した設備の更新等不測の事態に備えるため、建設改良積立金に積立予定 ・資本的収支の不足額については、建設改良積立金(40,000千円)、消費税調整額(45,417千円)、損益勘定留保資金(238,051千円)で補てんした。 								
担当部署	建設部 上下水道課 管理係					TEL	45-1635	特 8	

(単位:円)

事業名	IoTを活用した水道施設の整備 (水道事業会計)			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり		
					施策分野	社会基盤・防災減災				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
					国庫支出金	府支出金	企業債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	77,000 千円	77,000,000	76,266,520	25,006,000		13,300,000	37,960,520	0	120,400 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> R元.7 宮津市水道事業ビジョン策定 ⇒最適な水道事業形態の実現 : 遠隔管理による水道施設の運転の合理化 水道施設、管路の適正な資産管理 : 水道台帳の整備、資産管理システムの導入 R元.10 水道法の改正により、水道施設台帳の作成・保管義務化 (R4.10~) 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■水道施設の遠隔監視、遠隔操作システムの導入 20,020千円 <ul style="list-style-type: none"> 水道施設 (11浄水場、6ポンプ室、9ポンプ所) の遠隔監視、操作等を行うための実施設計 ※遠隔監視、遠隔操作システム整備期間: R4~R13 ■水道施設台帳等の整備 56,247千円 <ul style="list-style-type: none"> 水道施設台帳及びマッピングシステムの整備 (電子化) 水道法改正 (台帳整備の義務化) における台帳管理項目に準じた水道施設台帳及びマッピングシステムの整備 管網解析の整備の整備 管路における様々な施設状況及び運転管理状況について、水解析・シミュレーションの比較検討を行うことができる管網解析システムの構築 					
目的・目標	「安全でおいしい水をいつまでも」お届けするため、生活基盤施設耐震化等交付金「水道事業におけるIoT・新技術活用推進モデル事業」を活用し、遠隔管理による水道施設の運転の合理化、水道施設台帳・管網解析システムの整備を行い、水道事業の運営基盤強化を図る。			成果	水道施設台帳の電子化や管網解析システムの構築等により、漏水等有事における迅速かつ正確な対応が可能となり、水道事業の運営基盤強化が図れた。					
期待される効果等	施設の点検・維持管理業務の効率化及び緊急対応の迅速化等を促進し、安全、安心な水道水の安定供給体制の確保			課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計に基づき、水道施設の遠隔監視、遠隔操作システムの整備を計画的に進める必要がある。 水道施設台帳がホームページで閲覧可能となるよう、環境整備を進める必要がある。 マッピングシステムに、施設や運転管理状況のデータを随時反映し、各解析の精度の向上を図る。 					
	 			担当部署	建設部 上下水道課 浄水係 施設整備係	TEL	0772-45-1637 0772-45-1634	特8-1		

会計名等	下水道事業会計	設置目的		公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る							
決 算	事業収益(3条)①			令和4年度	令和3年度	増 減	事業費用(3条)②		令和4年度	令和3年度	増 減
	1 営業収益			246,122,583	243,177,657	2,944,926	1 営業費用		748,174,777	737,948,272	10,226,505
	下水道使用料			245,719,425	242,774,564	2,944,861	管渠費・ポンプ場費		28,176,452	30,329,430	△ 2,152,978
	2 営業外収益			587,775,144	592,756,309	△ 4,981,165	流域下水道維持管理費		250,916,562	242,344,151	8,572,411
	他会計補助金			390,719,000	405,556,000	△ 14,837,000	総係費		23,224,100	23,202,092	22,008
	国庫補助金			200,000	150,000	50,000	減価償却費		442,478,462	441,772,599	705,863
	長期前受金戻入			189,842,515	185,172,572	4,669,943	2 営業外費用		97,185,942	110,200,184	△ 13,014,242
	資本費繰入収益			6,753,908	1,534,637	5,219,271	支払利息及び企業債取扱諸費		90,486,448	103,187,029	△ 12,700,581
	3 特別利益			0	0	0	3 特別損失・予備費		0	523,393	△ 523,393
	合 計			833,897,727	835,933,966	△ 2,036,239	合 計		845,360,719	848,671,849	△ 3,311,130
	資本的収入(4条)③			令和4年度	令和3年度	増 減	資本的支出(4条)④		令和4年度	令和3年度	増 減
	1 企業債			337,900,000	408,100,000	△ 70,200,000	1 建設改良費		91,603,588	186,534,598	△ 94,931,010
	2 負担金			11,413,960	13,427,937	△ 2,013,977	公共下水道費		62,742,354	127,979,178	△ 65,236,824
	3 他会計補助金			150,553,000	145,913,000	4,640,000	流域下水道費		28,861,234	58,555,420	△ 29,694,186
4 国庫補助金			0	33,117,750	△ 33,117,750	2 企業債償還金		700,285,650	704,574,712	△ 4,289,062	
合 計			499,866,960	600,558,687	△ 100,691,727	合 計		791,889,238	891,109,310	△ 99,220,072	
			令和4年度	令和3年度	増 減	※上段(収益的収支)は税抜き額 下段(資本的収支)は税込み額					
収益的収支差引(純損益)①-②			△ 11,462,992	△ 12,737,883	1,274,891						
資本的収支差引 ③-④			△ 292,022,278	△ 290,550,623	△ 1,471,655						
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <p><収益的収支></p> <ul style="list-style-type: none"> 収支差引は対前年度比1,275千円の増となったものの、11,463千円の純損失を計上することとなった。 <p><資本的収支></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度末に下水道が概成したことにより、建設改良費は減となったものの、併せて企業債や国庫補助金が減となったことから、収支差引は、対前年度比1,472千円の減となる292,022千円の不足となった。 										
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 今後の公共下水道事業の健全な経営を図るため、公共下水道使用料金等の見直しについて、学識経験者や市民等で構成される宮津市公共下水道使用料金等審議会に諮問し、4回にわたる審議を経て12月6日に答申を受けた。 令和4年度末起債残高:8,807,535,207円(対前年度比 △313,386千円) キャッシュフロー上の不足及び新し尿処理施設整備に向けた都市計画等の変更手続きに対応するため、一般会計から48,200千円の借り入れを行った。 資本的収支の不足額については、消費税調整額(7,586千円)、損益勘定留保資金(284,436千円)で補てんした。 										
担当部署	建設部 上下水道課 管理係							TEL	45-1635	特 9	

